

14. 2□-423



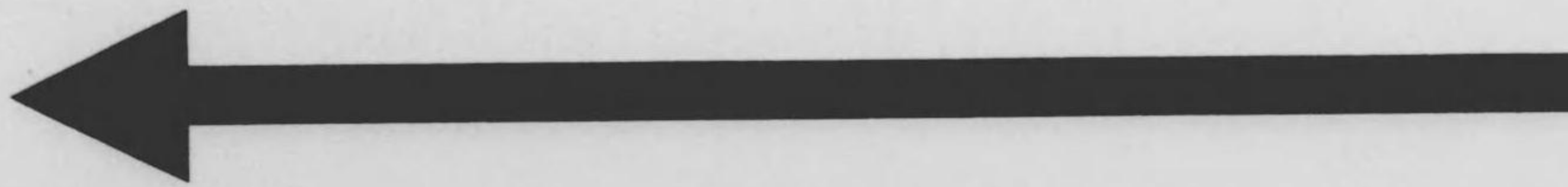
1200501168487

14.2□

423



始





序

本道に於ける農産物にしる海産物にしても著しい特異性があるといふ、それは耕地面積が尨大であるとか又は漁獲高があまりにも大量で勢ひその處理方法が粗放性を多分に帯びてゐること或ひは生産さるゝものゝ大部分が直ちに商品化する關係上生産品そのものが特に市場性をもつといつた結果からであらう。

蓋しそれ故に消流も亦圓滑に行はれるといふ結論にもなる、従つてその商品の生産、消流、價格の過程に對しては生産者、業者何れ劣らぬはけしい關心を持つてゐることは注目すべきである。而もその農海産物中、豌豆類、粟類、穀類、除虫菊、薄荷、魚油、貝柱、昆布、ミール、鮭鱒罐詰等は海外輸出品として重要な國策的役割を演じてゐることは等しく認識されるところでその將來は愈々重大性を帯びて來ることも否定し難い。

かくて四が北海タイムス社商況部は大正年初より現在に至る迄の重要農海産物の曾て取材した各種統計資料を以て各關係機關より得たる處の新規材料を増補しこゝに梓に上せることゝなつたのである。その各商品の生産、消流、それに價格の變動であるが生産状態に對してはあまりに多岐多様に亘り尙詳細を極めるときは現下の時局に於いて、多少憚る處があつて手加減を加へてゐることは讀者諸氏に於かれて諒とされ度い然し消流状態と價格の動きに對しては編輯として相當苦勞したつもりでありその内容も自負して可なりと信ずる次第である。



目次

本道の米……………(一—五)

本道の雑穀、澱粉……………(六—九)

本道の除虫菊……………(九—一〇)

本道の薄荷……………(一〇—一四)

本道の海産物……………(一五—二二)

水産物検査品目等級荷造……………(二三—二六)

別 輯……………

市場用語解説……………(二七—二九)

尙市場専用語に關し一般から常に難解視されてゐるがこれを避けてゐるは市場の真相をつかみ得ない、そこで讀者の便に資する爲め市場用語の解説をも別輯したがこれは好個の参考書たり得るものと思ふ。

而も別冊として價格の變動に關し數字のみでは徒らに煩雜を勞することを慮り重要と思はれる十九品目の各月別に於ける最高、最低を圖表にして添えたなども編者として誇り得るものと確信してゐる。

本書編輯に當り専ら農産物は小島喜代司君、海産物龜田義隆君が分擔執筆、取材にあつては各經濟商況部員の總出勤に依りかくして本書が出来上つたのである。

なほ本書は本道産業界に權威ある参考書たらん役目を果さんため更に改増補を加え完璧を期したい所存であるから切に大方諸賢の吐正を得たいと思ふ。

昭和十四年七月興亞記念日

編 者 識

内容細目

▲本道の米

- 作付反別、生産高.....一
- 出廻實數、需給状態.....二
- 移輸出状況.....三
- 各月價格高低表.....四

▲本道の雜穀、澱粉

- 生産並に出廻状態.....六
- 作付反別.....二
- 反當收量.....三
- 出廻數量.....三

▼消流状態の推移

- 移出及輸出状態.....一九
- 移輸出高(各月別).....二〇
- 直輸出高(各年度別).....二五
- 三月末全道市場在荷.....二七
- 三月末生産者手元在荷.....二六

▼市場價格の動き

- 小豆月別高低表.....六八
- 大豆同.....七〇
- 大納言同.....七二
- 大福同.....七四
- 手亡同.....七六
- 長同.....七八
- 中長同.....八〇

- 金時同.....八二
- 鶴金時同.....八四
- 青豌豆同.....八五
- 小麥同.....八七
- 洋菜種同.....八九
- 燕麥同.....九二
- 澱粉同.....九四

▲本道の除虫菊

- 全國及本道生産状態.....九七
- 本道累年々生作付反別.....九八
- 本道移輸出數全國輸出數.....九八
- 價格月別高低表.....九八

▲本道の薄荷

- 全國及本道生産状態.....一〇一
- 本道移輸出數、全國輸出高.....一〇三
- 價格月別高低表.....一〇三

▲本道の海産物

- 水産業概況.....一〇五
- 水産物.....一〇六
- 鮭、鱒.....一〇六
- 鮭、鱒、鰯、鱈、鮪、柔魚、蟹、昆布.....一〇六

▼漁獲状態

- 各年度別漁獲高.....一〇七
- 各年度別及主要地別漁獲高.....一〇八
- 各年度別及主要地別漁獲高.....一〇九
- 各年度別及主要地別漁獲高.....一一〇

▼主要水産物製造高

- 身欠鰯、乾鰯.....二七
- 鹽鱈、鹽鮭、鹽鱈、筋子.....二八
- 棒鱈、開鱈、鱈子、乾鰯.....二九
- 海參、乾鮑、貝柱、乾北寄.....三〇
- 明太魚、昆布、海苔、若布.....三一
- 練粕、鱈粕、鰯粕、鱈油.....三二
- 練粕、鰯粕、鱈油、鱈油.....三三
- 鱈油、鮫油.....三四

▼重要水産物輸出數量

- 重要水産物移出數量.....三五

▼各年度別市場概況

- 各年度別市場概況.....三六

▼主要商品各年月別相場

- 鮭.....三九
- 鱈.....四〇
- 小練粕.....四一

水産物検査品目等級荷造

- 鮭.....一五
- 鱈.....一六
- 小練粕.....一七
- 鮭白子.....一八
- 鮭白子.....一九
- 鮭白子.....二〇
- 鮭白子.....二一
- 鮭白子.....二二
- 鮭白子.....二三
- 鮭白子.....二四
- 鮭白子.....二五
- 鮭白子.....二六
- 鮭白子.....二七
- 鮭白子.....二八
- 鮭白子.....二九
- 鮭白子.....三〇
- 鮭白子.....三一
- 鮭白子.....三二
- 鮭白子.....三三
- 鮭白子.....三四
- 鮭白子.....三五
- 鮭白子.....三六
- 鮭白子.....三七
- 鮭白子.....三八
- 鮭白子.....三九
- 鮭白子.....四〇
- 鮭白子.....四一
- 鮭白子.....四二
- 鮭白子.....四三
- 鮭白子.....四四
- 鮭白子.....四五
- 鮭白子.....四六
- 鮭白子.....四七
- 鮭白子.....四八
- 鮭白子.....四九
- 鮭白子.....五〇
- 鮭白子.....五一
- 鮭白子.....五二
- 鮭白子.....五三
- 鮭白子.....五四
- 鮭白子.....五五
- 鮭白子.....五六
- 鮭白子.....五七
- 鮭白子.....五八
- 鮭白子.....五九
- 鮭白子.....六〇
- 鮭白子.....六一
- 鮭白子.....六二
- 鮭白子.....六三
- 鮭白子.....六四
- 鮭白子.....六五
- 鮭白子.....六六
- 鮭白子.....六七
- 鮭白子.....六八
- 鮭白子.....六九
- 鮭白子.....七〇
- 鮭白子.....七一
- 鮭白子.....七二
- 鮭白子.....七三
- 鮭白子.....七四
- 鮭白子.....七五
- 鮭白子.....七六
- 鮭白子.....七七
- 鮭白子.....七八
- 鮭白子.....七九
- 鮭白子.....八〇
- 鮭白子.....八一
- 鮭白子.....八二
- 鮭白子.....八三
- 鮭白子.....八四
- 鮭白子.....八五
- 鮭白子.....八六
- 鮭白子.....八七
- 鮭白子.....八八
- 鮭白子.....八九
- 鮭白子.....九〇
- 鮭白子.....九一
- 鮭白子.....九二
- 鮭白子.....九三
- 鮭白子.....九四
- 鮭白子.....九五
- 鮭白子.....九六
- 鮭白子.....九七
- 鮭白子.....九八
- 鮭白子.....九九
- 鮭白子.....一〇〇



北 聯
保 證 責 任
北 海 道 信 用 購 買 販 賣 會 合 聯 合 組

札幌市北區西丁一目番一
電話代表三五〇〇番

- 小樽支所 小樽市堺町十一番地 電話代表 四一四〇番
- 旭川支所 旭川市一條通九丁目左一〇號 電話 長四二〇五番四二〇六番三〇八三番三八一六番二四九一番
- 帶廣支所 帶廣市西一條十一丁目一番地 電話 一五番三三五番四〇二五番二四四番
- 野付牛支所 常呂郡野付牛町八七四番地ノ一 電話 二九番一九一番一九二番四六二番
- 東京支所 東京市本所區橫綱十六番ノ十 電話本所(73) 二二番八三九番
- 函館支所 函館市地蔵町十六番地 電話 一八番四〇四番二四六九番 三三三八番四三六六番
- 釧路支所 釧路市黒金町十三丁目三番地 電話 六二九番六五六番八一三番
- 大阪支所 大阪市北區堂島上三丁目三番地 全購聯大阪支所内 電話 北三九四五番
- 神戸出張所 神戸市兵庫區島上町十五番地 電話 兵庫七七六番

農産物 輸 出 商
海産物 輸 出 商
倉庫 業
小樽取引所會員

小樽市有幌町廿四番地

中 村 支 店

登記 濟 電信器號(牛三才)
NAKAMURA OTARU
電話 二二二二番
電話 二二二二番
電話 二二二二番
倉庫現場 振替口座 小樽 五四一
電話 九七二二番
電話 三三二二番
電話 七〇〇八番

雜 穀 澱 粉
移 輸 出 入 商

小樽市堺町八十番地

林 松 藏 商 店

受信略號 (和文) (オタル・ハヤシ)
HAYASHIOTARU
電話 一七四二番

小樽市色内町八丁目三番地

大成商事株式会社

代表電話

電話

振替小樽

發電略號

四四四
六〇〇〇
五九八八
三三〇九八
番番番番番

(オタル、マルエス)



湯淺貿易株式会社

本社 神戸市神戸區明石町

出張所

東京市丸ノ内(丸ビル内)
小樽市花園町千代田ビル
天津日本租界浪花街三〇ノ三

小樽市富岡町一丁目一七番地

米、雜穀澱粉、輸出
菜種麻袋移出商

夕廣川宅一郎商店

歐文受信略號 "HOKTO" STAR U
本店

電話四五五、一六六八番
工場用二二二七番
發信電話(ヒロ)又ハ(ヒ)
受信電略(オタルヒロカワ)

電帶廣市外木野驛前
工場用六七一〇番

小樽市相生町一丁目一番地

瀬戸一三商店

雜穀澱粉
委託賣買
移輸出商

電話七四五番
發信略號(セト)又ハ(セ)
受信登記セト一三

小樽市港町三十一番地

雜穀製油原料
精撰移輸出商



太田泰治商店

電話 長
小樽市色内町八丁目
電話 三六七、四五八、三三三八番
振替小樽 (オタル) カワハタ
受信登記 (オタル) (カワハタ)

有價證券現物一般賣買
雜穀澱粉飼料問屋

河端爲友商店

電話 長
小樽市色内町八丁目
電話 三六七、四五八、三三三八番
振替小樽 (オタル) カワハタ
受信登記 (オタル) (カワハタ)

北海名産こしあん

★小樽製餡株式會社

營業所 小樽市堺町八番地
電話 四一三、五八〇番
工場 小樽市外鹽谷村驛前
電話 三三三、五八〇番
振替小樽 (鹽谷) 五八〇番
(アン) 又ハ(ア) 二七八〇番

澱粉問屋

北海名産片栗粉製造元

登 録
★株式會社

澱粉商會
小樽市堺町八番地
電話 三三三、五八〇番
振替口座 小樽二二〇〇〇番
發信略號 デン(又ハ)順位
受信登記 ヲタルデンブ

海産肥料。雜穀澱粉。委託賣買
鹽干魚。貿易品。委託賣買
東京海上火災保險株式會社代理店

吉間瀨孝太郎商店

電話 長 五五八番
電話 四五五六番
振替小樽 マセ(又ハ)マ 一一二二三番

小樽市色内町五丁目

小樽澱粉株式會社

電話 四一五六、四五五六番
振替口座 小樽一〇三三番
發信略號 (ヒ) 又ハ(ヒン) 〇
出張所 電話 一六一番、一〇二番


澱粉再製
肥料販賣
雜穀除虫菊
委託賣買
移出業

馬鈴薯澱粉 商
 毆米向雜穀 商
 小樽取引所會員

北海道小樽市堺町


 井上宇太郎商店

電話 一五〇五・八四八・一八四八番
 電掛 市外專用 五八番
 電掛 市外專用 八四八番
 電掛 市外專用 八四八番
 電掛 市外專用 八四八番

 井上鉏路出張所

電話 八四〇番
 電掛 市外專用 八番
 電掛 市外專用 八番
 電掛 市外專用 八番

小樽市堺町二十五番地

 北海道澱粉工業組合

電話 一六八番二七四二番
 電掛 市外專用 八番
 電掛 市外專用 八番
 電掛 市外專用 八番
 工場 小樽(第一、二)士別(第一、二、三)留萌、劍淵、添牛内、美深、美瑛、豊平、新得、中頓別、小頓別



保証責任 北海道地區商業組合聯合會

事業 雜貨共同仕入、運輸保管、金融

保証責任 北海道米穀小賣聯合會

事業 共同仕入、共同販賣、金融

札幌市南十條西一丁目
 事務所 北海道商業組合會館

電話代表 七五八番

雜穀澱粉委托問屋

力金内章郎商店

小樽市相生町一ノ一五
電話 三二二一
電話略 (カネ) 又ハ(カ)

農海産商

長佐々木商店

小樽市色内町一丁目二十番地
電話 五一九
電話略 八六九

各種包装材料、帆布類綿布
テント其他加工品
麻製品一式アソビ

今井孝商店

小樽市港町本通
電話 一六二二番
電話略 四一〇八番

新古麻袋綿袋
輸入製袋販賣商
麻糸綿糸麻布

小樽市開運町五丁目八番地
電話 二六九〇番
電話略 二六九〇番
受信略 二六九〇番
振替小樽 一八〇〇番
第一倉庫 小樽市開運町五丁目
第二倉庫 南小樽貨物驛前
電話 三五六四番

海陸物産
委託賣買
雜穀澱粉
米魚肥料
移出業

松本合名會社

小樽市驛前靜屋通り
受信(オタル、マルホンマツモト)
發信(マ) 又ハ(マ) ツ
振替口座小樽 七二二
電話 二四二九
電話略 三二二番

雜穀澱粉
海産肥料
委託賣買

中崎小樽支店

北海道小樽市色内町一丁目大通
會員組織小樽取引所會員
電話 三六一〇番
電話略 三六一〇番
振替口座(小樽) 二二九四番

雜穀澱粉

早田善次商店

小樽市堺町三十三番地
電話 四三一
電話略 三八八番
振替小樽 三三六〇番
電話略 八ヤタ

雜穀澱粉
委託賣買
並移出

七砂山商店

小樽市色内町七丁目
電話 九七八番
電話略 二三八番
取引銀行 第一銀行支店

大正三年創立
 資本金壹千萬圓
 所有船三十八隻・拾壹萬九千餘噸
 定期航路十八線

北日本汽船株式會社

東京本店 東京市麴町區內幸町大阪ビル內
 小樽營業所 小樽市南濱町四丁目一番地
 支店・出張所 大泊〔出張所〕真岡、青森、新潟
 富山、稚内〔在勤員〕泊居、函館
 伏木、敦賀、大阪、宇品、清津、浦汐

小樽專屬荷扱店 株式會社 北二組
 小樽市南濱町四丁目二番地
 電話※四五六〇番

製粉 澱穀 雜米
 製粉 澱穀 雜米
 油糠 脂脫料肥

社會式株成共
 市樽小店本
 番〇四七四 * 話電
 セヨキルヲ略電信受





農
產
物

會員組織小樽取引所一般會員
正米雜穀澱粉賣買委託問屋

株式
會社



室
清
次
郎
商
店

小樽市堺町本通
電話一六一七二番
電略替話〇七一五六一七番
又ハセ

砂糖 麥粉 飼料 醬油 麥酒 味噌 清酒 味噌酒 燒酒 卸問屋

株式
會社



川田憲太郎商店

小樽市色内町六丁目十一

電話一五三九番
長一五三九番
四一一二番

振替小樽一八四番
發信略號カワタ(又ハセ)力
受信登錄オタルカワタ
出張所一律太泊町榮町

日清製粉株式會社小樽出張所

小樽市色内町八丁目
本店 東京日本橋區小網町
支店 名古屋、神戸、下關、橫濱、
大阪、大連、天津、北濟、京南
工場所在地 鶴見、水戸、宇都宮、佐野、
館林、名古屋、神戸、岡山、
坂田、鴻巣、高崎、川越、羽
大塚、野付牛
日産能力二万七千バレル



本道の米

本道に於ける稻作は約二百五十年前渡島國龜田郡に試作されたのを嚆矢とすると傳えられてゐるが明治十九年には作付千八百餘町二万九千石の收穫を上げ、更に道廳時代に移り益々勃興の氣運に向ひ毎年一町程度の増田を見、最近では十八万町から十九万町に達し近き將來には二十万町突破を見るだらう。收穫高も本道は冷害の襲來頻々であつて水稻栽培不可能を傳えられたが品種の改善育成、耕作法の研究で昭和十二年度には四百七十万石に達し從來米の消費地として内地に移入米を仰いだのが一轉して自給自足から一大生産地となり餘剩米を道外に移出しなければならぬ狀勢に到達したのである。而して從來南樺太主として供給の地位にあつたが最近内地方面へ工業用として需要増し而も滿洲北支方面への消流が著しく進歩した事は注目すべきである。

作付反別

(單位町)

年産	四年産	五年産	六年産	七年産
粳米 一、〇〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
秈米 一、〇〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
計 二、〇〇〇、〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇	二、六〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇

本道米生産高

(單位俣)

年産	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	十四年	十五年	昭和二年産	三年産
粳米	一、〇〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	一、七〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇	二、三〇〇、〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇
秈米	一、〇〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	一、七〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇	一、九〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇	二、三〇〇、〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇
計	二、〇〇〇、〇〇〇	二、二〇〇、〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇	二、六〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、二〇〇、〇〇〇	三、四〇〇、〇〇〇	三、六〇〇、〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、二〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	四、六〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇

出廻實數 (單位個)

一	六、七五〇、四〇一	七、九七、七三三	七、四九四、一七五
二	一〇、六九、二二二	一、四二、六六九	二、八二〇、七三二
三			

大正八年産 九年産 十年産 十一年産 十二年産

梗玄米	一、六五、五三三	二、二、九七〇	二、五〇、六五五	二、三九、〇三七	二、六三、九〇八
糯玄米	三、四、三九一	六、九、九七七	一、〇、八三八	一、三、三一九	一、七、六六六
計	一、六九、九二四	二、八、一、九七七	二、六、四、五三三	二、五、三、三五六	二、八、〇、二、六〇四
十三年産	三、八、七、三〇〇	一、九、三、九六六	四、三、〇、七九五	三、九、二、三六四	
計	三、八、七、三〇〇	一、九、三、九六六	四、三、〇、七九五	三、九、二、三六四	

本道米穀需給状況 (單位石) 年度 (自當年十月至翌年九月)

前年度ヨリ持越高	昭和四年度	五年度	六年度	七年度	八年度	九年度	十年度	十一年度	十二年産
生 産	一、五三、三〇七	七、八、八三五	六、二、六一九	一、九八、五七〇	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八
移 入	二、六三、二六七	三、〇三、七三三	一、五三、四八〇	一、三〇、三二九	一、〇九、五〇九	一、〇九、五〇九	一、〇九、五〇九	一、〇九、五〇九	一、〇九、五〇九
移 出	六、八、六八〇	八、七、三二七	一、三三、〇八八	一、九八、五七〇	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八
計	三、四六、八九四	三、九七、二三四	三、五三、〇五七	三、四九、一六二	三、三九、一六二	三、三九、一六二	三、三九、一六二	三、三九、一六二	三、三九、一六二
移 入	三、四六、八九四	三、九七、二三四	三、五三、〇五七	三、四九、一六二	三、三九、一六二	三、三九、一六二	三、三九、一六二	三、三九、一六二	三、三九、一六二
移 出	二、七〇、七五〇	一、七、三三六	六、二、六一九	一、九八、五七〇	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八
計	七、八、八三五	六、二、六一九	一、九八、五七〇	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八	一、四〇、三六八
道内消費高	三、二、四、四九九	三、一、九、四九九	三、二、五、九三三	三、二、七、七九七	三、二、八、五五三	三、二、八、五五三	三、二、八、五五三	三、二、八、五五三	三、二、八、五五三
本道人口	二、五、五、五〇六	二、八、二、三四二	二、七、四、〇二二	二、八、〇、八五三	二、八、〇、八五三	二、八、〇、八五三	二、八、〇、八五三	二、八、〇、八五三	二、八、〇、八五三
一人當り消費高	一、一、三、三三	一、一、三、三三	一、一、三、三三	一、一、三、三三	一、一、三、三三	一、一、三、三三	一、一、三、三三	一、一、三、三三	一、一、三、三三

本道米移輸出状況 (單位石) 年度 (自當年十月至翌年九月)

月次	大正十一年度	十二年	十三年	十四年	十五年	昭和二年度	三年度	四年度	五年度	六年度	七年度	八年度	九年度
一〇	一、三三、五	二、四、〇	六、六、二	九、二、〇	五、七、〇	六、九、〇	七、九、九	三、八、三	三、六、五	三、七、八	二、一、〇	六、九、三	三、七、七
一一	一、三三、五	二、四、〇	六、六、二	九、二、〇	五、七、〇	六、九、〇	七、九、九	三、八、三	三、六、五	三、七、八	二、一、〇	六、九、三	三、七、七
一二	一、三三、五	二、四、〇	六、六、二	九、二、〇	五、七、〇	六、九、〇	七、九、九	三、八、三	三、六、五	三、七、八	二、一、〇	六、九、三	三、七、七
計	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇	一、九八、八〇〇
昭和三年度	三、七、五、三三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三
昭和三年度	三、七、五、三三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三
昭和三年度	三、七、五、三三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三	三、九、七、〇三

小樽取引所先限値段段

(旭川三葉支米建)

年	月	最高	最低	
大正	十一年	三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
	十二年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇	
	十三年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇	
	十四年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇	
	十五年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇	
	昭和	二年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
		三年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
		四年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
		五年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
		六年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
	明治	九年	三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇
		八年	三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇
七年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
六年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
五年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
四年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
三年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
二年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
一月		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	

年	月	最高	最低	
大正	十一年	三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
	十二年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇	
	十三年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇	
	十四年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇	
	昭和	二年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
		三年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
		四年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
		五年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
		六年	三三,〇〇〇	三一,〇〇〇
	明治	九年	三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇
		八年	三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇
		七年	三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇
六年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
五年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
四年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
三年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
二年		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
一月		三二,〇〇〇	三〇,〇〇〇	

本館の編集方針

出典の明記

本道の雑穀澱粉

生産並に出廻状態

本道雑穀澱粉の生産状態を視るに作付反別の増減は大豆、麥類の如き市場性の稀薄なものは別として其他小豆類、菜豆類、豌豆類、澱粉等の投機性を多分に含む商品は前年度價格の高下に依つて著しく支配されるのが本道農作物の特異性でありそれは價格表と照合すれば直ちに知り得るであらう。生産高は年の豊凶により反別に比例しないが殊に本道の場合は冷害の如何が大きく影響してゐる。

出廻状態は麥類又は大豆類の如き農家の自家用即ち種子用、食用若しくは飼料として消費される數量の多いものは出廻數量は少い事になるが、豌豆類、菜豆類等はその生産數量の八割五分乃至九割に達し澱粉は九割五分に達する場合がある即ち商品となり得るもの、出廻數は多いことになるのだ。

作付反別 (單位反)

大豆	大正三年 四〇、一八五、三	四年 八四、六七四、八	五年 八四、四八二、八	六年 五七、三二八、六	七年 五二、九七七、九
小豆	四、一〇〇、三	四、九一三、三	四、五二二、二	三、九〇五、六	三、四六三、五

大豆	大正八年産 三、五九九、九	九年産 三、九三三、三	十年産 四、七四二、二	十一年産 三、九七三、四	十二年産 三、九三三、七	十三年産 四、〇三九、九	十四年産 三、九〇八、九	十五年産 三、四九三、一	昭和二年産 二、八七三、八	三年産 二、八八四、四
小豆	一〇、六三二、二	一六、四〇九、四	一八、六八八、五	一七、五五九、四	一八、六六四、四	一七、六三三、七	一七、七六二、三	一六、三三三、〇	一四、九三九、五	一三、三〇〇、四
大納言	二八、五五六、九	五〇、一四二、三	五二、三〇〇、〇	四三、七六九、七	四三、九七五、一	三三、二五一、四	三三、六三三、四	三三、一三七、一	三二、九七九、五	三二、五八二、六
秋田	一九、四九七、四	四一、六三三、七	四二、三〇〇、七	三四、九六六、三	三三、〇〇三、二	二六、九二七、三	三三、九五五、六	二四、九六六、七	二五、八七三、一	二七、八六六、四
鶴の子	—	—	—	五、五〇二、八	五、三八一、三	四、一八九、三	二、九四五、〇	三、〇六四、〇	三、七三三、三	四、一六八、〇
袖振	—	—	—	三、一四五、八	三、六二八、四	三、三三〇、六	二、七九三、一	二、二四六、九	二、一七九、二	二、二二八、八
黒豆	—	—	—	—	六、一八三、一	五、〇四三、三	四、六〇六、四	四、二二三、三	三、八七三、三	三、九七六、六
其他	—	—	—	—	—	六、〇〇〇、〇	六、〇〇〇、〇	六、〇〇〇、〇	六、〇〇〇、〇	六、〇〇〇、〇
大福丸	六、三三八、三	四、九六六、六	四、八六六、二	四、一〇五、六	四、四三三、七	四、四三三、七	四、一〇一、六	四、三三七、九	四、一七三、二	四、〇九九、九
白丸	—	—	—	四、一五九、五	二、二六六、三	二、三三七、六	二、二六八、三	二、一五七、七	一、八八八、九	一、二二九、二
手長	三、四一五、〇、六	八、一四四、六、六	一、六九九、四	一、三三三、三	二、二五七、三	四、四三三、六	四、四三三、六	九、七〇七、七	六、八〇〇、三	六、〇〇〇、〇
長鷄	—	—	—	一、〇〇六、三	七、七〇〇、三	一、八〇〇、〇	一、八〇〇、〇	六、六七八、二	八、一六九、五	九、一三三、九
中長	—	—	—	二、二八二、〇、七	二、七五二、〇	一、八〇〇、〇	一、八〇〇、〇	二、三九三、一	二、三九三、一	二、三九三、一
金時	三、三三九、三	八、八八六、一	八、二六六、七	二、二七八、二	九、四七五、八	七、七〇九、八	七、七〇九、八	六、三三二、二	六、三三二、二	六、三三二、二
ビール	五、九二八、七	六、二四四、五	三、三三六、七	四、七六四、九	二、九四八、七	一、七六〇、六	一、七六〇、六	一、〇〇〇、〇	一、〇〇〇、〇	一、〇〇〇、〇
其他茶豆	—	—	—	一、八六九、四	二、二八六、九	三、七三三、三	三、七三三、三	〇、〇〇〇、〇	〇、〇〇〇、〇	〇、〇〇〇、〇

大豆	三年産 三〇、六三〇、二	四年産 七、四七三、八	五年産 八、六三三、三	六年産 二、七〇九、二	七年産 二、二九二、九
小豆	二〇、七六八、三	一八、八九四、一	一六、六二七、五	一四、一〇三、二	一三、七三三、二
大納言	六、六二〇、六	六、五四八、五	五、九九八、三	四、八四八、八	四、二六三、一
秋田	三、九三〇、九	三、八八六、〇	三、八三〇、九	二、七〇八、一	二、六八三、〇
鶴の子	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
袖振	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
黒豆	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
其他	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
大福丸	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
白丸	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
手長	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
中長	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
金時	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
ビール	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇
其他茶豆	三、九三〇、九	三、〇八七、七	三、〇八七、七	一、八三三、〇	一、八三三、〇

品名	大正						昭和						
	八年産	九年産	十年産	十一年産	十二年産	十三年産	十四年産	十五年産	十六年産	十七年産	十八年産	十九年産	二十年産
水稲	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000
大豆	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
小麦	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
粟	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000
黍	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
稗	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
其他	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
合計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000

反當收量

(單位俵又ハ袋)

品名	昭和十年産			昭和十一年産			昭和十二年産			昭和十三年産		
	十月	十一月	十二月	十月	十一月	十二月	十月	十一月	十二月	十月	十一月	十二月
小麦	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
粟	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000
黍	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
稗	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
其他	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
合計	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000

小水	稗	虎	薄	除	蠶	唐	黍	蕎	豆	菜	燕	裸	小	大	赤	青	其他	紅	金	中			
豆	稻	丸	荷	菊	粉	黍	麥	種	種	麥	麥	麥	豆	豆	豆	豆	豆	豆	時	長			
昭和七年産	一、七三																						
八年産	四、一六																						
九年産	三、〇〇																						
十年産	三、〇〇																						
十一年産	一、七三																						
十二年産	二、〇〇																						
十三年産	二、九二																						
十四年産	一、七三																						
大納言	一、〇七																						
大豆	一、〇七																						
納言	〇、六六																						
秋	〇、六六																						
大	二、五二																						
大	二、五二																						

出廻數量 (單位俵)

袖	黒	大	大	長	中	金	美	鶴	紅	青	赤	洋	大	小	裸	燕	頭	蕎	玉	馬
振	豆	手	手	時	時	時	時	時	豆	豆	豆	種	種	種	種	種	種	種	種	種
大正四年産	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇
大正五年産	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇

其他菜豆	三三,五五六	八,七九九	四,六四六	六,一四四	七,八一九	二四,七一一	一八,六三二
青豌豆	六二,五五三	五八,九二五	五九,七九六	四三,九四四	四九,一四二	三〇,八二四	二〇,九九四
赤豌豆	二六,四九〇	五〇,七〇〇	四七,四三三	三二,一六〇	四〇,八九五	二六,二四一	七,九〇三
其他豌豆	三七七	四五〇	二七二	三二七	四〇,八九五	二〇,九九四	二五,二八七
大麥	四三,九六三	五一,〇二九	三九,七六六	一六,七五五	一〇,五〇五	七,八一五	一〇,八四〇
小麥	三三,四六九	二七,二九三	一六,八四八	二〇,六八三	一九,〇〇七	二七,九九七	一四,九四九
裸麥	一〇,〇〇〇	八,五〇七	六,七〇四	四,八八九	三,五五五	一,〇三六	三,五三二
燕麥	一,七九九	二,三四五	二,〇〇〇	一,七三三	一,七三三	二,七〇三	二,七〇三
和種	六六,〇〇〇	九八,八八八	六六,〇〇〇	六〇,〇〇〇	五九,五九六	四三,七四四	二七,〇一一
洋種	二二,二五六	一〇,五九五	五,〇八八	五,四四一	三,六八八	二,七〇三	一,一三二
春種	四四六	一三三	一五六	三九〇	三,六八八	二,七〇三	一,一三二
亞種	四一,四四六	四五,五六二	四八,六四四	四六,五五二	三三,五四八	二六,九八一	一八,〇二六
荳蔻	五,九三三	四,七五三	四,三三六	八,九三三	六,九六八	一,二〇九	一,九四八
蕎麥	二二,三五六	一七,七五八	二〇,四八七	二二,一三〇	二一,三〇〇	一七,八八〇	一七,〇八〇
玉蜀黍	一,一八二	八七八	四〇	六〇	六〇	七,八八〇	一,〇八〇
種粉	一〇〇,六二二	一〇〇,六二二	二四,四六八	五九,六六七	二九,六六七	一八,二七六	二四,〇九二
種粉	七九,六五六	八〇,九一七	五〇,〇〇〇	七六,八八三	五九,五九九	八八,六二二	四九,九〇三
昭和八年產	六三,一五六	三七,二一六	二〇,一五〇	三三,八八四	三〇,一七〇	一九,二五六	一四,八三三
小豆	五九,三三四	二六,二八〇	一三,七〇九	二五,二八八	二五,二八八	一八,四七六	一三,八六八
大納言	一四一	八五	五	一〇	一〇	一八,四七六	一三,八六八
其他小豆	五九,三三四	二六,二八〇	一三,七〇九	二五,二八八	二五,二八八	一八,四七六	一三,八六八
大豆	四〇,〇六一	三九,七〇七	三九,七〇七	三九,七〇七	三九,七〇七	三九,七〇七	三九,七〇七
大納言	一四一	八五	五	一〇	一〇	一八,四七六	一三,八六八
其他小豆	五九,三三四	二六,二八〇	一三,七〇九	二五,二八八	二五,二八八	一八,四七六	一三,八六八
赤豆	一四一	八五	五	一〇	一〇	一八,四七六	一三,八六八
青豆	一四一	八五	五	一〇	一〇	一八,四七六	一三,八六八
其他菜豆	一四一	八五	五	一〇	一〇	一八,四七六	一三,八六八
其他	一四一	八五	五	一〇	一〇	一八,四七六	一三,八六八

唐黍	二〇,九九〇	七,七七八	二九,九九〇	七,八八〇	二九,九九〇	七,八八〇	二九,九九〇	七,八八〇
大納言	四九,九七五	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三
小豆	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
大納言	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
其他小豆	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
大納言	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
其他小豆	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
赤豆	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
青豆	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
其他菜豆	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
其他	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
昭和四年產	四九,九七五	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三
五年產	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
六年產	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
七年產	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
八年產	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一
其他	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一	二二,五五一	三六,八八三	二五,七七一

品名	昭和十二年産			十三年産			十四年産		
	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	
ライ麦	二,一〇五	八,五〇二	五,六〇六	三,三八七	二〇,九八五	一八,一六三			
洋麦	四九,六五九	九九,三三三	一一,〇三三	二七,七五五	三,六九一	二,四二八			
和麦	二,五四〇	六,六三三	五,七〇〇	五,〇七四	五八〇,三二八	五〇六,三七三			
春麦	九二五	一,九四五	四,九七七	一五,五八四	三九,〇二二	一七,二七七			
亞麻種	五〇,九八五	六七,七七七	五三,〇〇三	四四,〇〇六	一五九,九九九	一〇八,三五一			
芥子	—	—	—	—	三六,六六六	—			
荏子	五,六六六	一,一九五	六六三	一〇,四四四	二七八,五五六	二七八,五五六			
蕎麦	二〇,七八一	一七三,六六八	二七,三三八	一五,九六六	四三,六三〇	二四,六七五			
玉蜀黍	二,一九八	五五七	三三八	一〇,七七七	三三,四六二	一八,〇九二			
稗子	一七〇,〇三三	一七四,〇三三	一四三,九三三	一八六,二六四	二九八,六三三	一八八,一三三			
馬鈴薯	一,二九三,九八四	一,三三〇,一七九	一,二六八,七三三	二,〇六八,七九九	四九,一九三	四八,七九三			
大豆	五〇〇,六五五	三九六,四三三	三〇,〇〇五	一五,九二二	二九,〇〇一	三六,三三三			
小豆	四七八,八三六	—	—	—	一五,九二二	四五,八二四			
大納言	—	—	—	—	四九	九七〇			
其他小豆	三七七	—	—	—	一五,六七二	二八,八〇七			
大豆	七三六,〇〇七	—	—	—	一六,八〇四	七六,〇〇九			
秋田	四七〇,九九九	—	—	—	四四,四六四	—			
鶴の子	一八,〇〇六	—	—	—	—	—			
袖振	二六,三三三	—	—	—	五,三三三	三六,〇八九			
黒大豆	一六九,一〇一	—	—	—	三,三三三	三,七七八			
其他大豆	三五,二五三	—	—	—	四,九八四	—			
大福	九四,一八一	—	—	—	一八,九四四	—			

一、輸出状況

輸出高もその生産年度に於ける豊凶に依り受ける影響は渺しとなしたが、それが本道のみでなく競争的立場にある海外生産國の作態如何も大きく支配する。例せば青豌豆の場合和蘭産の茶豆類はダニユール沿岸地方の作況に依る場合が多く特に本年度はメキシコ方面の不作を傳えて長嶺中長の海外支向激増となつた等は適例である。更に客觀的情勢の動きは最大の決定権を持つ、大正年間には於ける歐洲大戰當時の輸出旺盛時代、昭和五年の米國に於ける高率關稅引上實施に依る同方面支向の杜絶、金輪解禁の爲替高、再禁止の爲替安はそれぞれ大きな衝動を與え、更に支那事變發生と對英國關係の複雑化で青豌豆の同地仕向不振、その對策として本年度の計畫輸出で獨逸輸出の進捗を見た等で知り得るだらう。澱粉は大正年間、歐洲戰亂に依り歐洲支向の途が拓けたがその後は和蘭粉の壓迫で印度に向ける若干輸出を見てゐるのみである。然し最近滿洲北支等國プロツク諸國への輸出高著増は注目すべきであらう。

而して本道澱粉の對外支向は最初横濱、神戸等に在住する外商、邦商に依り取扱はれ要するにそれ等の諸港伸張して輸出されて來たが歐洲大戰後、外航路の小樽港への直接航路、銀行業者の對外爲替取扱開始に依り大正十二年頃より本道在住輸出商を経由する事となつたが現在では總てが本道直輸出である。

消流状態の推移

一、移出状況

内地支向け即ち移出状態を數量の上からのみ見ればその穀年度に於ける生産數量と概して比例する事は別項の生産状態と對比すれば知り得るだらう。而も出廻實數が殆ど移出數の大半を占めるのである。殊に移出高に於いては客觀情勢の變化に依り受ける影響は元より無いと云ふ譯ではないが緩慢なる動きを示してゐるのである。仕向地即ち需要府縣別に見ると小豆は東京、大納言は大阪、兵庫、茶豆類は東京、大阪、兵庫、富山、山口、豌豆類は東京を主とし種類は愛知、大阪、澱粉は東京、大阪、兵庫、愛知、其他朝鮮、臺灣支向けも漸次増加の振合である。

亞麻種	四〇,六九八	一三三,一八一
芥子	三,四九九	二,一八三
蕎麦	一〇,〇六一	一六五,五九九
玉蜀黍	一,八九九	一,四六六
稗子	一三六,五九四	二六一,〇〇四
荏子	五八,三三六	三三,三七七
澱粉	三,二三四	一,三三三
馬鈴薯	三,一九九,六三〇	二,五七二,五七七
	一,八三三,八五二	—

移出高 (大正自三年四月至四年三月)

Table with 12 columns for months (自四月 to 三月) and 1 row for total (合計). Rows include categories like 小豆, 大豆, 黑豆, etc., with numerical values for each month.

(大正自四年四月至五年三月)

Table with 12 columns for months (自四月 to 三月) and 1 row for total (合計). Rows include categories like 小豆, 大豆, 黑豆, etc., with numerical values for each month.

(大正自五年四月至六年三月)

月份	合計	燕麥	稻粉	澱粉	合計
四月	一四〇	三三,〇九八	一,九〇〇	六〇,六五三	七五,九四五
五月	—	—	—	—	—
六月	—	—	—	—	—
七月	九	三,四四〇	—	八,一七	三,八五七
八月	一〇,三七	一〇,三六七	—	—	一〇,三六七
九月	三〇	七,四八	—	—	七,四八
十月	一,六八八	—	—	—	一,六八八
十一月	一〇,六	—	—	—	一〇,六
十二月	—	—	—	—	—
一月	三〇	—	—	—	三〇
二月	—	—	—	—	—
三月	—	—	—	—	—
合計	一〇,三三	三三,〇九八	一,九〇〇	六〇,六五三	七五,九四五

(大正自五年四月至六年三月)

月份	小豆	大豆	黑豆	中福	室隱元	手亡	丸	長	中	金時	姉子	其他菜豆	青豌豆	赤豌豆	白豌豆
四月	三,三三三	一四,三三〇	四,九八二	五,一四八	二,四九六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五月	三〇,八八八	七,三九八	五,六六二	二,四九六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
六月	三〇,四三三	四〇,一九三	三,一九八	四,九五四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七月	三〇,四三三	一六,七三六	四,七三五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八月	一四,九八二	六,二六六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九月	五〇,〇九二	四九,五〇	一,八四四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十月	二四,〇九三	四九,五〇	三,四二一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一月	二四,〇九三	一五,〇三六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二月	三,三〇三	一五,〇三六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一月	四六,〇八八	一五,〇三六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二月	三,三〇三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月	三〇,八三二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	四三,〇〇〇	一〇,〇七二	一八,二四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(大正自六年四月至七年三月)

月份	小麥	蕎麥	菜種	亞麻種	荳胡麻	燕麥	稻粉	澱粉	合計
四月	三,七四	九,〇七三	七,六四三	—	—	—	—	—	—
五月	三,七四	七,八八二	二,九一八	—	—	—	—	—	—
六月	三,三三	七,〇七三	二,九一八	—	—	—	—	—	—
七月	二	—	—	—	—	—	—	—	—
八月	三,〇七三	—	—	—	—	—	—	—	—
九月	七,九	—	—	—	—	—	—	—	—
十月	九,三三	—	—	—	—	—	—	—	—
十一月	三,三三	—	—	—	—	—	—	—	—
十二月	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一月	二,四四	—	—	—	—	—	—	—	—
二月	二,四四	—	—	—	—	—	—	—	—
三月	三,七四	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	三,七四	九,〇七三	七,六四三	—	—	—	—	—	—

(大正自六年四月至七年三月)

月份	小豆	大豆	黑豆	中福	室隱元	手亡	丸	長	中	金時	姉子
四月	三,三三三	一三,七九四	二,一五九	五,九八〇	—	—	—	—	—	—	—
五月	三〇,八八八	四,五九八	四,五九八	—	—	—	—	—	—	—	—
六月	三〇,四三三	五,六六二	二,四九六	—	—	—	—	—	—	—	—
七月	三〇,四三三	六,二六六	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八月	一四,九八二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九月	五〇,〇九二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十月	二四,〇九三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一月	二四,〇九三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二月	三,三〇三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一月	四六,〇八八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二月	三,三〇三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三月	三〇,八三二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	四三,〇〇〇	一〇,〇七二	一八,二四	—	—	—	—	—	—	—	—

品名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	合計
藤本隱元													
青豌豆	三、三三七	一、七、三四											
赤豌豆	二、六八六	三、九、四五											
白豌豆	七、一	三、四二											
小麥	四、一〇一	四、七、二四											
蕎麥	二、二六四	二、〇、〇〇											
菜種	四、二二四	八、四六五											
亞麻種	二、八二二	五、八三三											
苜蓿	一、三三三	六、四九九											
燕麥	九、四四三	七、二七九											
稻黍	二、〇〇一	四、九〇九											
澱粉	二、五、九七四	八、九、〇八九											
大麥													
辛子種													
唐黍													
其他													
計	二六六、六六八	三六六、〇四三	二六、七九八	二〇六、九八八	三三八、五七九	二六、四四三	三八〇、〇三三	八四八、八四一	四四九、二九三	八五八、二九四	四〇、九三三	五〇、七三〇	四、九二二、二二一

(大正自七年四月
至八年三月)

品名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	合計
中福													
室隱元	二、八七〇	八、九〇											
手亡	三〇、二四九	六、一、八七〇											
丸鴉	一、一〇一	九、七、六											
長鴉	八、〇〇九	二、五、五五											
中長	一、九、五〇	三、八、七六											
金時	三、一、四三	五、三、九八											
藤本隱元	二、八〇五	一、五、五八											
其他茶豆	九、六、一九	二、三、〇二八											
青豌豆	三、四、八〇九	二、七、九八〇											
其他豌豆	二、八九	一、一、八五											
小麥		一、三、三二											
其他麥類		八、三、四一											
蕎麥	三、七、二〇	五、二、九二											
菜種	四、六、四四	一〇、三、〇五											
亞麻種	八、二〇	二、〇、八八											
苜蓿	四、四	一、九											
燕麥	一、七、一〇	九、七、七六											
澱粉	五、九、五二	八、九、三二											
其他	三、三、二四	三、三、三〇											
計	二七、〇、二二	五、七、四、五六〇	四、三、八、四〇	三、九、七、四九	二、二、五、五三六	二、七、五、五二	四、一、二、四三	四、六、七、五三三	六、九、〇、一〇一	四、〇、一、六四九	三、七、五、一七〇	二、四、八、四九	四、六、一、二、五五九

(大正自八年四月
至九年三月)

品名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	合計
大豆	17,041	3,366	2,189	9,300	2,191	2,333	3,333	2,866	1,580	1,900	6,625	8,280	6,625
大福	4,166	3,879	4,000	7,599	9,366	3,391	6,106	3,866	2,255	10,366	6,066	8,366	78,488
中福	2,744	824	4,641	3,455	3,733	1,983	2,466	855	2,455	5,125	2,125	1,066	28,487
室蘭隠元	1,122	1,390	500	4,000	2	1,855	1	108	409	10	4,599	733	32,833
熊本隠元	6,355	1,470	2,333	4,377	3,283	3,639	1,964	7,888	6,173	1,678	2,988	2,400	184,680
手亡	3,997	8,330	8,135	87,135	142,397	90,925	94,925	12,633	35,743	43,610	3,933	30,400	832,357
鷄豆	3,433	26,660	25,999	18,999	120,633	12,300	3,488	5,997	2,595	3,793	3,125	6,144	44,777
金時	5,661	7,970	6,333	10,000	3,370	8,788	10,276	2,994	6,097	1,525	6,528	1,588	94,977
其他菜豆	6,736	7,455	5,183	9,333	9,888	1,441	7,061	2,994	6,097	1,525	6,528	1,588	77,267
青豌豆	17,244	49,726	46,859	30,932	37,222	33,509	30,867	32,330	13,266	13,266	93	30	351,339
其他豌豆	54	25	520	57	58	488	484	66	278	278	93	30	2,030
小麥	1,482	2,333	733	1,333	4,799	1,330	4,441	2,999	1,299	7,661	5,999	7,522	62,133
蕎麥	9,599	8,052	3,706	5,706	1,749	3,333	4,399	5,067	6,993	952	75	97	148,910
燕麥	36,110	17,779	300	300	1,441	5,982	2,488	3,388	2,666	3,666	1,111	2,739	35,866
燕粉	25,853	33,055	45,341	6,910	4,448	20,666	33,666	27,333	7,999	8,999	7,362	2,000	6,866
其他	933	5,888	3,706	4,222	222	269	269	333	1,399	833	999	1,444	16,277
計	29,369	32,197	37,511	22,073	22,073	22,558	36,291	30,952	35,359	40,776	38,349	56,632	3,960,000

品名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	合計
大豆	2,009	3,777	1,767	3,788	2,674	3,898	1,077	1,600	1,900	9,625	8,545	8,280	6,625
大福	4,599	1,866	2,422	2,938	2,622	1,333	3,706	1,444	7,107	3,933	3,706	3,125	30,633
中福	1,955	2,422	2,938	3,455	2,622	1,333	766	3,399	799	809	3,125	3,125	10,010
室蘭隠元	233	255	667	466	1,733	809	110	88	42	28	11	30	1,924
熊本隠元	23,998	14,766	4,333	22,666	22,777	1,122	6,222	1,599	1,898	8,999	8,999	3,377	115,555
手亡	3,042	6,390	6,444	20,667	34,948	8,906	6,222	11,666	6,961	4,951	9,333	10,782	295,555
鷄豆	24,994	22,524	9,666	11,075	7,475	9,498	2,566	40,333	2,144	3,407	1,876	1,973	235,133
金時	5,950	4,418	2,399	2,666	2,701	3,479	2,588	6,366	5,333	2,500	3,010	4,682	44,851
其他菜豆	4,833	1,444	709	427	1,577	743	3,446	9,698	9,261	5,268	4,422	4,337	44,566
青豌豆	25,466	20,600	15,600	19,428	34,410	29,688	7,037	22,076	13,610	11,990	22,489	7,422	294,577
其他豌豆	197	9	1	1	138	108	42	200	1,066	778	455	290	5,629
小麥	4,553	1,201	1,466	567	1,075	1,441	1,855	2,999	4,222	4,011	1	290	8,824
蕎麥	4,553	1,201	1,466	567	1,075	1,441	1,855	2,999	4,222	4,011	1	290	8,824
燕麥	36,110	17,779	300	300	1,441	5,982	2,488	3,388	2,666	3,666	1,111	2,739	35,866
燕粉	25,853	33,055	45,341	6,910	4,448	20,666	33,666	27,333	7,999	8,999	7,362	2,000	6,866
其他	933	5,888	3,706	4,222	222	269	269	333	1,399	833	999	1,444	16,277
計	320,800	276,500	229,100	125,200	336,876	175,800	195,622	340,609	442,352	320,800	225,998	337,188	3,977,000

大豆	一四一、四三三	一一、二八一	三六、六四七	四九、〇八五	三七、五七七	二四、二〇五	四一、七一一	二〇、四四四	二九、五八〇	一三、五八八	一五、七五五	一、五五八、一〇三	一、五五八、一〇三
大福	一、〇三二	五六六	四六五	三〇〇	三三八	三、〇六六	三、八九九	九、三九六	七、三三二	四、〇三一	四、一〇二	四、一〇二	三、八九九
中福	四三二	一八	一〇五	九九	一八〇	六〇	一、〇二二	九、三三一	六、九六六	七、二	三、一〇二	四、二八	三、一〇二
白丸	八七	二、四〇五	一、四〇〇	二、三九九	六六	一、〇〇〇	九、三三一	六、九六六	七、二	三、一〇二	四、二八	三、一〇二	三、一〇二
熊本隠元	二、五二五	一、六四四	二、〇六六	一、六〇〇	二、〇七〇	三、三三三	二、七五三	三、三三三	二、八六二	一、四六一	一、七七一	二、〇七〇	二、〇七〇
手亡	五、四一五	四、四五六	一、〇二二	四、四六〇	七、三三七	三、三三三	八、八六五	二、八六二	一、四六一	一、四六一	一、四六一	一、四六一	一、四六一
鶴	九、六八八	二、九九七	四、〇三三	二、二二二	一、〇二二	二、二二二	七、九三〇	七、九三〇	七、九三〇	七、九三〇	七、九三〇	七、九三〇	七、九三〇
金時	二、九三三	一、六四三	三、九一	二、二〇〇	六三三	八、四八八	一、五五七	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇
其他菜豆	五、九五五	三、八一九	三、八三〇	二、四四五	二、六八四	三、五三三	一〇、五五五	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇
青豌豆	三、五、六九二	八、一六九	三、三三六	四、九〇二	三、三三六	三、三三六	三、三三六	三、三三六	三、三三六	三、三三六	三、三三六	三、三三六	三、三三六
其他豌豆	九、六二	二、八三	一、四〇	四、五	九七〇	五、四二二	三、七四四	三、七四四	三、七四四	三、七四四	三、七四四	三、七四四	三、七四四
菜種	二、三〇九	六〇	四七九	一〇一	一、五五三	五、三三九	六、六八	二、七七八	二、七七八	二、七七八	二、七七八	二、七七八	二、七七八
小麥	六	一五六	四四九	五二	一、〇〇	一、八五三	六、八〇	二、三三七	二、三三七	二、三三七	二、三三七	二、三三七	二、三三七
大麥	一	三六	二	二七三	五、七八	五、六〇二	七、二五	一、七六八	一、七六八	一、七六八	一、七六八	一、七六八	一、七六八
裸麥	二五	一八	一	五	七一	一	二	二	二	二	二	二	二
蕎麥	五、七四九	六、六九	三、五三三	二、九〇三	三、〇四七	三、〇四七	三、〇四七	三、〇四七	三、〇四七	三、〇四七	三、〇四七	三、〇四七	三、〇四七
燕麥	二、六九九	一七、七九	四、六九九	二、一八九	二、一八九	三、五〇七	四、六七七	三、六九九	三、六九九	三、六九九	三、六九九	三、六九九	三、六九九
亞麻種	三、九九〇	一、六三	五、四八	七、四七六	五、六九	六、五八七	三、六九九	二、五九九	二、五九九	二、五九九	二、五九九	二、五九九	二、五九九
荏	四三	六九	五九	一〇三	三〇三	九五	一四〇	七六	七六	七六	七六	七六	七六
黍	三	一〇	一	一	三	二	二	二	二	二	二	二	二
辛子種	一、五〇九	一三三	五八七	三〇八	三二一	九	一、一〇一	七	七	七	七	七	七
唐黍	五、〇九七	三〇、九九二	二七、九〇八	五、〇五五	六、一五五	二七、二四	五、八五五	四、二七七	四、二七七	四、二七七	四、二七七	四、二七七	四、二七七
澱粉	三六	七、九四	一	六、八二五	九三	一、〇〇	八、二七	五、九七二	六、三三八	二、三三	二、三三	二、三三	二、三三
其他													

計 (大正自十一年四月至十二年三月)

小豆	六、三九五	五七、七〇	五〇、三二	四四、〇六	一三、八五	二八、四六	七、六八	六、四三	六、八〇三	六、八〇三	六、八〇三	六、八〇三	六、八〇三
大納言	一六、五九一	二二、七〇九	二二、五〇五	二二、二七四	二〇、〇三	一四、九九七	三、五八三	三、五八三	三、五八三	三、五八三	三、五八三	三、五八三	三、五八三
大豆	五、二七	四、八五三	五、七四六	三、七四六	三、三九七	九、三三〇	五、八二八	九、〇六〇	四、八〇七	四、八〇七	四、八〇七	四、八〇七	四、八〇七
秋田	三、五、六一	三、八八五	三、六四五	三、六四五	三、六四五	三、六四五	三、六四五	三、六四五	三、六四五	三、六四五	三、六四五	三、六四五	三、六四五
其他大豆	一、五、四三〇	一〇、四八〇	一、四八一	一、四八一	三、八八一	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八
大福	四、一六六	二、八三四	二、四二二	二、四二二	三、八三四	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八	七、〇五八
中福	三五	五五	二	二	五	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二
白丸	六、八八九	五、〇三四	二、二七四	二、二七四	八〇八	一、一五四	三、六三〇	八、五五七	三、六三〇	三、六三〇	三、六三〇	三、六三〇	三、六三〇
手亡	一、六九一	一、四九六	一、一六七	一、一六七	二、六六四	一、七六	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
鶴	三、九、二四九	三、四九二	二、九三六	二、九三六	六、四六八	一、五、四八二	六、四六八	六、四六八	六、四六八	六、四六八	六、四六八	六、四六八	六、四六八
金時	九、二〇	七、六九五	五、三〇五	四、四七	二、六七五	五、二二二	一、五、五九六	一、五、五九六	一、五、五九六	一、五、五九六	一、五、五九六	一、五、五九六	一、五、五九六
熊本隠元	六、五五	六、五五	一、六八九	五、六〇〇	二、七二二	一、〇、六〇	一、一、七九	一、一、七九	一、一、七九	一、一、七九	一、一、七九	一、一、七九	一、一、七九
其他菜豆	一、四、七〇	一、三、〇一〇	一、二、九九	一、二、九九	二、六八五	四、四五一	一、九、四四	二、六、二二	二、六、二二	二、六、二二	二、六、二二	二、六、二二	二、六、二二
青豌豆	九、八五六	一〇、九三三	四、六二〇	四、六二〇	一、〇、八五	二、九、四三六	一、〇、六三〇	一、〇、六三〇	一、〇、六三〇	一、〇、六三〇	一、〇、六三〇	一、〇、六三〇	一、〇、六三〇
其他豌豆	五、一七七	二、七六四	二、五二二	二、五二二	九、六八	四、七三	四、〇五二	三、〇七六	三、〇七六	三、〇七六	三、〇七六	三、〇七六	三、〇七六
小麥	二、三六七	七六	六二	二	九五	六四三	一、八五	七五九	七五九	七五九	七五九	七五九	七五九
大麥	二、五五六	七、六八	三、〇六一	六	一、〇一	二、九〇〇	一、一〇	三、〇一	三、〇一	三、〇一	三、〇一	三、〇一	三、〇一
裸麥	二二	二〇	一〇	一四	一	一	一	一	一	一	一	一	一
菜種	三、七三	三、〇三	九	六九	一、九六七五	一、五、九九	一、〇、六四	四、五八五	一、七、二五	一、七、二五	一、七、二五	一、七、二五	一、七、二五
蕎麥	一、一、五四二	八、六四六	六、一六四	三、五五六	一、三九九	一、三、五四四	三、八、一七	三、七、四七	二、三、八一	二、三、八一	二、三、八一	二、三、八一	二、三、八一

品名	大正自十二年四月至十三年三月												合計
	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	
亞麻種	一四、七〇三	八、〇〇四	四、四七	三、四〇〇	五、〇〇〇	三、九七	八、五二二	六、〇三	一、六九八	六、三	一、二四六	八、六	三、八八
荏	一五五	四	一六四	六七	一九	一	六	一一	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
燕麥	一九、四二二	一八、八八〇	一六、〇八五	一六、三三六	一〇、七二二	一七、九六六	二七、七三一	六、〇九七	九、八六	四、四一八	四、一〇五	四、一〇五	五、五二九
黍	八五	一八三	八六	二	一	一五	一	一〇一	四一五	一	一	一	一
辛子種	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
唐黍	八八四	一三三	三三	三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
澱粉	七六、八三二	五、三〇八	一七、〇〇一	二九、九六	三、五二一	二七、四〇〇	六、七七八	七、三六六	二九、二五六	—	—	—	—
其他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	四、五八五	四三、五五	三二、六九	三、八〇三	一三、〇二〇	二二、六九	五〇、二〇六	七三、七五五	八〇、八五九	四四、一三七	四三、〇三六	四三、〇三六	五、一四二、六九五

品名	大正自十二年四月至十三年三月												合計
	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	
小豆	三、七二四	六、四九八	二、九六	三、八〇九	三、三五六	二、五〇	九、〇〇一	二、八二四	七、二四一	四、二四二	三、〇〇三	四、二二五	五、九二七、八三
大納言	七九、二八〇	三、〇五〇	一、五七一	一〇、七三五	二、九九四	三、八三九	一、四七	五、八八六	四、〇二一	一、六四〇	一、七六九	一、九八三	二、四九、七九二
大豆	一六、〇五五	八、五〇六	六、六六七	四、一三	三、四三	一、五三	五、九八八	二、四四	四、五〇六	二、四〇六	二、二九	二、八二九	一、九〇、九七四
秋田	一、四九四	七、八八七	五、三九	一、七八六	七、五八	三、〇	一、七五二	一、九三三	五、八八〇	二、四〇	三、三三	三、三三七	一、八四、九九一
袖振	一、九七一	四、二二八	一、〇〇	三、四	二、九	一、六	二、七八	一、八四二	一、〇二九	三、五三	四、〇一	一、三九九	一、三〇、〇三
鶴の子	一、五九四	三、一〇	四、七	八、八	九、六	一、五〇	八、八	二、六	二、六	一、九八〇	二、一七	二、六八	二、〇〇、三
黑豆	二、二七	七、九〇	二、五〇	四、八	二、九	四、	三、	一、六	一、六	一、〇	一、〇	一、〇	一〇、七〇一
其他大豆	一、七七	二、二	三、〇	二、八	八	—	一、一	—	—	—	—	—	七、七
大福	二、三三七	二、四八	一、五〇	一、〇	四、	一、四	一〇、一	一、五	一〇、三	六、四	四、〇	五、四	七、三、九五
中福	—	一〇七	七	—	—	九	—	—	—	—	—	—	三、二七九
白丸	一、九三	二、七二	一、二	九	—	三、〇	五、三	四、一	六、二	二、七	二、五	三、九	三、一、四
手亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、一、三

品名	大正自十三年一月至十二月												合計
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
丸鴉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長鶴	一八、四四	一五、八四	八、五七	一三、三〇	六、〇八	一、一三	一、四	二、八	三、〇	二、三	一、一	—	一、六、〇
中長	二六、四五〇	二二、三	一七、〇九	一三、三	八、九六	二、五	三、九〇	六、六	五、四	二、一	—	—	三、八、八
金時	一、九三	一四、八八	二〇、七	五、七	三、五	六、七	一四、三	一七、五	一八、二	九、〇	—	—	一四、二、八
熊本隱元	一、〇〇七	一、一六〇	六、五	一、〇〇	一、二九	八、四	五、〇	二、六	六、	一〇	—	—	九、六
其他菜豆	一〇、七三	二、八二	八、〇七	三、六	一、九	八、三	一〇、一	一〇、一	八、八	二、三	—	—	一〇〇、一
青豌豆	九、五九	一七、三三	一八、七二	二〇、〇九	五、七	一、九	三、六	五、〇	七、二	七、四	—	—	七〇、八
其他豌豆	四、一五	三、六四	一、二	九、四	七、九	二、三	五、七	五、〇	三、九	二、九	—	—	三、六
小麥	七二八	四、五	三、〇	八二	七	一、	九〇	一、〇	三、	—	—	—	四、七
大麥	四、一〇	二、五八	六、四	三、一	一、五	五	五	五	二	—	—	—	三、四
裸麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
菜種	八、二九	八、〇	—	一〇〇	一〇、〇	六、四	一、八	—	八、九	二、四	—	—	六、一
蕎麥	五、九三	四、八八	二、四	一、三	一、二	五、三	二、〇	一、六	三、三	一、七	—	—	一、七、八
亞麻種	一、〇二	七	一〇一	—	四、	六、七	八、七	一、八	三、	—	—	—	四、九
荏	八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燕麥	八、〇	五、四	八、三	七、〇	八、七	二、七	七、二	一、四	九、〇	三、七	—	—	二〇、七
黍	七三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
唐黍	二、九	四、八	三、	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
澱粉	三、一	三、六	二、五	三、三	一〇、七	二、〇	四、三	七、一	六、八	四、四	—	—	四、一、四
合計	四、一、四	三〇、〇	二二、五	二二、八	二五、六	一〇、六	一〇、四	一〇、一	七、九	三、六	—	—	三、八、〇

(大正十三年自一月至十二月)

	自大正十五年一月 至昭和元年十二月												合計	
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
熊本隠元	四八	—	—	—	八	—	一六〇	—	—	—	—	—	—	二六
其他菜豆	三、五八九	五、七六六	六、八八六	四、五九四	二、六三三	二、一〇二	一、六六三	三二	三七	—	—	—	—	六五、七二四
青豌豆	一九、〇六六	四八、八四四	七八、二九六	二六、三二一	一〇、七六〇	一五、九二二	一五、〇二九	三三、二三四	三九、三三三	—	—	—	—	四三、二五三
其他豌豆	三、七五五	二、九〇〇	五、七九七	一、八七八	九二二	一九	六四	—	—	—	—	—	—	二五、七六八
小麥	四〇	九六	二七七	五、五二〇	一、四二二	三五	一八四	—	—	—	—	—	—	二、二七〇
大麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
裸麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蕎麥	一、四三二	四三〇	三九	六二六	二〇〇	三〇	—	—	—	—	—	—	—	—
亞麻種	七、八六九	一七、四三三	二〇、五二二	七、五三三	八、四七八	七、一六五	八、三三五	六、〇九五	九、〇九二	—	—	—	—	—
花	二、二〇〇	一七四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
唐黍	五二八	一、〇七	一七四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燕麥	七、二八〇	一三、四四〇	一七、〇〇八	一〇、四八	四、九五七	六、四四四	七、九一〇	七、一五七	一三、五九四	—	—	—	—	—
澱粉	四、五八	八、八二九	四九、五三	四、六三九	三、四三四	二六、八九九	二八、七〇四	三、〇九〇	四〇、三三四	—	—	—	—	—
小豆	三、四八	五、七三	六〇、五五五	二七、三九六	四、一八	三、八〇	三、八二	三、五七四	二四、六四二	—	—	—	—	—
大豆	三〇、九六六	四〇、〇四四	三三、八一	一九、二八六	二四、六一	二六、八八	二二、四〇	一六、三三〇	一八、四六四	—	—	—	—	—
秋田	五〇、三六一	三七、四四七	四七、三四	五、六八五	一五、二五	一七、二九六	二〇、四〇六	三、四一四	四、一九九	—	—	—	—	—
袖振	四、七五〇	六、四九九	二、三三三	一、五二八	三、五八四	九五四	八三三	九八四	三五八	—	—	—	—	—
鶴の子	五、七六六	五、八七五	四、六五	四、八七四	四、四〇四	四、三二	七、〇三八	一、七八八	三、二二二	—	—	—	—	—

	自大正十五年一月 至昭和元年十二月												合計	
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
黒大豆	一〇、〇三三	一一、〇七五	五、八七九	三、七九	三、八五四	二、八二二	二、四三三	一、六九九	一、八六五	—	—	—	—	—
其他大豆	二〇、〇一〇	一、六九三	二、〇二七	七、七	五、三六	八、一三〇	六、五九九	一、一三〇	七、四四	—	—	—	—	—
中福	六、八九	五、九八三	三、八〇三	二、六〇九	二、四八八	二、一〇〇	一、一〇〇	六、五九	三、九六〇	—	—	—	—	—
白丸鶏	三、八三二	五、〇五五	六、二三〇	二、七九三	五、一一二	二、八三五	二、一一〇	—	—	—	—	—	—	—
手亡	一六、三五五	五〇、二二五	三五、一五五	一九、九三	一四、三七六	一〇、五六六	一八、五三四	七、八六七	二、一〇九	—	—	—	—	—
丸鶏	—	六二八	四九	一五九	七六四	三九	四九	一八五	四四二	—	—	—	—	—
長鶏	七、七三三	四七、四四七	一九、二六二	三〇、九六五	三三、二九二	六、六三〇	三、七四	一、六五八	七、九二	—	—	—	—	—
中長	二四、三三三	三、八七三	四〇、三二二	一五、七二七	三三、二九三	一八、六二九	二、〇七	九、六八四	二、四九八	—	—	—	—	—
金時	五、六五四	七、八九九	六、二五	三、六二二	六、一六七	七、五五一	四、七〇〇	二、九六八	四、一四八	—	—	—	—	—
熊本隠元	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他菜豆	一一、二五二	一三、八六七	六、九五	六、七七二	二、〇九二	二、〇二七	二、五五七	八、九六	一、〇九〇	—	—	—	—	—
青豌豆	一九、五九	六六、七七九	三、〇六八	二六、〇五	三六、一六三	六四、九三三	三六、五九	三、七四三	二四、六三三	—	—	—	—	—
其他豌豆	六、七七	二、二二七	五、八八五	一、七五二	二、九六七	二、〇〇三	六、七三	五、六七	三、一五六	—	—	—	—	—
小麥	三五	二二八	三三三	一、一三四	二、四	二、四六	二、一三	—	—	—	—	—	—	—
大麥	二、〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
裸麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蕎麥	一、七四	二、三七五	一、〇一七	一、六〇三	三、二七三	一、一三三	四、三	—	—	—	—	—	—	—
亞麻種	三、六〇一	一三、一九九	一〇、〇六三	八、三四五	七、九三九	六、一八九	九、四三三	三、八五七	五、一四八	—	—	—	—	—
花	三、五二	一、五九〇	五、一七九	九、一五	二、四六九	四、二九	一〇、七三〇	四、一五二	一〇、二四二	—	—	—	—	—
燕麥	三、一八五	一七、三三二	三九、六〇四	一六、二三〇	三九、五九二	三七、六六六	二五、一九七	一三、八八九	四六、七七七	—	—	—	—	—
黍	九二	三三	四〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
玉蜀黍	八九八	二、八七七	一、三三五	三〇九	二六	一四〇	二二	—	—	—	—	—	—	—

澱粉 四九,三三六 五九,九五〇 八五,三四五 三五,六四三 五九,四四三 三五,五五〇 四〇,〇四六 四五,六六二 四三,〇六六 五二,〇五〇 四七,六一九 四六,〇〇〇 五七,一〇〇

(昭和二年自一月至十二月)

品名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
小豆	三五,〇六九	二七,五九〇	三〇,四七七	二七,四一〇	一九,八八〇	二〇,二八四	一九,五六八	二五,九六三	三九,四一七	四九,〇六九	六八,三七八	七二,七二一	四〇四,八三五
大豆	一六,三三六	二一,〇六三	二一,八七七	一〇,四七四	二二,一六九	一八,四五四	一〇,五二四	一〇,三三七	一三,九一一	三三,五五二	三五,〇四七	三五,〇四七	三三〇,二一〇
秋田	一〇,四八五	三六,五三三	五,一八二	三三,六九〇	二五,六三三	一四,六〇二	八,四四四	五,七三三	六,〇九〇	二九,九二六	一四,五八〇	一六,〇八二	三三〇,二一〇
鶴の子	一七,四四四	四,三六二	一,六五五	一,八二二	一〇,六四〇	九,六七〇	六,四三二	一,八五九	二,七〇〇	一五,八八〇	一〇,五二一	一三,八二六	一三〇,二一〇
黒大豆	三,五二〇	六,七八三	四,〇八二	四,五七三	五,五八五	三,三三一	一,五六六	一,八二二	一,九二四	六,八六八	一〇,五二一	一〇,五二一	三三〇,二一〇
其他大豆	四,二五七	三,一四〇	四,〇五九	二,一九三	二,〇〇二	一,二五二	二,五七	七三	九七三	四,六一	一〇,五二一	一〇,五二一	三三〇,二一〇
中福	五,三二四	六,〇五一	六,四九九	三,八三三	三,〇三三	三,〇三三	一,〇三二	五,三三	五,七三三	八,五二〇	九,五三三	一八,九七八	三三〇,二一〇
白丸鶏	二,七七四	四,四六九	三,六〇四	一,六六七	八〇五	四五四	三七〇	一五九	八九五	三,五〇三	三,五〇三	二,二二	三三〇,二一〇
手亡	六,二七	六,二七	一,三三〇	九,七四五	一六,五八	一七,七〇三	一五,七八六	三,八五	七,四三二	八,〇四四	三,五〇三	三,五〇三	三三〇,二一〇
丸鶏	五,六四	四,八〇	四,一九	二,二二	二,七八	一,八二	四九	五	六五	九三〇	五七二	五七二	三三〇,二一〇
長鶏	一五,五八二	一八,四九〇	三三,三五五	二五,六三	二四,四四四	三三,二八二	二一,四〇八	三,六四九	九三三	二二,一三	六七,九四三	三〇,一五四	三三〇,二一〇
中長	三三,〇六八	三〇,〇九九	四七,六九八	三二,二五五	二二,三三七	一七,七〇三	二一,〇六〇	六,七三三	二二,九九九	四,七三六	八,九四一	九,二八九	三三〇,二一〇
金時	四,七〇〇	七,二五七	九,二二六	五,一六二	五,四七	五,一〇一	二,八四二	一,六九	六,四〇	一〇,八〇二	八,八八二	六,八九四	三三〇,二一〇
紅金	三,〇六七	八,四三二	一,一六八	四,三三七	四,一一	二,八四六	八六三	四八七	二,一一	一四,一三三	二〇,七七七	一六,〇三	三三〇,二一〇
其他菜豆	三,〇六七	八,四三二	一,一六八	四,三三七	四,一一	二,八四六	八六三	四八七	二,一一	一四,一三三	二〇,七七七	一六,〇三	三三〇,二一〇
青豌豆	三,〇六七	八,四三二	一,一六八	四,三三七	四,一一	二,八四六	八六三	四八七	二,一一	一四,一三三	二〇,七七七	一六,〇三	三三〇,二一〇
其他豌豆	四,一八八	四,〇六	六,九五	七,一五	三,八四一	二,三三四	三,一九四	五三八	七,七九	三,一〇七	三,一〇七	三,一〇七	三三〇,二一〇

(昭和三年自一月至十二月)

品名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
大麥	—	—	一〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇
小麥	二六八	二八三	一八六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二六八
裸麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燕麥	四〇,二八四	四六,〇八一	三七,二八	二八,六七五	三三,六九一	三四,七六一	三三,三四六	二四,二九五	三三,五〇三	六七,五六八	七五,〇七三	四八,三二一	四〇〇,八三三
菜種	二,七三三	七,九三二	四,一〇五	四,二三四	五,〇五九	一,一〇	三,二五六	一九,七六五	二,四〇四	二,二二三	三,〇一八	三,一七〇	八〇,一四八
亞麻種	六,二九四	一〇,〇五二	七,四三三	二,一六一	五	一,二九四	五二	四五	五,二八一	五,六四七	三,三三	二〇	三三,〇三三
荏	一五八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五八
蕎麥	五,五二七	五,〇九八	四,八八八	三,四七四	一,七七一	二,〇五五	九七	五五八	一七,二七九	四〇,七二五	二七,一九〇	二〇,〇三三	一三九,五三四
黍	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
唐黍	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
澱粉	五三,九四〇	五九,五七五	七四,八三三	六二,六四三	四三,三三三	四二,二八一	四七,三六六	三四,四五五	三四,九三四	五〇,九六八	六〇,六四〇	六五,七〇〇	五〇〇,五六六
小豆	七〇,三八〇	四三,三七八	三六,七四六	二四,〇三	二六,一六六	一三,八七五	一九,〇六九	二二,九九〇	二二,四三七	五八,五三三	四七,四四九	四三,五八五	四二六,四四〇
大豆	四一,二二四	一六,一九五	九,三九九	五,七四三	一〇,〇三三	一六,二一	二,六八一	一〇,三三四	一〇,〇一一	四三,四四三	四八,七九〇	四四,七四五	二六九,六一八
秋田	七六,四四五	五,四四〇	四三,五五四	二三,〇九五	一九,五二七	九,六四七	九,六四七	二,五六二	三,七六	四,六三九	六,〇三三	一〇,五九八	四二七,〇〇〇
鶴の子	五〇,五六二	三,〇三八	二〇,九九〇	一四,七六五	八,七〇九	七,九三三	六,二九九	二,六六一	三,七六	六,〇三三	七,三三二	一〇,五九八	三三〇,二一〇
黒大豆	七,一八八	五,〇七	二,九六	三,六三七	二,六八二	四,〇〇五	五,八一	六,二七九	二,八一四	一,八三三	六,四四四	一,一六八	三三〇,二一〇
袖振	九,〇〇六	五,三六六	四,三五四	六,六四	五三〇	一,五五七	一,〇,〇	一,八四八	二,一一六	四,四四二	三,九七〇	一,一〇	三三〇,二一〇
其他大豆	七,一八八	五,三六六	四,三五四	六,六四	五三〇	一,五五七	一,〇,〇	一,八四八	二,一一六	四,四四二	三,九七〇	一,一〇	三三〇,二一〇
中福	六,〇八九	三,三一一	四,四三三	一,八〇五	二,三三八	四八五	四〇四	七七八	五,八七五	二,一八七	一〇,一三九	七,四四六	三三〇,二一〇

小豆	一月	1803	二月	2068	三月	233	四月	977	五月	1639	六月	269	七月	1147	八月	1842	九月	2639	十月	493	十一月	662	十二月	599	合計	2548
大豆	一月	235	二月	266	三月	287	四月	318	五月	349	六月	380	七月	411	八月	442	九月	473	十月	504	十一月	535	十二月	566	合計	6500
赤豆	一月	197	二月	218	三月	239	四月	260	五月	281	六月	302	七月	323	八月	344	九月	365	十月	386	十一月	407	十二月	428	合計	5000
綠豆	一月	178	二月	199	三月	220	四月	241	五月	262	六月	283	七月	304	八月	325	九月	346	十月	367	十一月	388	十二月	409	合計	4800
其他菜豆	一月	159	二月	180	三月	201	四月	222	五月	243	六月	264	七月	285	八月	306	九月	327	十月	348	十一月	369	十二月	390	合計	4600
其他豌豆	一月	140	二月	161	三月	182	四月	203	五月	224	六月	245	七月	266	八月	287	九月	308	十月	329	十一月	350	十二月	371	合計	4400
大麥	一月	121	二月	142	三月	163	四月	184	五月	205	六月	226	七月	247	八月	268	九月	289	十月	310	十一月	331	十二月	352	合計	4200
小麥	一月	102	二月	123	三月	144	四月	165	五月	186	六月	207	七月	228	八月	249	九月	270	十月	291	十一月	312	十二月	333	合計	4000
燕麥	一月	83	二月	104	三月	125	四月	146	五月	167	六月	188	七月	209	八月	230	九月	251	十月	272	十一月	293	十二月	314	合計	3800
蕎麥	一月	64	二月	85	三月	106	四月	127	五月	148	六月	169	七月	190	八月	211	九月	232	十月	253	十一月	274	十二月	295	合計	3600
花	一月	45	二月	66	三月	87	四月	108	五月	129	六月	150	七月	171	八月	192	九月	213	十月	234	十一月	255	十二月	276	合計	3400
亞麻種	一月	26	二月	47	三月	68	四月	89	五月	110	六月	131	七月	152	八月	173	九月	194	十月	215	十一月	236	十二月	257	合計	3200
菜種	一月	7	二月	28	三月	49	四月	70	五月	91	六月	112	七月	133	八月	154	九月	175	十月	196	十一月	217	十二月	238	合計	3000
唐黍	一月	1	二月	2	三月	3	四月	4	五月	5	六月	6	七月	7	八月	8	九月	9	十月	10	十一月	11	十二月	12	合計	100

大納言	一月	135	二月	156	三月	177	四月	198	五月	219	六月	240	七月	261	八月	282	九月	303	十月	324	十一月	345	十二月	366	合計	4500
大豆	一月	116	二月	137	三月	158	四月	179	五月	200	六月	221	七月	242	八月	263	九月	284	十月	305	十一月	326	十二月	347	合計	4300
赤豆	一月	97	二月	118	三月	139	四月	160	五月	181	六月	202	七月	223	八月	244	九月	265	十月	286	十一月	307	十二月	328	合計	4100
綠豆	一月	78	二月	99	三月	120	四月	141	五月	162	六月	183	七月	204	八月	225	九月	246	十月	267	十一月	288	十二月	309	合計	3900
其他菜豆	一月	59	二月	80	三月	101	四月	122	五月	143	六月	164	七月	185	八月	206	九月	227	十月	248	十一月	269	十二月	290	合計	3700
其他豌豆	一月	40	二月	61	三月	82	四月	103	五月	124	六月	145	七月	166	八月	187	九月	208	十月	229	十一月	250	十二月	271	合計	3500
大麥	一月	21	二月	42	三月	63	四月	84	五月	105	六月	126	七月	147	八月	168	九月	189	十月	210	十一月	231	十二月	252	合計	3300
小麥	一月	2	二月	23	三月	44	四月	65	五月	86	六月	107	七月	128	八月	149	九月	170	十月	191	十一月	212	十二月	233	合計	3100
燕麥	一月	1	二月	2	三月	3	四月	4	五月	5	六月	6	七月	7	八月	8	九月	9	十月	10	十一月	11	十二月	12	合計	100

和種 春蒔種 亞麻種 荳麥 蕎麥 唐黍 澱粉	(昭和五年自十二月)												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
和種	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
春蒔種	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亞麻種	四八三	一三三	—	九四	—	—	—	—	—	—	—	—	—
荳麥	一四六	三六三	一七六	一四八	一〇六	—	—	—	—	—	—	—	—
蕎麥	一、七四四	二、〇九二	五、四四七	三、三五〇	二、一〇六	三、八〇二	—	—	—	—	—	—	—
唐黍	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
澱粉	四、五九九	五、七四四	三、八六〇	四、八八三	五、九〇〇	三、七三三	二、八〇二	四、〇五七	四、〇三三	一、五八五	七、一〇三	六、三三二	六二、七八三
小豆	三、四、五、六〇	三、六、七、九一	三、〇、八、八八	三、〇、八、三五	一、九、六、三五	二、〇、三、三五	一、六、四、〇一	一、四、六、四四	一、七、三、三九	六、六、六、四八	九、三、七、五	六、六、六、四八	四〇、七、九二
大納言	四、一、九、三三	四、〇、六、九	三、三、二、九二	三、三、四、三〇	七、九、九、九	一、〇、三、七	八、〇、六、九	二、九、九、四	六、三、三、九	三、三、三、三	三、三、三、三	三、三、三、三	四三、〇、七、九
大豆	三、〇、六、三三	二、四、三、四九	二、四、四、八六	三、三、一、〇一	二、五、〇、三三	三、一、〇、二	一、一、一、八	八、三、三、三	九、八、四、七	三、〇、〇、八	九、八、九、三	一、四、二、〇、七	四三、〇、七、九
秋田	三、三、三、八四	三、三、九、九	三、三、九、四	三、三、七、三	三、三、七、一	七、三、六、五	六、五、五、八	九、三、九、八	五、四、七、四	三、三、三、六	六、二、八、二	一、六、四、一、二	四三、〇、七、九
鶴の子	五、三、三、七	六、〇、〇一	三、三、三、六	四、七、七八	四、五、五、二	四、三、一、	三、四、七、七	二、七、七、一	一、〇、九、二	三、三、三、三	二、六、三、〇、六	七、八、八、九	四三、〇、七、九
袖振	八、五、三、三	五、四、九、一	二、九、〇、〇	三、〇、〇、〇	二、九、八、〇	七、三、四、	四、〇、六、	四、〇、六、	三、三、三、三	三、三、三、三	三、三、三、三	三、三、三、三	四三、〇、七、九
黒大豆	六、〇、五、五	六、〇、〇、五	四、九、三、五	二、一、六、七	一、〇、八、二	一、三、三、一	一、四、九、四	二、二、二、五	一、一、二、二	一、一、二、二	一、一、二、二	一、一、二、二	四三、〇、七、九
其他大豆	二、四、三、三	二、一、八、九	二、四、三、四	一、〇、三、三	一、四、三、九	三、〇、三、〇	五、九、四、	四、四、四、	一、〇、四、	九、四、七、七	二、一、三、七	九、九、三、二	四三、〇、七、九
大福	八、一、一、八	四、九、七、七	五、三、七、九	四、九、九、一	三、九、五、一	一、八、四、〇	九、七、〇、	一、一、七、九	五、三、〇、〇	一、一、七、九	二、四、九、三	一、〇、六、七	四三、〇、七、九
中福	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白丸	一、三、三、一	一、三、三、九	—	一、〇、九、二	六、三、三、	三、三、三、	五、八、四、	七、三、三、	四、三、三、	二、四、七、	三、三、三、	三、三、三、	四三、〇、七、九
手亡	六、三、三、七	四、六、六、	四、三、四、	三、〇、〇、七	一、四、一、二	九、九、五、	九、五、九、	四、七、二、	六、〇、四、	三、三、三、	一、四、四、八	一、五、二、六	四三、〇、七、九
丸	三、三、七	三、三、三	五、九、六	一、〇、〇	一、四、八	五、四	八、一	五、〇	六、一	三、九	三、四、二	七、八	三、一、二、八

(昭和六年自十二月)

長鶴 中長 金時 紅金 ビルマ 其他菜豆 青豌豆 其他豌豆 大麥 小麥 裸麥 燕麥 洋種 亞麻種 荳麥 蕎麥 玉蜀黍 澱粉	(昭和六年自十二月)												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
長鶴	三、〇、〇、六〇	一、九、〇、七	一、七、五、四七	二、二、二、八八	一、九、三、七五	二、五、二、二一	八、五、四、八	五、五、六、二	一、八、〇、〇	二、〇、〇、四三	二、九、九、八八	七、四、九、八八	二七、七、七、七
中長	三、〇、三、〇九	二、七、〇、〇三	三、九、四、〇一	三、三、八、〇九	二、四、四、四四	一、六、四、九三	九、八、八、	四、七、七、七	二、二、六、二九	四、一、六、五	三、三、三、三	三、八、八、二九	三三、〇、〇、〇
金時	二、一、六、四三	一、〇、〇、六	一、〇、〇、八	五、八、七、四	六、三、三、六	一、九、三、一	四、四、四、四	三、八、四、〇	三、六、六、六	二、二、八、二二	一、〇、六、二九	六、二、五、三	八、七、七、八二
紅金	八、二、八、八	六、三、三、七	六、八、〇、三	五、九、六、一	六、〇、六、五	四、九、六、六	四、三、二、四	二、〇、〇、八	一、〇、一、八	八、〇、〇、四	三、七、八、八六	一、七、九、七三	九、九、六、二二
ビルマ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他菜豆	二、三、三、七	二、三、六、六	四、〇、〇、二	一、九、四、〇	一、一、〇、一	七、九、二	六、九、八	五、〇、〇	一、六、六、	九、五、〇、	六、一、四、五	七、三、三、二	三、八、九、七九
青豌豆	三、〇、二、八九	二、四、三、三九	六、四、五、九	五、一、〇、一	三、七、三、二四	二、二、九、七	五、六、六、九	五、七、七、五	五、一、九、三	一、〇、〇、〇、六	五、九、三、四六	四、三、四、六	五、七、六、五〇
其他豌豆	三、三、三、四	一、三、〇、〇	三、三、三、九	三、三、三、〇	一、四、六、六	六、三、三、	五、	二、九、七、四	三、六、六、七	三、〇、三、三	二、三、六、六	三、〇、八、二	三、一、六、七
大麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小麥	一、四、五、〇	四、七、	—	二、〇、五、九	一、九、三、	—	—	—	—	—	—	—	—
裸麥	—	一、八、五、	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燕麥	一、七、三、五	二、一、八、六九	一、九、八、〇	一、〇、五、三	一、四、八、五九	九、三、八、	一、六、九、三	二、二、〇、四七	三、三、三、三	三、三、三、三	二、一、六、一	一、九、七、三、六	
洋種	一、八、〇、三	七、〇、	一、四、七、	一、九、〇、二	九、七、八、	二、〇、二、	三、三、六、一	二、八、〇、〇	二、四、一、七	一、〇、一、三	七、三、三、	五、四、五、	八、五、八、九二
亞麻種	六、六、〇	四、二、	—	二、	一、〇、一、	一、八、	—	五、六、七、	一、四、五、	一、六、八、二	六、八、三、九	一、一、二、四三	三、三、三、〇
荳麥	九、八、一、七	九、五、七、〇	八、三、三、	七、九、四、	六、四、一、	六、七、七、	六、〇、七、七	二、八、七、一	三、三、〇、〇	三、〇、八、〇	二、〇、五、七、一	一、六、九、四、〇	一、四、九、一、七九
蕎麥	二、〇、	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
玉蜀黍	七、七、	五、五、	九、六、	三、一、	四、九、	一、八、	—	—	—	—	—	—	—
澱粉	六、八、八、	五、四、六、	五、七、七、〇	四、三、四、	四、六、七、	三、三、七、	三、三、三、	三、九、六、	五、五、五、	九、二、六、九、	八、〇、五、	六、八、〇、七、	六、五、五、

大豆	四、八九八	三九、四七九	五三、六三三	三三、九三三	三三、七四四	二六、八四六	一三、八九六	三、八九五	四、五五四	一八、七六六	五、七五九	一、九七六	六、六六八	三〇、九〇九
秋田	四、一〇四	四三、八六〇	五〇、七三三	三三、〇一七	三三、四三二	二二、六六六	一〇、六二九	五、七四一	四、三七一	一、九七六	一、九七六	一、九七六	一、九七六	一、九七六
鶴の子	七、五三九	八、四四〇	六、五七七	四、八五四	八、〇一八	七、三三八	八、七四四	五、二二五	四、三八一	四、三八一	四、三八一	四、三八一	四、三八一	四、三八一
袖振	六、六五九	三、九七〇	二、三三三	二、七四四	三、四三三	一、八三三	二、七八二	一、四二〇	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九	一、〇八九
黒大豆	六、四〇四	一〇、八九三	七、一八九	五、八六一	八、五七二	二、二二五	三、六九四	二、〇九八	二、二九六	二、二九六	二、二九六	二、二九六	二、二九六	二、二九六
其他大豆	一、六五一	三、一四二	四、三三六	三、一九〇	二、三三〇	二、二二七	一、三三三	三、二一八	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三
大福	七、六二〇	八、七三二	八、五九九	六、〇三一	五、九七〇	二、八三六	二、三三七	一、二六三	一、二六三	一、二六三	一、二六三	一、二六三	一、二六三	一、二六三
虎丸	二、二六	三、五五	三、六六六	一〇、一〇	六	二	一三	一	一	一	一	一	一	一
白丸	一、八八六	二、三九九	三、六六六	二、六九二	二、〇八八	八三〇	七〇七	九七七	一七九	一七九	一七九	一七九	一七九	一七九
手丸	五、三三三	七、二四九	五、六三三	三、五三九	四、六二七	五、〇五一	五、三三三	一八、二五五	一〇、九七九	一〇、九七九	一〇、九七九	一〇、九七九	一〇、九七九	一〇、九七九
丸	二、七〇	四、三三	一、一五	六	七	五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
長	四、三三一	七、一九三	二、五〇三	二、六〇〇	二、六六五	二、一四七	二、二〇九	四、六四三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
中	三、〇九五	一、九三三	三、三三三	三、三三三	二、七七〇	九、五九	五、四三〇	二、七六四	二、七六四	二、七六四	二、七六四	二、七六四	二、七六四	二、七六四
金時	四、八〇九	四、四三七	五、四四四	四、二七二	五、五九九	四、三三三	三、四三〇	一、五七一	一、五七一	一、五七一	一、五七一	一、五七一	一、五七一	一、五七一
紅金	八、六〇	一三、三三	一三、五七七	七、八三三	六、〇三三	三、七六六	一、四三三	八三三	八三三	八三三	八三三	八三三	八三三	八三三
其他菜豆	六、〇五五	三、〇八九	四、八〇〇	四、七九九	七、一九	六、〇九七	二、九九四	一、四七〇	一、四七〇	一、四七〇	一、四七〇	一、四七〇	一、四七〇	一、四七〇
青豌豆	一、九五三	二、五九九	五、五〇〇	三、三三三	二、一七六	一、六六六	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇
赤豌豆	三、一〇〇	五、三九九	六、一九一	三、五九九	二、〇六六	一、五七九	八六九	五二二	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三
大麥	一	一七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
小麥	二二	六〇	一〇	五〇	五二	三〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
裸麥	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
燕麥	一一、七三六	一六、〇七	二五、一〇	一七、九〇	二〇、一〇	一六、五二	一三、五六	一四、〇三	二八、八三	二八、八三	二八、八三	二八、八三	二八、八三	二八、八三
菜種	一、一三四	一、一八七	二、三〇〇	七〇七	一、一九五	九二五	二二	九七六	二六、七七	二六、七七	二六、七七	二六、七七	二六、七七	二六、七七
亞麻種	一六	一	一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

(昭和七年自一月至十二月)

荏	六九	六五	八六	一〇	三九七	七四	三五	一三	七六	三三	一〇	六	一、九七	
蕎麥	五、八八〇	九、三三九	一三、七六六	六、四四六	二、九三三	三、七九八	一、九三〇	六七	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
黍	二八二	一	四	一	四	六一	一	一	一	一	一	一	一	一
唐黍	一七	六八	一〇	二五	九三	三〇	一七	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
種粉	三、五〇	二、八八三	三、四一〇	一、四七九	八七四	八四四	二四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四
小豆	二四、五五五	三九、〇三三	三三、七六六	二七、三四	一六、九九七	一六、七七	三、三三	六、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇
大納言	三九、一八九	三九、三三一	一四、四四四	九、五八六	八、〇五二	一、三〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇
大豆	二五、九六八	一〇、九九九	一三、五九九	七、九七七	七、五〇八	九、五三	九、七六八	三、五九九	三、五九九	三、五九九	三、五九九	三、五九九	三、五九九	三、五九九
秋田	四三、八五三	二五、二二	二二、〇四	一一、〇一	八、一七四	一〇、八〇	一六、三二	九、七三三	二、二四	二、二四	二、二四	二、二四	二、二四	二、二四
鶴の子	三、五七七	二、四七七	一、〇〇八	二、六二	三、〇〇八	二、〇〇	三、五七	二、二四	二、二四	二、二四	二、二四	二、二四	二、二四	二、二四
袖振	五、八四二	三、二九九	一、〇三	四、七七	五、九	四、四五	一、七八五	一、五八一	四、八七	四、八七	四、八七	四、八七	四、八七	四、八七
黒大豆	八、一六九	五、九七三	三、三三三	二、三二八	三、八〇八	一、三三四	二、〇三七	一、二二	三、四九	三、四九	三、四九	三、四九	三、四九	三、四九
其他大豆	一、五〇七	三、九八	八〇五	八	五九	二二	五九三	三、四九	四、四五	四、四五	四、四五	四、四五	四、四五	四、四五
大福	三、四九一	二、四二八	二、八七一	二、三五七	一、〇二五	八七八	五七一	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七
虎丸	九二六	八三六	一、〇四三	七六九	四二五	三五八	二七三	一六七	一六七	一六七	一六七	一六七	一六七	一六七
白丸	一、〇五五	一、二六八	一、四〇七	一、六九	二、三	一九八	一九九	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
手丸	三、三三三	二、五五五	六、八八六	三、六二二	三、三三三	四、七二	七、五八五	七、五八五	七、五八五	七、五八五	七、五八五	七、五八五	七、五八五	七、五八五
丸	一、一〇	四八	五	七	三	一	七	一	一	一	一	一	一	一
長	一八、九五六	二〇、九九	三三、六一	二二、九三〇	一六、一八四	一一、〇二四	八、二四九	六、四八〇	二、〇八七	二、〇八七	二、〇八七	二、〇八七	二、〇八七	二、〇八七
中	二〇、八四一	八、三六八	一一、三三六	五、六五二	八、四七三	七、五五四	五、八六六	五、一七三	二、七二	二、七二	二、七二	二、七二	二、七二	二、七二

合計

品名	(昭和八年自一月至十二月)												合計
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
大豆	七、三九八	四、〇〇〇	五、一八七	四、三〇九	三、一九一	二、三三七	二、〇六五	二、四七九	一、七〇四	一、三二九	七五、八八八	九八、三六六	二、九〇三
秋田	七、八〇〇	四、七七一	五、八五五	七、一七四	三、三三三	三、八四八	二、七四五	二、二五七	一、六五一	一一、二七七	九四、五九〇	一〇〇、〇〇〇	一、七〇三
鶴の子	三、三〇九	二、四四三	二、四七五	二、九三八	二、二九六	一、六六三	二、〇〇六	二、二七〇	一、三六八	七、八八	六六、二九	四、〇〇〇	三、三三三
袖振	一、九六六	一、一三三	一、一三三	八〇九	五七	一、八〇	九四一	一、三九九	五〇二	二八七	四、八七五	一三、〇一六	二、六四二
黒大豆	九八〇	一、三三三	七八九	一、〇二八	一、三三四	一、二二四	七二六	八四八	五九	三、六八	三、六八	五、一一三	八三、一九九
其他大豆	四七二	五〇	二七〇	一一二	一九九	七七	二七	二二	一一三	九	三、七八	五、一一三	一一、三三三
大福	四、六二二	二、七三三	四、一九八	二、九四四	二、三〇〇	一、七四四	一、〇七七	一、一五〇	五、七三	一三、七五四	一八、七八〇	一四、〇七七	七三、〇四〇
虎丸	八七五	一、〇九四	一、三五六	六六三	七九二	三三六	三三三	二六二	三三三	二、九〇九	二、九〇九	二、九〇九	一四、〇四〇
白丸	九一九	一、一一〇	一、四七一	九六五	六五三	一、〇〇六	三三三	三〇六	三六五	一、六六七	二、〇三三	二、五九四	一三、二九五
手亡	四、六〇五	一、〇五五	一、三二七	一、〇六六	二、〇二四	一、八〇七	二、一四六	四、〇〇〇	二、七四四	二、四二四	六、〇五二	二、三九三	三、八二八
丸鴉	九九	一八	六	四八	五	三	一〇七	三	三	三	一七〇	二九一	九五
長鴉	三、二六九	一、五〇七	三、七六〇	四、七二六	四、八二八	一、九〇一	二、一九四	一、五二四	一、一七四	一、一七四	一、一七四	一、一七四	六、六一一
中長	九、一七七	一一、四八八	一一、四四七	一三、七八三	一五、三三九	九、九六六	九、九四九	八、五五七	一六、九六六	四九、〇〇〇	四九、〇〇〇	五三、〇三三	二、七二五
金時	一、六三三	一、六六八	一、八三三	一、八六四	一、八七二	一、四五四	六六六	七五五	二、六四八	二、七四四	二、七四四	二、七四四	二、九〇七
美瑛金	一、一三七	一、一九六	二、四四二	一、四六三	一、九七七	一、四三三	一、〇三七	八五四	一、二〇六	一、二〇六	一、二〇六	一、二〇六	二、〇三三
鶴金	六、一五六	八、九八三	一三、〇七五	一一、八八一	一〇、六八七	九、七九四	七、六六〇	七、九八二	一、八八二	二六、九九八	四七、七二六	三七、一三三	一九〇、七八七
紅金	一、五五五	一、〇三三	一、八九六	二、八八三	二、四四九	一、五二五	一、〇一一	二、〇四一	二、一八九	二、一八九	四、六四九	四、六四九	二九、九九四
其他菜豆	六五三	二、五二六	四〇〇	二八九	八二四	四八	三三九	三七八	一九八	一九八	一、四五一	一、四五一	一九、〇〇三
青豌豆	三、八三三	三、〇五〇	五、四七〇	二、五七三	二、五七三	二、四七〇	二、四八八	二、〇八〇	四、二八五	四、二八五	九八、五七	一三、七三四	六〇、七八八
赤豌豆	二、一八七	二、四二二	三、六九八	三、一五六	二、三六一	一、九〇〇	一、四〇〇	一、四七七	三、〇三三	三、〇三三	九八、五七	二、一八四	二八、七八八
小麥	一、〇八一	二、九三	五三	一〇	一	〇	一	一	一	一	一	一	五三
大麥	一、〇八一	二、九三	五三	一〇	一	〇	一	一	一	一	一	一	五三
燕麥	一〇、六八九	二、七四三	四一、七〇	三〇、一九四	三〇、七三三	三九、八七七	三〇、六五五	三〇、五三三	三〇、〇九八	三三、四四五	三三、四四五	三三、四四五	一〇〇、七三三
菜種	八二六	七五	三六七	一、四七二	一、八三七	二五	〇〇一	四、〇七二	一八、五四九	一、五八	九四八	三、八二七	三、八二七

品名	(昭和八年自一月至十二月)												合計
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
大豆	四、〇三二	三、九七七	二、二〇一	三、三三三	二、六九九	一、六八八	一、五九六	二、七三五	一、四三三	三、一八七	三、九〇三	三、〇三三	三、八四二
美瑛金	二、九九九	二、九三八	七四〇	三、七〇三	一、四三八	三、五四	八三三	一、〇六六	三、〇〇〇	一、〇六六	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、七〇三
鶴金	六、八三三	五、七三九	五、三〇三	三、七三三	三、九七八	二、四三三	二、九八五	三、〇〇〇	一、七〇四	六、二一〇	一八、六四八	一九、二四八	七九、七二六
紅金	二、〇八九	二、二八八	一、二三五	一、四三七	八六三	一、二三七	一、一八八	一、〇〇〇	八〇〇	一、八七五	三、〇〇〇	三、〇〇〇	二〇、八〇〇
其他菜豆	五、四六六	四、〇四五	二、一七五	三、五五六	三、四八八	四、〇一四	四、三六〇	一、〇七七	七、四八一	一〇、〇七三	一〇、〇七三	一〇、〇七三	四三、五六八
青豌豆	三、八三三	三、〇五〇	五、四七〇	二、五七三	二、五七三	二、四七〇	二、四八八	二、〇八〇	四、二八五	四、二八五	九八、五七	一三、七三四	六〇、七八八
赤豌豆	二、一八七	二、四二二	三、六九八	三、一五六	二、三六一	一、九〇〇	一、四〇〇	一、四七七	三、〇三三	三、〇三三	九八、五七	二、一八四	二八、七八八
小麥	一、〇八一	二、九三	五三	一〇	一	〇	一	一	一	一	一	一	五三
大麥	一、〇八一	二、九三	五三	一〇	一	〇	一	一	一	一	一	一	五三
燕麥	一〇、六八九	二、七四三	四一、七〇	三〇、一九四	三〇、七三三	三九、八七七	三〇、六五五	三〇、五三三	三〇、〇九八	三三、四四五	三三、四四五	三三、四四五	一〇〇、七三三
菜種	八二六	七五	三六七	一、四七二	一、八三七	二五	〇〇一	四、〇七二	一八、五四九	一、五八	九四八	三、八二七	三、八二七

	(昭和十年自一月至十二月)												合計
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
中長	二、七〇六	三、三〇〇	二、二七六	二、四〇四	一、九二四	一、四〇六	二、三〇四	二、一七二	二、四〇二	四、一七四	五、〇八一	三、八七二	三、〇〇五
金時	一、五五九	二、三三三	二、五二一	一、七二四	一、三三三	一、二六八	一、三三一	一、二九八	三、〇七二	三、〇七二	三、三三三	三、〇七二	三、〇七二
美瑛金	八七四	二、三五一	一、五五九	一、八五六	一、〇九三	八八三	一、三三三	二、〇七二	一、〇七二	一、〇七二	一、〇七二	一、〇七二	一、〇七二
鶴金	二、〇九〇	三、三三三	二、五二一	一、八五六	一、〇九三	八八三	一、三三三	二、〇七二	一、〇七二	一、〇七二	一、〇七二	一、〇七二	一、〇七二
紅金	四、二六二	五、三三三	九、一一〇	八、四六四	四、三三三	四、九三三	二、九三三	二、九三三	二、九三三	二、九三三	二、九三三	二、九三三	二、九三三
其他菜豆	三、五二六	六、〇八二	三、四七七	二、六六六	一、五九二	一、〇〇〇	七、六六六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
青豌豆	二、六四三	七、二二四	三、九七七	二、九三三	二、四三三	三、五八八	二、〇〇〇	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
赤豌豆	二、〇五一	二、一三三	七、〇〇〇	三、三三三	一、八三三	八三三	一、七二二	一、七二二	一、七二二	一、七二二	一、七二二	一、七二二	一、七二二
大麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小麥	三、四三三	三、二四七	六	—	一、五〇〇	一、七二二	八五	—	—	—	—	—	—
燕麥	五、五五一	八、九八三	九、九八一	三、七四四	五、四七五	四、五七七	二、九八九	一、〇、四四五	三、四、八四二	三、四、八四二	三、四、八四二	三、四、八四二	三、四、八四二
菜種	二、三三	二、三六一	三、七三六	八、七三	三、三三	七、七三	五、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三
亞麻種	三、五三	九、五三	三、三三	三、四一	五、五三	一、五八	二、九一	二、九一	二、九一	二、九一	二、九一	二、九一	二、九一
荳	五七	五三	三、九七	八四	三、三三	三、八	一、九	—	—	—	—	—	—
蕎麥	一、三〇四	一、四四七	一、五八三	三、七八七	六、八〇九	三、五九一	一、一、〇三三	六、九二〇	—	—	—	—	—
黍	一、四四	五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
玉蜀黍	四三	一、二六六	六七	七、八四	九〇三	四一	三、八一	三、八一	—	—	—	—	—
種	一、五二四	二、五五	九二	五、五七	三、七	五、〇〇	三、八	三、八	—	—	—	—	—
澱粉	八、三三二	一、〇三、一五一	七、六六五	六、四九一	八、七〇四	六、二一四	八、五、六九	九、七、一三〇	九、九、三三〇	二、二、九七八	一、六、八七三	三、三、〇〇〇	一、二、九六三
小豆	五〇、五四五	五二、〇九四	三二、四三三	四、〇八五	三、三三七	一〇、三三九	一、七、六六	三、八、三四	一、三、二五	二、四、七六	三、一、九四三	三、五、五八〇	三、四、七三
大納言	三二、五〇五	三七、五九五	一九、七七一	二、四七四	一〇、八四三	六、七〇〇	一、七、七四	一、四、六六	九、四、五一	一〇、〇、〇〇	三、八、九〇〇	二、二、四四五	二、二、六二八

	(昭和九年自一月至十二月)												合計
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
亞麻種	二、九六五	一、七四四	五三	一、六六	三、五四	一、三四	一、二九七	—	三、七二一	二、一、六七三	二、一、九七	—	二、六、二七二
荳	一、九九	五〇	五、四六	一、七五	一、五五	一、三〇二	四、七	九〇〇	八	一〇八	八、八八	—	一、〇〇九
蕎麥	二、三三	二、六〇六	三、六四七	二、五七六	四、五三	八、九七五	八、三三三	四、六四	一、九、三三〇	二、四、〇五	三、三、九六	—	二、六、〇〇六
黍	六〇	一〇〇	—	—	三	—	—	—	—	三、五八	—	—	—
玉蜀黍	四、六	三、〇五	四、五四	一、九六	二、八三	一〇二	四〇	三、六	五、〇	—	—	—	—
種	四、五	五、五七	一、五五〇	三、三三	二、二七	四、七二	五、二六	四、九四	五、〇	—	—	—	—
澱粉	六、九三五	五〇、八七七	四、八八八	四、九三三	五、五四	四、三九七	四、二七三	五、六、八八	四、六、〇〇	一〇、三、二八八	二、四、九八三	—	三、八、九三九
小豆	三、五四七	三、五七四	四、五五九	三、〇三九	二、四三七	一、九、八四八	二、七、八九二	三、四、五二	二、八、三三〇	四、〇、〇八	九、八、一九三	—	七、六、三三
大納言	四、〇三三	五、四九三	二、六〇一	二、七、二三五	三、〇、九三三	三、三、五三六	三、〇、三三三	三、七、七七	二、八、三三	三、一、六三	六、一、六〇一	—	六、四、七〇八
大豆	三、四、六七〇	三、五、三〇一	三、六、三三三	二、〇、二六六	八、四、六三三	六、六、六三	五、一、六五	三、三、三三	一、八、五九	一、八、五九	三、〇、九八八	—	六、〇、七七
秋田	二、六、〇三三	三、三、三三	三、〇、八二	一、八、四八六	二、四、九三五	四、〇、〇三	三、七、九〇	一、八、五九	一、八、五九	一、六、〇五	八、三、七	—	九、九、二六五
鶴の子	五、六三三	四、一、六七	二、九七七	三、七、七〇	三、一、八四	二、一〇〇	一、七、七四	二、七、六三	一、六、〇五	一、六、〇五	六、〇、七	—	三、三、七八
袖振	四、七二〇	三、五、四一	三、〇、一九	九、七二	一、二、〇二	一、四、七三	六、八	八、四	一、八	—	—	—	—
黒大豆	四、〇、八五	七、四五一	四、七、七	三、三、三三	一、四、八二	二、四、五九	一、四、七二	二、四、三三	一、四、三三	—	—	—	—
其他大豆	一、九四四	二、二、一九	一、二、二六	一、二、三三	四、九六	四、〇〇	一、四、九	一、五、〇	三、九	—	—	—	—
大福	一、〇、四七六	八、五、二六	七、九、八	六、〇、〇六	五、四、二六	三、五、九三	一、四、九	七、八、三四	六、六、七七	—	—	—	—
虎丸	一、四、九七	一、七、五二	二、四、六六	一、五、三	一、一、八二	八、六七	五、三三	三、六	一、六、六六	四、四、六	七、三、八四	—	三、一、六六
白丸	七、三三	一、〇、二八	一、六、一	一、一、八六	四、五〇	二、七、七	二、七七	三、八	九、八〇	二、三、六	二、五、二	—	一、三、四〇
手亡	三、一、〇八	四、一、八五	三、三、四三	四、〇、四三	二、九、七三	七、七、〇〇	五、六、〇〇	四、八、四四	五、七、七	—	—	—	—
丸鴉	四、一	八	二、七	五、九	一、四	三	〇	六	七	—	—	—	—
長鶴	七、三、四	六、七、七	四、八、六一	五、七、四八	五、七、二六	七、二、七	二、二、六	五、七、三	二、五、八二	一〇、	三、〇、〇	—	九、一、三

大豆	三〇,九九九	三三,八八五	三三,〇九二	九,五三三	九,六四六	三,三〇四	三,六五五	四,八七七	二,六二七	二,三〇五	九,九六六	四,〇〇三	一,六五五
秋田	三三,八八四	二九,二八三	三三,〇九二	八,三〇一	五,九三二	四,八六一	五,四〇五	三,九六六	一,九八一	六,〇〇〇	八,六四七	二,七六〇	二,〇七三
鶴の子	二,七九四	二,七九四	九,三八八	二,七二二	一,二〇〇	一,一八五	一,三五九	四,六六一	三,三五	三〇八	一,九九九	二,五八四	一八,七〇四
袖振	七,〇三九	二,八〇四	七,七六	六,七	五,六	一,七	三,五	一,〇	七	一	〇七	四,六二	一七,八三九
黒大豆	九,八九三	二,四七七	二,七〇八	二,七二	四,〇六八	九,八五	三,三二	一,六三	一,五四八	一,五四八	七,六四五	三,四六二	八,〇九三
其他大豆	一,二九四	一,〇一	二,九一	四,四	二,七	二,四	九	五	二	二	五	二,〇〇	六,三二四
大福	六,三三	六,八七九	四,七二	七,五二	三,七四	一,五八	三,三七	二,六	一,八二四	八,三二	二,四〇六	一,一六六	七,三三四
虎丸	一,九七六	五,四七	二,六九四	二,二〇	六,四	二,九	三,五	七	二〇八	二,三九	二,四九二	三,〇〇八	二,一六七
白丸	七,三六	一,二七	一,〇八一	八,六	六,六	二,四	一,五	四	三〇三	五,六	一,〇五	六,八	七,四三
手亡	二九,二九四	一九,四四	二七,七五九	二九,八六八	二七,八三	四,一八九	四,一七	四,一七	七,〇三	二,〇七	三,八一九	五,六四	三,四八,九七
丸	五	二	三	八	八	四	二	四	一	一〇八	二〇八	一五	五九
長	三,三三	二〇,九八	四,九五	三,九二	二〇,四七	七,〇一	一,四七	一,八五	二,六	九,五	九,一九	六,六	九,九
中	三,三三	二二,二二	二〇,四〇	一,九七	七,九四	七,九四	七,四六	三,四〇	八,〇四	二,九八	三,一八	二,七〇	二,〇〇
金	三,三三	三,九七	三,九七	二,三〇	二,〇六	一,七	三,七	七	三,九	三,九	一,九	三,六	二,九
美	一,八三	五,五	一,四	二,六	一,〇	二,九	七	七	七	六	一,九	一,五	一,六
鶴	二九,二二	三,九九	二,〇七	二,一	二,六	七,五	六,五	四,八	七,五	二,二	四,八	三,〇	一,九
紅	六,七	四,〇	二,〇	三,三	一,一	一,一	一,一	三,〇	一,〇	一,〇	一,一	一,一	三,三
其他	三,五六	二,四	二,八	一,四	一,四	六,九	八,三	六,一	三,三	一,一	一,一	一,一	二,一
青	五,三三	九,〇七	五,三三	四,四	三,七	四,〇	三,三	三,七	二,〇	二,〇	七,三	四,一	五,三
赤	四,九七	三,五	三,一	三,九	三,三	一,三	一,七	一,〇	二,二	一,三	一,三	一,三	二,一
大	一	一,〇〇	一,〇〇	一	一,〇	一,〇	一,〇	一,〇	一,〇	一,〇	一,〇	一,〇	一,〇
小	一七,三	三,三	七,八	一	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七
燕	三,三	三,三	三,三	三,三	三,三	三,三	三,三	三,三	三,三	三,三	三,三	三,三	三,三
菜	二,〇	三,二	二,五	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七	一,七

(昭和十一年自一月至十二月)

亞麻種	二,二七	一,一	二,六	一,〇	一,四	一,〇	二,六	五,一五	三,五	七,一三	二,三〇	一,八八	二,九〇
荏	九	三	五	九	一〇	三	三	六	六	六	二	六	一,一五
蕎麥	九,八三	六,二九	九,三	三,〇	六,七	五,八	四,五	三,五	二,〇	三,〇	一,五	二,六	二,七
黍	四	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
玉蜀黍	一四,六一	二,五六	七,九九	一,四五	六,二	六,六	一,五	二,〇	四,〇	五,〇	四,八	二,九	七,七
種	九四〇	一,一	五九	二	四	七	一	一〇〇	七	九	一,一	九	七,七
澱粉	三六,三二	三,七	五,三	一,五	一〇,二	一〇,六	八,〇	八,七	三,〇	三,〇	一,〇	三,〇	一,七
小豆	三,三	五,一	五,一	一,三	九,六	九,四	八,七	二〇,八	二,〇	三,一	三,一	三,一	二,〇
大納言	一八,〇	一五,六	八,〇	六,一	六,九	五,八	四,〇	四,五	八,二	三,〇	三,〇	三,〇	一,九
大豆	二〇,九	八,八	六,三	四,〇	五,八	七,〇	六,八	二,五	二,三	三,六	三,六	二,〇	一,七
秋田	二六,三	三,三	二,八	九,五	一四,二	二,八	二,五	五,三	四,〇	四,〇	五,〇	二,三	三,〇
鶴の子	一,五	一,〇	一,八	一,九	七,五	二,五	八,八	三,九	五,七	六,九	三,三	三,三	一,八
袖振	一,四	二,四	五	七	四	四	六	二	二	三	三	三	一,四
黒大豆	五,〇	四,三	二,四	二,〇	一,九	一,九	六,六	五,五	六,五	八,五	二,五	四,一	八,五
其他大豆	三,八	八	五	三	一	一	〇	一	三	四	四	二,九	五,六
大福	五,五	三,五	三,五	一,八	一,〇	四,七	三,六	二,八	二,六	八,三	三,三	一,五	五,三
虎丸	八,七	一,七	一,七	四,九	五,三	一,八	二,五	二,〇	四,七	二,九	三,〇	二,三	一,四
白丸	五,四	三,七	三,九	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三,八
手亡	二,八	一,五	三,〇	二,五	二,七	二,五	二,〇	三,〇	一,六	一,八	二,六	一,八	三,八
丸	一〇	三,九	三〇	三	九	三	三	一	二	二	三	二	三,八
長	三,〇〇	八,三	六,四	五,〇	三,三	三,四	二,一〇	八,五	五,八	四,三	七,七	六,八	八,〇

Table with columns for commodity names (e.g., 中長, 金時, 美珠金) and rows for months (一月 to 十二月, 合計). Values are listed in Japanese numerals.

(昭和十二年自一月至十二月)

五〇

Table with columns for commodity names (e.g., 小豆, 大納言, 大豆) and rows for months (一月 to 十二月, 合計). Values are listed in Japanese numerals.

五一

品名	(昭和十三年自一月至十二月)												合計			
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月				
小麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燕麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
粟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蕎麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芥子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亞麻種	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
菜種	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
粉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
馬鈴薯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大豆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黑豆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他大豆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小豆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大納言	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大豆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
秋田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鶴の子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
袖振	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他大豆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

品名	(昭和十三年自一月至十二月)												合計			
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月				
大福	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
虎丸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白丸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白花	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長鶴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美瑛金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鶴金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紅金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他菜豆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
青豌豆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
赤豌豆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
裸麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
菜種	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亞麻種	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芥子	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蕎麥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

種	六	一	五元	三六	三六	一七二	三三	四三	三元	五五	五八〇	一、七三二	四、六八二
澱粉	二一、七四〇	二七、八二一	二五、六六六	一七、七四九	二〇、七九二	一八、五〇四	二六、〇六三	二四、六八一	一九、二八九	二六、三九五	三五、一三四	二七、五二五	二八、五九九
馬鈴薯	一八、〇五八	五〇、三六九	一七、七七一	八、五五四	六〇、一三三	五、六三三	三、〇〇〇	七四三	一〇、九八七	二九、八四八	三七、〇六八	六三、六八〇	一、二七、八〇七

(昭和十四年自一月至五月)

小豆	一月	二月	三月	四月	五月	紅金	六、四四一	四、〇八八	七、六〇〇	二、七九四
大納言	二六、五三七	三〇、八三三	三三、〇〇〇	一八、〇二六	二六、三六八	其他菜豆	五、七二一	五、五九一	三、一五五	三、七五一
大納言	二六、九〇〇	二六、七五九	二六、二六二	一七、六六四	一九、九三三	青豌豆	二、三三〇	四、五六四	七、五〇六	二、七、一九九
大納言	七、八七三	六三、三三三	一〇〇、八九四	六九、三三一	三六、三四一	赤豌豆	二、三三二	三、三四三	二、七九	三、二九七
秋田	五、八六六	四、八三三	七、二九六	三九、五五六	二七、四二五	大麥	三、二〇〇	一、四九九	一、	七、八〇八
鶴の子	一、五六六	九、七七一	一、七四一	六三	一、四六六	小麥	一、五二六	一、六八四	八、四九	一、
袖振	二、〇七五	一、〇五五	一、〇〇〇	三三	一、一三三	裸麥	一、	一、	一、	七
黑豆	一〇、〇〇〇	七、九六六	五、三三三	四、八〇〇	三、二二七	菜種	二、九四〇	二、九九七	三、一〇一	五、〇七九
其他大豆	三七三	一四三	三四	八〇〇	一、一三三	亞麻種	五、五〇三	一、七五八	一〇、三五三	五、五九〇
大福	五、一〇〇	二、〇六四	二、三五八	一、八七八	二、五二八	芥子	一、	一、	一、	一〇〇
虎丸	一、七七一	九九五	一、七七一	八七一	一、五七六	蕎麥	九、五〇九	八、五九九	一、三三二	九、三三七
白丸	三、三三三	三、三三三	一、五〇〇	五〇、七二二	三、五五六	手亡	一、	一、	一、	八、九六六
手亡	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	白丸	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
白丸	一、七五五	一、一五五	六、八〇〇	四〇九	四六四	中福	一、一、一〇三	一、一、一〇〇	一、一、一〇〇	一、一、一〇〇
長鶴	三、三三三	一、一五五	三、三三三	八、二五八	一、五、〇三三	玉蜀黍	二〇、八二七	一、八、〇〇〇	二、八、二四八	一、四、〇七二
長鶴	三、三三三	一、一五五	三、三三三	八、二五八	一、五、〇三三	種	七、三〇〇	一、一、一七一	七、三〇〇	一、一、一七一
中長	三、三三三	一、一五五	三、三三三	八、二五八	一、五、〇三三	澱粉	二、九、五〇〇	二、九、五〇〇	二、九、五〇〇	二、九、五〇〇
金時	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三	馬鈴薯	一〇、七四七	一、五、八三一	一、七、六三一	一、七、六三一
美金	一、七五五	三、〇〇七	一、三九五	五〇七	二、四四一					
美瑛	三、三三三	一、四六九	二、五、三五五	一、四、六五一	一、九、八三三					
鶴金	三、三三三	一、四六九	二、五、三五五	一、四、六五一	一、九、八三三					

本道農作物輸出高 (自當年四月至翌年三月) 單位斤

大正二年	碗豆類	八、六九九、五八	菜豆類	六、〇五九、四一四	澱粉	一、一、一〇三
三	二四、九三三、四九	一〇、七〇〇、三三八	九、九〇、三三			
四	三、七、五五、〇三六	五、三、六七、八、〇	一三、九四、九八			
五	五、八、八〇、八八四	五、七、三、八、一七六	四九、七〇、〇八			
六	五、三、三三、〇三三	一、四、三、四一、九四六	一〇〇、一〇〇、六四〇			
七	一、九、八五、三五五	一、三、〇、六、一三二	二〇、三、五六、三八			

米	大正八年	九年	十年	十一年	十二年	大福	一、一、一〇三	一、一、一〇〇	一、一、一〇〇	一、一、一〇〇	一、一、一〇〇	一、一、一〇〇	一、一、一〇〇
小豆	五、四八	五、五八	七、二	一、〇、六三	六、九〇	燕麥	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、
大納言	一	一	一	一	一	其他	一、	一、	一、	一、	一、	一、	一、
大豆	五九	七、七	二、二〇、四	三、〇、六八	一、四、八四	澱粉	四、九、三、三〇	二、七、五、八、六	二、二、五、二、二	二、二、五、二、二	二、二、五、二、二	二、二、五、二、二	二、二、五、二、二
大福	一三、八二	八	一、〇	六	二								

(自十一月至十二月)

大納言	大正十三年度	十四年度	十五年度	昭和二年度	三年度	四年度	五年度	六年度
小豆	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三
精米	一	一	一	一	一	一	一	一
玄米	一	一	一	一	一	一	一	一
大納言	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三
小豆	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三
大納言	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三
大豆	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三
大福	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三	三、三、七、三、三

五五

品名	昭和七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	大納言	大豆	黑豆	其他大豆
大豆	1,258	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	3,900	3,770	3,770	3,770
其他大豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	3,900	3,770	3,770	3,770
大納言	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	3,900	3,770	3,770	3,770
大豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	3,900	3,770	3,770	3,770
黑豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	3,900	3,770	3,770	3,770
其他大豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	3,900	3,770	3,770	3,770

三月末全道市場在荷

(單位米ハ石、其他ハ個)

品名	大正十三年	十四年	十五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年
大納言	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	1,187	1,187
大豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	1,187	1,187
黑豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	1,187	1,187
其他大豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	1,187	1,187
大納言	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	1,187	1,187
大豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	1,187	1,187
黑豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	1,187	1,187
其他大豆	1,158	1,107	1,187	1,177	1,187	1,187	1,187	1,187

五七

五六

袖振	五、八五五	六、五七二	七、〇九六	四、〇一一	九、三二八	三、二二五	七、五八四	一〇、五七一
黒大豆	三、三三六	一、九〇五	二、〇九三	五、八五〇	八、二一七	八、五七八	一〇、八二二	二、六八五
其他大豆	七、七三三	八、一五六	八、一五三	五、五五五	五、四六七	七、六八九	九、二〇五	二、八八九
大福	六、五三〇	六、七三一	六、三六八	六、六三三	四、〇七二	四、四四五	八、二四一	五、四四五
中福	二、五九	二、九	五、一	三、三三	三、九	六	八、二四一	五
白丸	四、八八八	四、五〇八	八、二五	三、五八〇	八、〇三	八、九五	二、三三二	二、三三二
手丸	七、三三〇	四、五〇六	七、二八五	六、六七〇	一、三、六八四	二、五、六七五	四、三、五〇	三、八〇
丸	一、九七	九、四七	九、〇一	六、七五	六、八八	三、一	三、九、三三	三、八〇
長鶉	二、〇、四五	七、四三〇	二、八、七〇	六、七、七九	五、四、九九	四、三、五三	三、九、三三	三、九、三三
中長鶉	七〇、一六	二、八、〇三三	七、二、九四九	七、七、五〇	四、八、〇六二	三、三、八四	四、九、九三	四、九、九三
金時	三、三、三三	五、八、九三	二、四、七三	二、八、三九	三、八、四〇	七、三、三	二、六、二三八	二、〇、七九
紅金	二、四、七二	一、四、二二	四、八、七九	二、九、二二	一、二、三	五、九〇	四、四、六六	四、四、六六
ビルマ	六、七八一	一、七、三八	六、二、〇〇	四、二、〇九	七、三、二	一、七、〇四	一、七、〇四	一、七、〇四
其他菜豆	三、五、三三	八、八、九五	三、三、三八	三、三、二、九四	〇、七、五三	二、二、八八八	一、九、二、三〇	一、八、八五
青碗豆	五、二、〇六	一、三、五三	九、二、七	二、二、三、五	一、四、一〇	六、四、五三	五、五、九	五、五、九
赤碗豆	四、八四	八、二	一、九	五、九	七、七	五、二	一、	一、
其他豌豆	六、六	一、八八	一、九四	一、四、七	九、七	六、七	三、三	三、三
大麥	六、四、九六	六、六、二	二、二、二七	六、〇九	二、四、三	五、一、六四	一、八、六五	一、五、〇〇
小麥	七、四、八四	二、五、五六	四、八、九〇	五、五、九	五、四、三	二、八、八	三、三、七	三、三、七
裸麥	三、九、五一	八、二、〇六	八、八、八四	二、七、七、四	二、七、六	六、〇、八〇	一〇、〇、六六	一〇、〇、六六
燕麥	二、九、九〇	一、九、三五	六、一、六六	三、〇、四、五	二、七、六	七、九、一	二、〇、八	二、〇、八
洋種	一、七、六九	一〇、一	二、五、四	四、五	一、九	一、八二	二、五、三	二、〇、七
和種	二、九、五	一〇、一	一、三、五	三、六	一、九	一、八二	二、〇、七	二、〇、七
春蒔								

五八

亞麻種	六、一、九	五、九、二	一、四、〇、七	七、八、八	四、〇、一、一	二、四、三、九	五、〇、〇
苳麥	一、八、一、三	五、〇、〇、〇	三、三、二、五	二、二、八、五	二、二、八、五	一、三、〇、〇	七、五
蕎麥	三、七、八	一〇、一	五、	五、	五、	五、	五、
唐黍	八、〇、一、八	一、六、三、九八	一、六、三、九八	四、七、四、四	四、七、四、四	六、六、一、六	五、七、七
唐粉	二、六、一、三、五	一、三、五、二	二、一、一、五	三、〇、一、一	三、〇、一、一	六、一、一、六	一、六、七
除虫菊							
取卸薄荷							
小豆	九、六、六、一	五、九、三、四	一、四、七、〇、一	六、六、八、六	三、九、九、五	一〇、三、九、八	二、二、三、七
大納言	六、二、〇、二、四	五、三、二、七	六、六、三、〇	六、〇、一、五、四	二、六、一、三、〇	四、八、七、四	七、一、五、〇
其他小豆							
大豆	五、七、二、五	三、八、九、三	四、二、七、一	五、九、四、九	五、三、四、〇	六、七、九、四〇	一、三、三、九
秋田	四、一、〇、五、五	三、〇、七、七	三、三、五、七	一、六、五、七	三、四、六、八	三、四、八、九六	四、九、六、二
鶴の子	一、四、五、二、四	七、三、八一	一〇、三、八、八	五、四、四、四	八、四、七、九	八、七、九	三、一、九、九
袖振	八、〇、八、五	五、一、七、一	五、九、三、〇	一、〇、六、二	三、七、四、五	四、四、一、九	三、二、三、五
黒大豆	九、四、八、七	四、二、四、七	一、五、九、四、九	一、〇、二、一	一、七、二、七	一、七、二、七	一、五、五、一
其他大豆	二、三、三、八	一、七、七、五	二、六、三、九	一、三、九、一	一、七、八、九	一、〇、八、八、七	一、六、三、三
大福	四、三、四、三	五、七、八、八	一、七、〇、九	一、三、一、九、五	二、四、四、九	一、〇、八、八、七	一、〇、七、七
白丸	一、三、四、五	九、〇、八	二、一、七、〇	一、七、九、四	七、七	一、八、〇、三	三、八、三、二
手丸	二、九、七、八、七、五	五、八、四、五	三、六、七、九	四、八、二、五、三	七、二、九、八、五	八、〇、〇、七	六、六、五、五
其他							
袋入							
五九							

品名	大正十三年	十四年	十五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年
白	11,640	6,825	3,250	7,588	2,659	2,630	4,055	2,500
長	2,560	5,125	8,333	9,933	7,588	2,630	5,310	5,525
中	30,632	5,758	60,100	2,832	3,777	6,351	10,789	4,055
金時	9,781	5,125	7,821	5,736	2,659	3,777	2,327	7,325
美珠	8,632	7,079	2,708	5,736	1,802	1,665	9,732	4,227
鶴	26,431	37,622	90,052	28,926	27,526	40,363	61,922	55,662
紅	8,926	9,321	22,298	8,926	2,327	40,363	22,298	7,742
其他	251	687	2,791	823	1,232	5,249	4,152	8,620
青	56,690	66,337	33,303	48,552	89,239	23,543	82,727	33,303
赤	15,226	65,206	39,239	147,306	19,822	23,543	26,328	12,787
大	582	1,770	848	82	760	1,127	3,679	1,127
小	14,297	26,503	22,300	4,221	4,922	3,526	5,430	5,105
燕	1,320	733	733	5,927	6,223	6,223	5,681	9,822
和	1,320	1,320	4,666	5,511	4,328	8,822	2,762	3,722

十
六〇

品名	大正十三年	十四年	十五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年
春	3	1	1	1	27	2	79	2,575
燕	1,776	5,023	10,719	9,226	13,223	13,223	13,223	30,799
蕎	22,500	27,226	28,926	28,926	28,926	28,926	28,926	28,926
芥	1,292	2,523	788	327	327	327	327	928
玉	1,776	5,023	10,719	9,226	13,223	13,223	13,223	30,799
種	3,478	4,522	4,522	1,877	1,877	6,022	17,122	3,478
澱	14,022	36,328	30,522	29,222	22,022	27,222	27,222	27,222
精	23,222	32,122	34,722	32,122	37,222	43,222	49,222	55,222
大	2,822	3,222	3,222	3,222	3,222	3,222	3,222	3,222
精	12,622	9,722	6,122	9,022	6,722	10,222	5,722	5,722

品名	大正十三年	十四年	十五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年
大	26,500	51,000	72,692	63,226	82,226	102,226	112,226	122,226
精	22,822	42,022	52,822	52,822	62,822	72,822	82,822	92,822
小	22,822	42,022	52,822	52,822	62,822	72,822	82,822	92,822
大	8,922	12,022	17,622	17,622	22,222	27,222	32,222	37,222
大	3,922	5,022	7,022	7,022	9,022	11,022	13,022	15,022
秋	33,222	38,222	40,222	42,222	44,222	46,222	48,222	50,222
鶴	33,222	38,222	40,222	42,222	44,222	46,222	48,222	50,222

六一

三月末生産者手元在荷 (單位個)

品名	昭和七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	十四年
粗米	二八八、四三三	一九三、八八〇	二二二、二九二	二二二、〇三六	二一七、四四七	二二四、〇五九	二〇二、八三〇	二七五、九八五
玄米	五六一、六六六	七〇、四三三	五七、〇四四	四七、四四〇	三七六、七五五	五三、一〇四	七三、六六三	七三、三三三
精米	三〇	八七三	一、九七三	一、三九五	七三	二、一九九	四	三、六二七
小豆	一七、三七三	二八、六九二	八八、三八一	三九、九二八	二二、五四三	三二、五九八	四、九七九	四、二七〇
大納言豆	一五、三三六	二二、五六六	四四、八六四	二二、〇〇三	九、九七九	一五、〇八五	二、六四九	二、一九七
其他小豆	二	二	一	三	六	三	八	九
大豆	四四、四三二	四四、四三二	八八、六七九	五七、〇三三	四四、四三二	四八、〇〇〇	七八、六六六	五八、九三〇
秋田豆	三、九四四	三、九四四	七、〇〇〇	一六、四三六	三、三三三	三、三三三	四、五七三	三、二二六
鶴の子	七、九四四	七、〇〇〇	一、四七三	二、四七九	一、八六六	二、〇七〇	一、四八九	七、七九
袖振	一一、一一一	一、七九六	二、五四四	九、九八	一、七二	一、四八三	一、〇〇	六、八八
黒大豆	二、四四三	一、九九六	九、二二一	五、三三三	三、五八八	五、三三三	二、一四一	三、六八八
其他大豆	三、二五六	二、二九三	四、七〇八	〇、三三三	一〇、一七二	一、七二七	二、三三三	一、九六九
大豆	一、二二二	三、五三三	八、一一〇	二、八八〇	一、一三三	二、四四一	五、六六六	八、九三三
虎丸	一、七二七	一、七二七	一、七二七	一、〇〇〇	一、七二七	一、九三三	一、〇〇〇	三、三三三

品名	昭和七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	十四年
亞麻種	六九九	七七四	九〇	八七六	一、〇〇〇	三六八	四〇〇	三三三
荏麥	九	四	二	一	一	一	一	一
蕎麥	一三、九九九	一三、八七三	三、三三三	一七、〇〇〇	一三、三三三	七、二二二	一四、三三三	一三、三三三
黍	八二二	四	四	二	一	一	一	一
唐黍	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
薄除虫荷	一	一	一	一	一	一	一	一

品名	昭和七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	十四年
大豆	一、一七三	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、一七三	一、一七三	一、一七三	一、一七三	一、一七三
黒大豆	一、一九五	二、二九六	五、五五七	二、〇九七	一、二八九	九七六	一、九三三	一、九三三
其他大豆	五、〇七七	六、七七一	三、〇七七	一〇、〇三三	八、六六二	五、二九八	八、五〇五	一〇、三三三
太福	二、二八一	一、九七三	五、五七一	四、六六六	一、二六四	八三三	六、三三三	四、八三三
中福(昭和七年以降なし)	九八	三三	四	一〇	一	一	一	一
白丸	一、二二三	八四六	三、六六七	一、八二二	二二	一六八	五八三	二、三三三
手亡丸	二、五七〇	三、二八二	一五、一六二	七、八三三	八六一	五六七	一一、三三三	二、三三三
丸	四六二	二六	二六一	一八三	二六六	六	九八	三三三
長鶉	三、五三五	一、七三三	六、八七三	八、二二四	四、二二八	三、三三三	二、三三三	九、一〇一
中鶉	一七、二七六	二、七三七	二六、三三二	一三、八八九	四、二二〇	五、五七七	二、三三三	二、三三三
金時	七、七八〇	四、一三三	六、八五〇	七、三三三	三、八八九	二、九三三	三、三三三	六、三三三
紅金	一	一	一	一	一	一	一	一
ビルマ	二、三九五	一〇	二、三三三	一、〇三三	九八九	五九六	八〇二	二、三三三
其他茶豆	一、七〇〇	一、二二八	二、九〇五	二、二二四	六七三	三〇	一、三三三	一、三三三
青碗豆	二、三九六	七、九〇九	二、二七一	七、三三三	七、九二五	九〇〇	一、六六六	二、二二八
赤碗豆	八三	五七一	七八八	一〇	一〇	一	一	一
其他豌豆	六四	一三	二〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
大麥	三三	二二	七九	七九	二二八	二〇〇	一三〇	六二
小麥	四、二二〇	二、一四四	四、〇三三	五、五三〇	四、〇三三	二、三三三	二、三三三	二、三三三
裸麥	五、七七八	四、三三七	七、七七八	三、八二二	四、七九〇	二、六九七	二、六九七	三、三三三
燕麥	一〇、一〇一	二、九七三	一六、〇〇〇	一六、三三三	二〇、〇〇〇	一三、一八九	一五、八六二	二六、八七三
洋種	一八	四	二二	九	八	二	三	三
和種	一〇	一	一	一	一	一	一	一
春蒔	一	一	一	一	一	一	一	一

荏	林	亞	春	和	洋	ラ	標	燕	小	大	其	紅	鶴	美	金	中	小	長	白	手	白	
花	子	麻	麻	種	種	種	種	麥	秋	春	麥	マ	金	金	時	長	長	鶉	花	亡	丸	
100	—	235	10	10	10	10	—	15,200	5,300	—	—	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
20	—	235	10	10	10	10	—	15,200	5,300	—	—	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

市場價格の動き

赤	青	濃	種	玉	黍	蕎
碗	碗	粉	蜀	黍	麥	麥
豆	豆	豆	黍	黍	麥	麥
—	—	—	—	—	—	—

本道雜穀類及び澱粉の大正初期以來現在に至る高況を回顧するに各年度産作態の豊凶と消流状態の如何、即ち需給觀の榮衰に影響されて市場價格の騰落を招来してゐるが更に客觀的情勢の變化、例せば内外の政治的の動きは最も大なる支配力を持つてゐた、大正年間には於ける歐洲大戰を契機としてその戦前、戦中、戦後の反動昭和初年の財界恐慌、五、六年に亘る金輪解禁に依るデフレッションの深刻化、七年の再禁止と爲替安、滿洲事變の影響、更に十二年七月日支事變の發生以降戰事統制經濟強行とその反面物資不足に依るインフレーションの進行、其他海外需要國に於ける關稅問題、主要産産國の作況如何等も元より重大なる役割を演じたのである。

▲小豆類

大正二年産は氣候不順から大減收を來し地場某大手筋の吊上策に呼應して大阪、四日市筋の買入りから三年八月二十一圓七十錢と奔騰した、然しこれは石建當時の高値であり大正五年十月以降百

斤重となつてからは六年五月歐洲大戰と同時に輸出見越の買氣旺盛、十五圓三十錢と噴上げたが在荷過剩と輸出絶望に因り四十錢と急反落に轉じた、其後八年九月に米價及び各品の一斉暴騰に追隨十六圓一杯、四年一月には十七圓五十錢と續騰、九年十月には期米安と出廻増に叩かれ五圓八十錢と慘落、十年四月に強氣筋の索制買ひで十一圓七十錢と上進したが十一年には環境安と群集買方の投げて五月六圓二十錢と落し、十二年上半期中は安値低騰下中より十三年にかけて漸く上昇過程を辿り例々減收を報ずると共に大取組を見た小樽市場は十八圓二十錢と騰騰した、その反動來券々滿洲小豆の壓迫と在荷過剩で十五年八月には六圓六十錢と叩かれ九月に入り天候不順と清算高に十二圓三十錢と上進び昭和年間に入り二年十一月には七圓一杯と出盛安を呈したが三年八月に雨量不足に依る作柄悲觀から東京筋の買進む慮となり十六圓五十錢と暴騰、その後漸落歩調に轉じ四年八月在荷不足を材料に又復東京筋と地場強氣筋の買入りで十一圓五十錢迄あつたが五年金輪解禁と共にデフレ深化に伴ひ四圓六十錢と崩落、七年には洪

水に依る減産見越して十圓五十錢高と運んだが八年は豊作を謳ひ産地より賣崩し五圓二十錢迄あり、以後漸騰歩調に轉じ十年には作柄悲觀と在荷拂底から十五圓八十錢と躍進、端境には九圓一杯迄落しが十一年産も作態劣り而も滿洲物高につれて十二圓七十錢と伸び十二年は豊作を賣られ七月丁度迄叩かれたが十三年には供給力減退と日支事變發生後の物價高に伴ひ十四年四月には十四圓臺に擔ぎ上げ騰勢未だ終熄を見ない様だ。

▲茶豆類

大正三年の九月石建から百斤建となり當然それに比例して價格も下廻るを免れず大福四圓三十錢、金時三圓三十錢、中長三圓二十錢、長鶉三圓九十錢、大手亡三圓三十錢と崩れたが偶々歐洲大戰の勃發から海外輸出は俄然活況を呈しその間大波瀾を演じたが大手亡は七年四月二十三圓三十錢、大福は六年四月二十四圓十錢、長鶉は六年五月十九圓一杯、金時も二十三圓丁度、中長十九圓七十錢と狂騰、大戰後その反動で沈衰時代に入り大正年間には大福が極度の在荷拂底で十年四月三十二圓、十四年八月二十五圓の高値をつけ十四年には供給力激減と海外の追隨で神戸の筋買進み又は中長の清算市場に於ける仕手戦激化で五月金時二十二圓、大手亡十四圓八十錢、中長十六圓四十錢、長鶉十七圓の高値を見せたが概して商勢不振を免れなかつた、昭和年間に入り二年端境の品枯れで大福は三十三圓の最高値を示現、三年産は世界的農作物の凶作を傳えて海外よりの買氣猛烈を極め四年上半期大手亡は二十五圓、長鶉十六圓四十錢、中長十三圓六十錢、金時十八圓と奔騰したが六年上旬米國の輸入關稅高率引上實施に輸出杜絶懸念

され而も金輪解禁の低物價政策につれ大手亡は十月二圓八十錢、中長三圓九十錢、長鶉も二圓八十錢、大福四圓七十錢、金時五圓と慘落七年には金輪再禁止と爲替安で大手亡九圓十錢、大福二十五圓、金時十一圓五十錢、中長九圓と引返し漸く上向きに轉じ十一年に至り又復世界的不作で米國方面の買進みから大手亡十九圓八十錢、金時十九圓二十錢、長鶉十六圓八十錢、中長十三圓五十錢、大福二十五圓と暴騰、十二年は豊作を材料に大手亡六圓八十錢、金時五圓八十錢、長鶉四圓八十錢、大福七圓四十錢、中長五圓二十錢と反落したが日支事變の發生以來外國産豆類の輸入制限で内地需要を増加し更に物價高と對獨並に對メキシコ支向の好調から十三年産は一齊に上昇過程にある。

▲青豌豆

明治四十五年産は輸出筋の産地買付開始から十九圓一杯迄上進したが大正に入り乾燥不良から海外の見送り券々三年八月より百斤建となり而も歐洲戰亂發生の初期は寧ろ輸出杜絶状態に入つた爲め三圓二、三十錢迄落ち込んだ、然し四年頃から歐洲支向漸く活潑となり大正六年には最も買氣旺盛、三、四月に二十五圓を突破するに至つた、七年は生産過剰と運賃高に採算不引合とあつて九圓から八圓臺に轉落、八年には減收と倫敦筋の買進みて二十圓迄ありその後英國の輸入制限説に脅え又も八圓臺に叩かれ六月同國の最高價格撤廢説に輸出好轉を傳え十八圓四十錢と急騰したが休戦と同時に反動時代に入り九年十一月五圓七十錢と奔騰、十一年には世界的に農作物の大減收とあつて神戸筋よく買ひ、四月二十二圓五十錢と暴騰したが同年九月九圓五十錢と反落、十二年一月

には十七圓一杯と戻したが十二年八月に豊作見越と海外悲觀で八圓三十錢と追ひ込んだ、かくて十四年には圓筒木の本道及び倫敦市場に於ける劃期的買占め敢行から二十七圓卅錢と狂騰したが結局大量の持越と財界恐慌出現で昭和二年四月に九圓二十錢と急落同年十月、和蘭産の不作説で十四圓七十錢と引返したがその後漸落の一途を辿り五年度の金輪解禁に達し六月五圓七十五錢と慘落六年には四月九圓二十錢と戻したが九月下旬英國の金本位離脱に又復五圓七十五錢の安値に顔合せするに至つた、而して七年には金輪再禁止と爲替安に乗じ三月十五圓と反撥、新物の作付増加を賣られ八圓五十錢迄追込まれ先物取引も内外を通じて大量な數字を示したが洪水の被害其他氣候の著しい不順の爲め大減收を來し海外への既契約量の不積問題と云ふ未曾有のトラブルを惹起し遂に輸出適合品の規格OKを以てH.P.落したが受渡しは益々紛糾を來し十一月には二十二圓と奔騰、八年八月には九圓九十錢と押し

たが九年一月には海外高に輸出筋の手當いそぎから十七圓九十錢と上進、九年産は大増收となり十年八月に七圓九十錢と低落十年産は錄入不足と海外高に十月、十五圓四十錢と高運んだが賣惜しみの結果在荷過剩海外安となり十一年六月には九圓五十錢と軟落十一年産は又も世界的凶作を傳えて十二年一月には二十一圓二十錢と奔騰、十二年産は日支事變發生と對英國國際情勢の惡化古品の荷凭れて十一圓臺へ轉落十三年産も一頃頗る悲觀されたが計畫輸出の進捗券々對獨輸出の好調と共に十四年五月には十九圓臺に迫つた。

▲洋種

特記すべきは大正六年産が支那種の減收と海外の追隨で十四圓五十錢と四年四月の四圓七十錢から約十圓増み高運び七年産も種水高で十四圓臺を復活、更に大正八年産は種水の九十七圓、在荷の沸底、而も米國筋の買進みて九年二月十八圓八十錢と最高値を示現、其後十三年産並に十四年産が十五圓五十錢迄あつたが昭和年間に入り五、六年の低物價時代には四月臺へ落ち込み、十一年産が十二月一月支那種の輸入杜絶で買進まれ十四圓一杯迄上進、十三年産は七月十二圓二十錢あつて九月に九圓四十錢と低落したがその後軍需用或ひは新物の作柄悲觀で十四年五月には十五圓臺に躍進した。

▲澱粉

明治四十四年以降大正四年迄は四圓臺から七圓臺を往來してゐたが五年産は海外支向の好調に乗じ同年十月、十四圓二十錢と奔騰、六年産も六月、十四圓九十錢と躍進、更に七年産は海外の追隨と安部幸の猛烈な買煽りから十一月三十日には十九圓四十錢と最高値を示現、十二月一日には十六圓九十錢と一氣に三百五十丁安を示し八年三月には高値の反動と滞貨激増に七圓一杯と慘落との間千二百四十丁の大波瀾を挿いたが六月には又復倫敦高を傳えて十七圓十錢と反騰八年産は豊作見越に漸落而も九年の大戦終熄と共に輸出杜絶し十年九月に四圓八十五錢と暴落した、その後再び騰勢に轉じ十年産は海外高と神戸、兩筋筋の買進みから十一年四月に十三圓四十錢と飛躍したが八月、七圓一杯と低落、十一年産は十一圓迄あつたが外粉の輸入説に九月七圓三十錢と落し十三圓三月、品枯れて十圓九十錢あり一時的反動として七月、九圓十

錢あつたが十三年産は供給不足見越しから十月十二圓九十錢と上
 造、更に十四年五月には樽取清算に上場と共に仕手關係により十
 四圓十五錢と騰騰、十四年産は生産過剰、十五年は財界不況の爲
 め漸落昭和二年四月には六圓十五錢と崩れた、その後上向きに轉
 じ四年八月には外粉の輸入減と内地消費の順調から十圓二十錢と
 暴騰したが又後不勢化し殊に五、六年のデフレと低物價政策は五
 年十月、四圓十錢と奔落、六年も九月、四圓六十錢と不振を免れ
 なかつたが七年一月には金融再禁止とインフレ期待で十圓四十錢
 の奔騰八年産は生産過剰で七月を高値にして五圓一杯迄即かれ安

値に低迷、九年産は内地消費好調で七圓臺に乗し上げ高値七圓
 り十年産は伊エ兩國の紛争を買はれて年内九圓八十錢と上進更に
 十一年七月には十圓二十五錢と騰騰、十一年産は生産増加で六圓
 三十錢と低落したが十二年一月には麥粉高に迫り八圓八十錢と暴
 騰、然し十二年産は未曾有の大増産となつた爲め十三年一月には
 五圓四十錢迄崩したのが日支事變の擴大に伴ふインフレ見越と諸物
 價高に伴ひ、而も滿洲北支方面の輸出激増から十三年産は遂に十
 四年四月には十二圓臺突破するに至つた。

各品月別高低相場表

(大正五年十月以降百斤建値)

大正	自明治四四年四月		各月												
	四五	四五	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	
六五	三三	三三	九、〇〇	一〇、〇〇	八、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇
五四	三四	三四	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
四三	三四	三四	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
三二	三四	三四	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
二五	三四	三四	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇

昭和	自一三年		各月												
	一四	一五	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
五	二	二	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇
四	二	二	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
三	二	二	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
二	二	二	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
一五	二	二	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	七、〇〇
一四	二	二	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
一三	二	二	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇
一二年	二	二	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇

昭和	大正					自明治四年四月	至自	低	高
	四	三	二	一五	一四				
	二二	二二	二一	一〇	〇九	九八	八七	七六	六五
	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
一月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
二月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
三月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
四月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
五月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
六月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
七月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
八月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
九月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
十月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
十一月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
十二月	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三

七五



大正	自明治四年四月					至自	低	高
	五四	四三	三二	二五	二四			
	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	
四月	九〇	八〇	八〇	九二	九二	九二	九二	
五月	〇〇	七〇	八〇	二二	二二	二二	二二	
六月	〇三	八〇	二二	九〇	九〇	九〇	九〇	
七月	〇三	七〇	九二	六七	六七	六七	六七	
八月	七〇	七〇	〇三	〇三	〇三	〇三	〇三	
九月	八三	六三	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	
十月	九一	〇六	〇六	三三	三三	三三	三三	
十一月	〇二	〇六	六七	三三	三三	三三	三三	
十二月	二二	六八	六七	二二	二二	二二	二二	
一月	二二	八二	六七	〇三	〇三	〇三	〇三	
二月	〇一	〇一	六七	九〇	九〇	九〇	九〇	
三月	七九	九〇	六八	八〇	八〇	八〇	八〇	

【大福】

(大正二年九月以降百斤建値)

七四

大正一三年自一月至三月	大正一三年自四月至六月	大正一三年自七月至九月	大正一三年自十月至十二月	昭和				
				一	二	三	四	五
一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五
一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五

自大正三年四月至三月	大正十四年度ヨリOK建値	手				
		一	二	三	四	五
一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	
一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	一 二 三 四 五	

昭和	大正														
三	二	一五	一四	三年自一月				四年				五年			
				至六月											
				低				高				高			
八九、五〇	九、三〇	〇〇、一〇	二一、七〇	七、八〇	一、三〇	五、六〇	七、九〇	八、二〇	八、〇〇	六、七〇	二、一〇	一、八〇	六、七〇	五、八〇	
九、二〇	八、九〇	八、〇五	六、七〇	六、七〇	五、三〇	八、八〇	九、〇〇	七、〇〇	六、九〇	七、五〇	八、一〇	七、八〇	七、八〇	五、七〇	
九、〇〇	七、八〇	七、八〇	六、七〇	六、七〇	五、八〇	七、八〇	八、〇〇	六、八〇	六、九〇	七、三〇	七、七〇	七、七〇	七、八〇	七、八〇	
九、一〇	七、八〇	九、〇〇	七、七〇	七、七〇	五、五〇	六、七〇	九、二〇	六、八〇	六、〇〇	五、六〇	六、七〇	六、七〇	七、八〇	七、八〇	
九、〇〇	八、〇〇		七、七〇	七、七〇	四、四〇	五、六〇	九、三〇	七、〇〇	六、七〇		七、九〇	七、九〇	七、〇〇		
一〇、二〇	九、〇〇	九、〇〇	八、八〇	八、八〇	七、八〇	七、七〇	八、三〇	一〇、二〇	七、八〇	六、七〇	七、九〇	七、九〇	五、八〇		
一〇、三〇	九、〇〇		八、八〇	八、八〇	七、八〇	七、七〇	九、二〇	一〇、二〇	七、八〇	六、七〇	七、九〇	七、九〇	五、八〇		
一〇、四〇	九、〇〇		八、八〇	八、八〇	七、八〇	七、七〇	九、二〇	一〇、二〇	七、八〇	六、七〇	七、九〇	七、九〇	五、八〇		
一〇、五〇	九、〇〇		八、八〇	八、八〇	七、八〇	七、七〇	九、二〇	一〇、二〇	七、八〇	六、七〇	七、九〇	七、九〇	五、八〇		
一〇、六〇	九、〇〇		八、八〇	八、八〇	七、八〇	七、七〇	九、二〇	一〇、二〇	七、八〇	六、七〇	七、九〇	七、九〇	五、八〇		
一〇、七〇	九、〇〇		八、八〇	八、八〇	七、八〇	七、七〇	九、二〇	一〇、二〇	七、八〇	六、七〇	七、九〇	七、九〇	五、八〇		
一〇、八〇	九、〇〇		八、八〇	八、八〇	七、八〇	七、七〇	九、二〇	一〇、二〇	七、八〇	六、七〇	七、九〇	七、九〇	五、八〇		
一〇、九〇	九、〇〇		八、八〇	八、八〇	七、八〇	七、七〇	九、二〇	一〇、二〇	七、八〇	六、七〇	七、九〇	七、九〇	五、八〇		

至	自		明治		長 鶉										
大正	四	五	四	四	四	三	二	一	〇	九	八	七	六		
四	三	二	五	三	四	三	二	一	〇	九	八	七	六		
				四月				高				低			
六、七〇	八、九〇	九、三〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、八〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、七〇	三、八〇	三、九〇		
六、六〇	八、九〇	九、二〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、七〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、六〇	三、八〇	三、九〇		
六、六〇	八、九〇	九、二〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、七〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、六〇	三、八〇	三、九〇		
六、六〇	八、九〇	九、二〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、七〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、六〇	三、八〇	三、九〇		
六、六〇	八、九〇	九、二〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、七〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、六〇	三、八〇	三、九〇		
六、六〇	八、九〇	九、二〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、七〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、六〇	三、八〇	三、九〇		
六、六〇	八、九〇	九、二〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、七〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、六〇	三、八〇	三、九〇		
六、六〇	八、九〇	九、二〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、七〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、六〇	三、八〇	三、九〇		
六、六〇	八、九〇	九、二〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、七〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、六〇	三、八〇	三、九〇		
六、六〇	八、九〇	九、二〇	八、九〇	八、九〇	三、六〇	八、八〇	五、七〇	九、〇〇	六、七〇	四、五〇	五、六〇	三、八〇	三、九〇		

（大正十五年九月以降百斤建位）

一三 八、五〇〇 五、五〇〇 六、〇〇〇 五、五〇〇 六、〇〇〇 六、七〇〇 七、〇〇〇 七、八〇〇 八、〇〇〇

一四 八、六〇〇 五、六〇〇 六、一〇〇 五、六〇〇 六、一〇〇 六、八〇〇 七、一〇〇 七、九〇〇 八、一〇〇

本道の除虫菊

本道に於ける除虫菊は明治二十五年春、石狩町字花畔に於いて約五十株程度のもが移植試作されたがその後和寒を中心として宗谷沿線地方に栽培熱がうつり現在も上川支庁管内が依然として最大主産地として知られ續いて空知、後志、網走管内がそれに續くものである、生産状況の趨勢を見るに歐洲大戦當時に於ける輸出増進と高値に刺戟されて大正九年頃より急増、大正八年の作付反別七十三町、生産高八千貫から十一年には反別千六十三町、生産高百三万貫、昭和元年は一万四百町、生産高百二十二万貫十年には反別二万町歩生産高百四十五万貫と躍進、この一兩年來若干不振の傾向を示しつつあるが最近再び價格騰貴に伴ひ漸増の形にある、而して全國より見た本道の地位は昭和年間に入る迄は大したものではなかつたが昭和元年には全國總生産高の六割以上に達し九年以降五割以下に落ちたが依然して首位にあり、本邦除虫菊の生産に關しては本道の牛耳る處で世界的主要産として知らるるのである。

本年産除虫菊は従來小數の道内製粉工場の消費以外は殆んどその全部が兵庫縣、大阪府等の内地に移出され内地輸出業者に依り神戸港其他より輸出されたのである、それが昭和四年九月に至り、小樽中村支店が手造り梱包に依つて二十九噸北米支向けを敢行したのが本道直輸出の嚆矢であるがその後同港に於いて北海梱包、宮本梱包の諸工場が設立されて北聯、三井物産等が弗々輸出に着手してゐるものその業績はまだまだ充分なりとは到底斷じ得ない。

除虫菊全國及本道生産狀態

年次	作付反別(單位町)		生産高(單位貫)	
	全國	本道	全國	本道
明治三八年	一五七、〇	三、二	三、八〇〇	一、二
三九	一七〇、〇	一、八	二、七〇〇	一、五
四〇	一五七、〇	一、三	二、六〇〇	一、三
四一	二三八、一	九、一	三、六〇〇	一、〇
四二	三二五、六	一〇、一	五、八〇〇	三、〇
四三	四四九、〇	一七、九	一〇、八〇〇	三、七
四四	四九四、〇	二二、七	一四、〇〇〇	一、八
元	五二五、九	三三、八	一五、二〇〇	一、九
二	八三三、九	三三、二	二二、三〇〇	一、〇
三	一、〇四、五	二六、一	二六、八〇〇	一、一
四	一、三〇、六	一五、八	三二、八〇〇	一、三
五	二、七六、二	四五、〇	四八、〇〇〇	一、七
六	四、二五、三	五〇、一	六〇、〇〇〇	二、〇
七	三、八〇、〇	五八、八	七二、〇〇〇	二、三
八	二、五六一、七	七三、六	八四、〇〇〇	二、六
九	二、四九九、三	二七、六	四八、〇〇〇	一、四
一〇	二、五三三、〇	五八、九	四九、〇〇〇	一、五
一一	三、一四八、一	一〇六、三、〇	五九、〇〇〇	一、六
一二	四、三四、九	二〇六、九、一	八五、〇〇〇	二、〇
一三	七、六〇九、五	四、六六、九	九七、七七一	二、三

昭和元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	合計
一、八六九、一	三、七六六、六	二、四八一、八	一、四九八、五	九、九六七、七	三、〇九九、八	一、〇八九、四	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七
二、八六九、一	八、四四六、〇	一、六四一、五	一、九三三、二	一、四四五、〇	八、八二八、八	七、五九〇、〇	七、五九〇、〇	七、五九〇、〇	七、五九〇、〇	七、五九〇、〇	七、五九〇、〇	七、五九〇、〇	八、三、四一八
三、七六六、六	二、四八一、八	一、四九八、五	九、九六七、七	三、〇九九、八	一、〇八九、四	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七	一、〇八四、七
四、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇	三、〇〇〇、〇

除虫菊移輸出數 (生産年度)(單位圓)

昭和九年	十年	十一年	十二年	十三年
一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
二、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇

除虫菊全國輸出數 (生産年度)

昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	合計
三、三、九一	三、六、〇六	一、一、三三	六、四、〇〇	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	三、三、九一
三、三、九一	三、六、〇六	一、一、三三	六、四、〇〇	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	一、七、二六	三、三、九一

除虫菊相場 (本道) (單位圓)

昭和元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年	合計
一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

【月別高低表】

昭和二年自一月至七月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇

一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五
五,〇三五	三,三七三	二,七〇〇	一,七五五	四,六〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇			二,二〇〇
五,〇三五	三,三七三	二,七〇〇	一,七五五	四,六〇〇	五,〇〇〇				
六,〇〇〇		二,四〇〇	一,七五五	三,八〇〇	五,〇〇〇				
		二,四〇〇	一,六〇〇		五,〇〇〇				
		二,三〇〇	一,五〇〇		五,〇〇〇				
		二,三〇〇	一,六〇〇						
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	一,七〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇
四,五〇〇	三,三七八	二,七〇〇	一,七五五	二,二〇〇	五,〇〇〇	四,五〇〇	三,七〇〇	二,八〇〇	二,二〇〇

本道の薄荷

本道に於ける薄荷の栽培は明治二十年頃からで最初の試作地域は膽振國八雲村と上川郡永山村であつたが次第に上川地方より東部北海に移り現在では北見地方が全道の核心地域となつてゐる、明治三十七年より四十五年迄は試作期より栽培期に入り作付反別も千二百町歩から五千二百町歩と著増を示し更に大正年間に入り飛躍的に増加し三、四、五年には一万町歩臺に達した、然るに歐洲大戰の影響を受けて青豌豆手亡等に轉作し八年には千五百町歩に激減、其後十四年以後再びその増加率著しく昭和十二年には二万町歩臺に上り現在に至るのである、生産高は其年の作柄如何に依り多少の變動を見るが大體作付反別に比例してゐると云つて大過なからう。

全國より見た本道の地位は断然たるもので本道に次ぐものとして三備地方即ち岡山、廣島と云ふ事になるがその他の府縣産を全部合しても本道の五割にも達してゐない、兎に角本道は世界最大の主要産地である。

然るに移輸出状態を見るに取卸薄荷は全く阪神、横濱の大手筋におさまり最近北聯の野付牛に於ける工場設立と共に十一年七月に小樽港より本道最初の直輸出を見たが未だ微々として振はない。

取卸薄荷全國及本道生産狀態

年次	作付反別(町)		取卸生産高(斤)	
	全國	本道	全國	本道
明治三六年				
三七年				
三八				
三九				
四〇				
四一				
四二				
四三				
四四				
元				
二				
三				
四				
五				
六				
七				
八				
九				
一〇				
一一				

昭和二年自一月至	低		高	
	元	角	分	厘
一月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
二月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
三月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
四月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
五月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
六月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
七月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
八月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
九月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
十月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
十一月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇
十二月	一八、〇〇〇	二一、八〇〇	二二、〇〇〇	二二、六〇〇

大正五年	昭和元年	昭和二年
四	四、〇〇〇	四、〇〇〇
五	三、九七五	三、九七五
六	三、九五〇	三、九五〇
七	三、九二五	三、九二五
八	三、九〇〇	三、九〇〇
九	三、八七五	三、八七五
一〇	三、八五〇	三、八五〇

昭和二年	昭和元年	大正元年
六	二、〇〇〇	二、〇〇〇
五	二、〇〇〇	二、〇〇〇
四	二、〇〇〇	二、〇〇〇
三	二、〇〇〇	二、〇〇〇
二	二、〇〇〇	二、〇〇〇
一	二、〇〇〇	二、〇〇〇
〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
九	二、〇〇〇	二、〇〇〇
八	二、〇〇〇	二、〇〇〇
七	二、〇〇〇	二、〇〇〇
六	二、〇〇〇	二、〇〇〇
五	二、〇〇〇	二、〇〇〇
四	二、〇〇〇	二、〇〇〇
三	二、〇〇〇	二、〇〇〇
二	二、〇〇〇	二、〇〇〇
一	二、〇〇〇	二、〇〇〇
〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇

本道 薄荷

薄荷腦油及玉輸出高 (全國)

昭和元年	大正元年
一	一、〇〇〇
二	二、〇〇〇
三	三、〇〇〇
四	四、〇〇〇
五	五、〇〇〇
六	六、〇〇〇
七	七、〇〇〇
八	八、〇〇〇
九	九、〇〇〇
一〇	一〇、〇〇〇
一一	一一、〇〇〇
一二	一二、〇〇〇
一三	一三、〇〇〇
一四	一四、〇〇〇



營業課目
 水産工業、油脂工業、塗料工業
 大豆工業、火薬工業

日本油脂株式會社

本社 東京市芝區田村町 日産産館

北海支店水産部 室蘭市小橋内町
 北海支店營業所 札幌市北二條西三丁目

會員歸納小冊取用規程

一三	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇
一二	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇
一一	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇	四七,〇〇〇
一〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇
九	八,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇

會員組織小樽取引所特別會員

小樽市色内町五丁目二十四番地

◎◎◎
鮟鱇粕
澱粉

米穀
雜穀
銘柄別
清算賣買

株式
會社



海同仲買店

代表 野澤日房 吉

電話四一五〇・一〇三四番
カイト(又ハ)カ
略 十二。道銀。安田。北門
取引銀行

海産肥料商

清武藏清一商店

北海道空知郡清眞布

電話二四九番
振替小樽(ムサシ)又ハ(ム)九番

小樽市稻穂町

海産肥料
日支貿易問屋
鹽乾鮮魚

富樫徳太郎商店

長電話九百四十七番
長電話千六百四十七番
受信登記ラタル・トカシ
振替小樽六五七七番

海陸物産販賣委託賣買製造加工販賣

長富樫商店

株式會社

札幌市南二條西一丁目三番地
電話三〇二二・二〇三二・二五四一
電話三七三九・七九三番
電略 サツボロ、トガシ

小樽市北濱町五丁目壹番地

三藤山海運株式會社

代表電話三〇〇一番

小樽市色内町六丁目二十九番地

板谷商船株式會社

小樽市手宮町三丁目十三地番

通 株式會社 北海道運送社

營業所所在地

手宮	小樽	南	小樽	新	留
前	前	前	前	前	前
旭川	小樽	濱	小樽	近	西
前	前	前	前	前	前
旭川	小樽	濱	小樽	近	西
前	前	前	前	前	前
旭川	小樽	濱	小樽	近	西
前	前	前	前	前	前

小樽局私書函第二十六號
電話代表番號 三七八〇番
振替口座小樽 一四一〇〇番
發電略號(テミヤ〇ツ)又ハ(テ〇ツ)

小樽市色内町七丁目二十六番地

日本製粉株式會社 小樽支店

本店 東京市京橋區京橋三丁目二ノ四
支店所在地 小樽、札幌、名古屋、神戶、門司、京都、名古屋、久留米、仁川、鎮南浦、沙里院

小樽市色内町五丁目

海產物問屋

株式會社 内山商店

北海食品工業株式會社
共和冷凍株式會社

竹輪部
冷部

會員組織 小樽取引所 一内山仲買部

小樽市堺町八十三番地
電話一〇七二番九〇一番

三井物産株式會社小樽支店

小樽市色内町五丁目

電話(代表)二、五〇〇番

取扱品目

▲雜貨課

砂糖、澱粉、玉葱、馬鈴薯、除虫菊、薄荷、農産罐詰、鹽鱈、昆布、海參、海鼠、藤子、貝柱、魚類罐詰其他海産物一般、金物類、セメント、其他建築材料

▲穀肥麥粉課

北海道雜穀、滿洲雜穀、魚油、植物油、魚粕、フィッシュユ、ミール、大豆粕、化學肥料、養鷄、養狐、乳牛各飼料、日本製粉會社小麥粉、及敝其他製品一切

三菱商事株式會社

北海道内營業所

小樽市色内町八丁目參番地

小樽支店

電話(代表)四〇四〇番

函館市東濱町六番地

函館出張所

電話(代表)五二五〇番



道 聯

任 責 證 保

會 合 聯 合 組 業 漁 道 海 北

所 務 事 部 本

目 丁 一 西 條 二 北 市 幌 札
番 四 三 七 表 代 話 電

宗	北	根	日	函	檜	小
谷	見	室	高	館	山	樽
支	支	支	支	支	支	支
所	所	所	所	所	所	所

食 魚 麻 飼 肥
料 油 袋 料 料
品 部 部 部 部



丹 波 屋 商 店
河 路 尙 吉

支 店
旭 川 市 一 條 通 七 丁 目 右 一 號
電 話 二 七 四 七 番 香
振 替 口 座 小 樽 一 四 二 四 九 番
發 信 略 號 (夕) 又 ハ (夕)

本 店
小 樽 市 色 內 町 六 丁 目
小 樽 局 私 書 函 第 五 十 七 號
電 話 一 二 四 番 一 一 二 番
振 替 口 座 小 樽 四 二 一 〇 番
發 信 略 號 (夕) 又 ハ (カ)
受 信 略 號 ヲ タ ル タ ン バ ヤ

海 陸 物 產 小 樽 市 稻 穂 町 中 央 通 り
水 産 加 工
食 料 雜 貨
冷 凍 商 品
冷 藏 庫 經 營

長 谷 川 末 藏 商 店
電 話 一 四 五 一 番
振 替 小 樽 一 八 八 一 番
發 信 略 號 〇 八 八 一 番
受 信 小 樽 一 八 八 一 番
自 宅 電 話 二 四 五 七 番

小 樽 市 色 內 町 四 丁 目 龍 宮 通 り

八 戶 羽 商 事 株 式 會 社

電 話 一 一 八 八 一 番
振 替 小 樽 一 一 八 八 一 番

明太魚統制取扱

小樽市稻穂町四丁目一番地

電話 一四七二番

昭和水産組合

組合員
 岩内町 紀伊右衛門
 同 佐藤鐵松
 同 林貫一
 同 川野太一郎
 同 富樫德太郎
 同 宮崎吉次郎
 同 小樽市
 同 利尻
 同 禮文
 同 古平町
 同 奈野次郎
 同 本間權平
 同 田中政一
 同 向瀬秀雄
 同 南瀬末吉
 同 渡邊直治

日滿支臺灣貿易商
 各國産煮干專業

小樽市色内町四丁目

中内幾太郎商店

電話 四三六番
 振替小樽 九六一九番
 發信電略 (ナカ)又ハ(ナ)
 受信電略 オタルナカウチ

小樽市色内町五丁目二十五番地

魚肥鹽干魚
 海藻貿易品
 海産加工品
 共同仕入販賣
 商品保管
 委託買賣

小樽海産物商業組合

電話 一三〇九番
 發信電略 シヨクミ(又ハ)シヨ
 振替 一八、五四番
 保管倉庫 荷捌所
 小樽市色内町三丁目一番地

北海道、樺太産明太魚
 直輸出入
 並ニ鮮滿支向海陸物産

板本孝助商店

營業所 小樽市稻穂町西五ノ二
 電話 四〇七一番
 振替小樽 ヤマコ(又ハ)コ
 本店自宅 北海道忍路郡忍路港

創立明治貳拾七年

小樽市色内町



株式會社 **北海道銀行**

受託事務
 宮内省特別預金店
 日本銀行代理店
 日本銀行支店
 北海道支金庫

支店出張所 東京・道内
 五拾壹箇所

頭取 中山 豐
 電話代表番號 二八五〇番
 振替貯金口座小樽 二三三番

“K” LINE

川崎汽船株式會社

本支店
 出張所
 神戶市海岸通八番地
 東京、横濱、小樽、敷香
 下關、麗水、宇品、鹽
 釜、紐育、北米、加州
 サンチャゴ

小樽市稻穂町東七丁目拾八番地
 株式會社 **酒井商店**
 電話 六十二番

主要經營航路

朝鮮北海道大連線

寄港地 小樽—函館—伏木—敦賀—舞鶴—境—萩—釜山—仁川—鎮南浦—大連

北海道北支線

寄港地 小樽—函館—釧路—根室—青島—天津

根室、釧路、大連線

寄港地 根室—釧路—大連

北海道、北鮮直航線

寄港地 小樽—雄基—羅津—清津—城津—西湖津—元山—酒田—船川—青森—函館

伏木根室線

寄港地 根室—釧路—函館—伏木—七尾—新潟—土崎

企嶋谷汽船株式會社

本社—神戸 支店—小樽、大連 出張所—伏木、京城



海產物

本道水産業概況



東京商船

本道水産業概況

本道海岸線の延長は附屬島嶼を合して一千三百五十五里に及び、其の長さは全國府縣中随一である。而も位置は世界三大魚場の一に臨み、従つて本道水産業の産業界に及ぼす影響も亦大なるものがある。大體本道の産業は漁業に始まり、明治維新前後の産業史は大部分が漁業史から成つて居り他産業に對する漁業の優勢は久しく維持された。其の後農業が發達し、次で工業の勃興するに至り、其の相對的地位は漸次低下して來たが、要するに此の現象は本道の産業が工業中心に進みつゝある事を物語るものであつて水産物を工業用原料として供給する點に於て見ても依然本道産業の基本たるを失はないのみならず、本邦水産總額の約二割を占め依然として漁業王國を誇つて居る。

漁獲物の主なるものは鯨、鰻、鮭、鱒、鱈、鰻、柔魚、鮪、帆立貝、蟹、昆布等で就中鯨は其の第一位を占めて居たが近年海況の變化に依つて漁獲の減退を見つゝある事は本道水産業界の爲めに一抹の淋しきを感じる。

次に着業に付て見ると免許漁業權數は約九千、許可漁業數は約一万五千、之れに従事する漁業者は四万余人、被用者十餘万人を數へ、其の使用漁船も六万余隻に達し、更に沿岸漁業から沖合漁業に進展して洞游魚に對する新規漁業、機船底曳網漁業又は延繩漁業等々發達の傾向を示して居る。

水産製造物は大別して食料品、肥料、魚油であり從來は主要漁獲物

の大半が肥料に製造されて居たが、近時食料化に長足の進歩を示し其の價額も遙かに凌駕して居る。併し此の食料化問題に付ては尙ほ改善を要する點多く今後の研究に待つ所決して渺しとしない。

鯨

日本海及びオコック海の一部に漁獲されるものを春鯨、太平洋方面に於ても漁獲されるものを夏鯨と稱して居る。春鯨の漁獲最も多き地方は留萌支廳管内で後志、宗谷、石狩支廳管内此れに亞ぐ、往年積丹を中心として後志管内が王座を占めて居たが、近年では全く影を没した觀がある。春鯨の盛漁期は四、五月で漁具は建網、刺網を主とし、建網は大規模の漁業に、刺網は小規模の漁業に用ひらる。本道鯨の漁獲高中、其の八割は春鯨、其の他は夏鯨及び小鯨である。夏鯨は釧路、十勝、日高、膽振支廳管内に漁獲され盛期は六、七月である。漁具は落網、旋網、地曳網を使用して居るが旋網漁業の發達に伴ひ漁獲高も漸増の傾向にある。

鰻

本道産鰻の種類は「マイワシ」と「シヨイワシ」にて共に到る所で年中多少の漁があるが、秋から冬にかけて盛期である。主産地は渡島、膽振、日高、釧路支廳管内の太平洋沿岸で此等の地方は六、七月から十二月迄を最盛期とし漁具は落網、地曳網、旋網、刺網等である。而も此の鰻漁業は近年異常の發達を示し漁獲高も年々躍進的數字を示し今日では鯨を遙に凌駕し、漁獲物の一部を食料品に大部分を肥料魚油に製造せらる。食料品の主なるものは煮干、鹽藏、素乾、燻乾で需要は漸増の趨勢にあり油も硬化油の原料として消化力旺盛であ

り、鯉のトマト漬漬は南洋方向へ仕向けられて居る。

鮭 本道各地の沿岸及び河川に漁獲されるが、就中、網走、根室、宗谷支庁管内に多く石狩、十勝管内此れに強き、北千島に於ける流網漁業は昭和六年頃より開始され年々産額を高めつゝある。本道内の漁期は、九月より十二月迄で漁具は落網が多く地曳網、刺網も用ひらる。又時不知は四月から六月の候に太平洋、釧路、根室日高、十勝支庁管内の沖合に漁獲さる。又北千島に於ては五月から八月迄が漁期で流網、延縄に依つて漁獲さる。

鱒 鮭同様、全道到る所に漁獲されるが、大部分は北千島、根室網走支庁管内に多く釧路、日高、十勝之に強く、漁期は概ね五月から八月で主として落網、流網、延縄に依り漁獲さる。鱒は鮮魚として又罐詰として消費は漸次増加の傾向にあるが大部分は鹽藏され道外に移出され殊に對支輸出品として重要な位置を占めて居る

鰈及鯡 沿岸一帯に漁獲されるが、就中、後志、渡島、宗谷支庁管内に多く其の漁獲高は本邦總漁獲高の大半を占めて居り種類も三十餘種に及んで居る。漁期は日本海に於ては冬期より翌年五月頃迄、太平洋沿岸に於ては二月より夏期に亘る。主として磯船、保津船、川崎船等により底建網、延網、刺網、手操網等を用ひて漁獲される。

鱈 殆ど到る處に棲息して居るが、根室、網走、釧路、宗谷支庁管内及び千島に最も多い。漁期は千島に於ては四、五月か

ら八、九月迄其の他の地方にあつては十一月より翌年四五月迄である。漁具は延縄で川崎船又は發動機船を主とし機船底曳網、一本釣等之に強く、製品は棒鱈、開鱈、鹽藏鱈をばら、鱈の子等、食品を始め搾粕、油等棒鱈、開鱈は支那及び南洋方面に輸出さる。

鱈 鹽漁業は後志、檜山、膽振支庁管内最も盛で、漁期は十二月より翌年五月頃迄である。漁具は主に延網を使用されるが刺網も多少用ひられ、發動機船、川崎船等に依る。製品には棒鱈、味淋乾及び鱈の子等あり殊に明太魚として朝鮮仕向けが盛である。

鮪 北海道産鮪としてはクロシビ及びマグロが其の漁獲高の大部分を占めて居る。主産地は根室、釧路、渡島、日高、膽振、後志の各支庁管内で太平洋方面に漁獲さる。漁具は流し網、落網を使用し、流網は釧路が最も多く、落網は噴火灣方面に多い。漁期は六月から十一月頃迄で其の漁獲高は本邦中の首位を占め、大部分は鮮魚として冷蔵船に依り東京を始め内地各市場に仕向けらる。

柔魚 本道産柔魚は「スルメイカ」が其の大部分を占め「ケンサキ」(一名ヤリイカ)は全産額の一割内外に過ぎない。主産地は太平洋沿岸では日高方面、日本海沿岸では後志以南である。「ヤリイカ」は四月から六月に角網及び落網で漁獲され「スルメイカ」は七月から十二月迄で九、十月が最盛期である。漁具はトンポハネコ等、釣漁具が用ひられるが、落網で漁獲されるものも尠くない。製品は鱈を第一とし其の他鹽辛、刺鰯等あり、殊に鱈は對支輸出

出品として重要な位置を占めて居る。

タラバ蟹 本道産蟹の種類には毛蟹、花咲蟹、タラバ蟹等であるが、タラバ蟹は最も重要視されて居る。産地は國後島東岸及び網走、宗谷を主とし北千島釧路及び十勝沿岸にも産す。漁期は三月乃至六月及び九、十月の二期で北千島は五月より九月迄である。漁具は刺網を用ひ漁獲高の殆ど全部が罐詰に製造され歐米に輸出さる。

昆布 本道昆布の産額は本邦總産額の約九割を占め、其の種類も「なが昆布」「まこんぶ」「利尻昆布」「三石昆布」「細目昆布」「鬼昆布」あつば昆布「猫足昆布」等である。主産地は千島、根室、釧路、渡島、天鹽、利尻、禮文等で、其の採取期は七月から十月迄である。昆布は主として長切昆布、元揃昆布、花折昆布、刺昆布等に製造され花折及び元揃昆布は主として國內需要に、長切及び刺昆布は支那に輸出されるが、一部は海藻灰として沃度及び鹽化加里の製造原料にせらる。

各年度別鯨漁獲高 (單位石)

年度	明治三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年	一一年	一二年	一三年
数量	三三、九三四	三七、五五四	三六、〇〇三	三七、七四〇	五三、〇三三	四九、九九七	七〇、八六六	七九、九七七	六〇、八二二	六三、三四四	九二、八二二
年度	一四年	一五年	一六年	一七年	一八年	一九年	二〇年	二一年	二二年	二三年	二四年
数量	八七、〇六七	九三、四六六	七四、六六七	九五、七七七	八八、七七一	九〇、〇二六	六七、六三三	八三、五八一	八〇、五九九	九四、五八三	一、〇三、三三三
年度	二五年	二六年	二七年	二八年	二九年	三〇年	三一年	三二年	三三年	三四年	三五年
数量	七八、五五八	八七、九六八	一、一〇、一四〇	一、〇七、三二八	一、〇三、三三〇	一、二六、三九九	九三、〇〇六	九五、五五五	九五、六〇〇	九六、三三四	九〇、三三〇
年度	三六年	三七年	三八年	三九年	四〇年	四一年	四二年	四三年	四四年	大正元年	二年
数量	一、一四、三三三	八八、八八九	七〇、七五五	六六、九六六	六三、三三三	六三、三三三	五三、八三三	六二、六三三	五〇、六三三	六七、三三三	一、〇三、三三三
年度	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年	一一年	一二年	一三年
数量	七五、二二七	八五、〇六六	八〇、一七三	八九、七三三	六二、七三四	九三、四三三	九三、七九九	八七、三三四	六三、八三四	六〇、三三三	七三、八三三
年度	一四年	昭和元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年
数量	六三、六六六	七四、二二二	八三、九九九	五三、三三三	四三、〇三三	四三、九三三	六〇、三三三	五三、三三三	七三、三三三	五三、三三三	三三、三三三

鱈着業統數

昭和十三年度

月別	小樽	岩内	瀬棚	江差
五月	元	七	〇	〇
六月	五	八	〇	〇
七月	四	一	六	〇
八月	二	四	〇	〇
九月	三	六	〇	〇
十月	四	二	〇	六
十一月	三	一	〇	六
十二月	〇	〇	〇	〇

尾廣	河浦	室蘭	森	函館
二	三	二	三	七
三	四	一	四	七
三	五	二	五	七
五	六	三	六	三
八	八	一	八	三
一〇	一〇	二	一〇	六
一〇	一〇	二	一〇	六
一〇	一〇	二	一〇	六
一〇	一〇	二	一〇	六

釧路	根室	紋別	稚内	釧路
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一

留萌	三十三年度	二十二年度	十一年度	十年度
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一

主要水産物漁獲高

魚種	大正元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年
鮭 (單位貫)	大正元年 二〇五八、三五五	二年 一、六三三、三三七	三年 二、八〇九、一一三	四年 二、六二一、二六三	五年 一、二六八、八九四	六年 一、八八九、三三七	七年 二、三三三、八六二	八年 三、二二五、九九九	九年 二、四八八、七七五
鱈 (單位貫)	大正元年 八、五六六、六四二	二年 八、五六一、六四二	三年 一、八七五、二四七	四年 三、六六〇、四四七	五年 一、四八八、三八八	六年 三、〇三八、九三〇	七年 二、二二五、六六〇	八年 一、六五四、〇三六	九年 一、八七一、二二八
鱈 (單位貫)	大正元年 四、七〇八、三三〇	二年 八、五六六、六四二	三年 一、八七五、二四七	四年 三、六六〇、四四七	五年 一、四八八、三八八	六年 三、〇三八、九三〇	七年 二、二二五、六六〇	八年 一、六五四、〇三六	九年 一、八七一、二二八
鮟鱇 (單位貫)	大正元年 二、〇二五、一〇二	二年 二、〇二五、一〇二	三年 二、〇二五、一〇二	四年 二、〇二五、一〇二	五年 二、〇二五、一〇二	六年 二、〇二五、一〇二	七年 二、〇二五、一〇二	八年 二、〇二五、一〇二	九年 二、〇二五、一〇二
鰻 (單位貫)	大正元年 一、〇一〇、〇一〇	二年 一、〇一〇、〇一〇	三年 一、〇一〇、〇一〇	四年 一、〇一〇、〇一〇	五年 一、〇一〇、〇一〇	六年 一、〇一〇、〇一〇	七年 一、〇一〇、〇一〇	八年 一、〇一〇、〇一〇	九年 一、〇一〇、〇一〇

柔魚 (單位貫)

魚種	大正元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年
柔魚 (單位貫)	大正元年 八、〇九〇、九三二	二年 一〇、三三四、五六一	三年 一〇、四〇九、九一七	四年 四、六九〇、五三八	五年 三、〇九〇、一七五	六年 九、六六三、一六二	七年 二、〇九八、一六六	八年 一、七六六、八七二	九年 二、〇一一、三〇五
鱈 (單位貫)	大正元年 二、〇二五、一〇二	二年 二、〇二五、一〇二	三年 二、〇二五、一〇二	四年 二、〇二五、一〇二	五年 二、〇二五、一〇二	六年 二、〇二五、一〇二	七年 二、〇二五、一〇二	八年 二、〇二五、一〇二	九年 二、〇二五、一〇二
鮟鱇 (單位貫)	大正元年 九、〇九〇、九三二	二年 一〇、三三四、五六一	三年 一〇、四〇九、九一七	四年 四、六九〇、五三八	五年 三、〇九〇、一七五	六年 九、六六三、一六二	七年 二、〇九八、一六六	八年 一、七六六、八七二	九年 二、〇一一、三〇五
鰻 (單位貫)	大正元年 一、〇一〇、〇一〇	二年 一、〇一〇、〇一〇	三年 一、〇一〇、〇一〇	四年 一、〇一〇、〇一〇	五年 一、〇一〇、〇一〇	六年 一、〇一〇、〇一〇	七年 一、〇一〇、〇一〇	八年 一、〇一〇、〇一〇	九年 一、〇一〇、〇一〇

鮎 (單位貫)

大正元年	三三〇,〇〇〇
一〇年	三三〇,〇〇〇
二〇年	三三〇,〇〇〇
三〇年	三三〇,〇〇〇
四〇年	三三〇,〇〇〇
五〇年	三三〇,〇〇〇
六〇年	三三〇,〇〇〇
七〇年	三三〇,〇〇〇
八〇年	三三〇,〇〇〇
九〇年	三三〇,〇〇〇

鮭 (單位貫)

大正元年	七〇五,〇〇〇
一〇年	七〇五,〇〇〇
二〇年	七〇五,〇〇〇
三〇年	七〇五,〇〇〇
四〇年	七〇五,〇〇〇
五〇年	七〇五,〇〇〇
六〇年	七〇五,〇〇〇
七〇年	七〇五,〇〇〇
八〇年	七〇五,〇〇〇
九〇年	七〇五,〇〇〇

鮫 (單位貫)

大正元年	一,一五七,二六六
一〇年	一,一五七,二六六
二〇年	一,一五七,二六六
三〇年	一,一五七,二六六
四〇年	一,一五七,二六六
五〇年	一,一五七,二六六
六〇年	一,一五七,二六六
七〇年	一,一五七,二六六
八〇年	一,一五七,二六六
九〇年	一,一五七,二六六

鯖 (單位貫)

大正元年	一,一四〇,六〇〇
一〇年	一,一四〇,六〇〇
二〇年	一,一四〇,六〇〇
三〇年	一,一四〇,六〇〇
四〇年	一,一四〇,六〇〇
五〇年	一,一四〇,六〇〇
六〇年	一,一四〇,六〇〇
七〇年	一,一四〇,六〇〇
八〇年	一,一四〇,六〇〇
九〇年	一,一四〇,六〇〇

玉筋魚單位貫大正元年

二〇年	三二〇,〇〇〇
三〇年	三二〇,〇〇〇
四〇年	三二〇,〇〇〇
五〇年	三二〇,〇〇〇
六〇年	三二〇,〇〇〇
七〇年	三二〇,〇〇〇
八〇年	三二〇,〇〇〇
九〇年	三二〇,〇〇〇

たらば蟹 (單位貫)

大正元年	一,三〇二,〇〇〇
一〇年	一,三〇二,〇〇〇
二〇年	一,三〇二,〇〇〇
三〇年	一,三〇二,〇〇〇
四〇年	一,三〇二,〇〇〇
五〇年	一,三〇二,〇〇〇
六〇年	一,三〇二,〇〇〇
七〇年	一,三〇二,〇〇〇
八〇年	一,三〇二,〇〇〇
九〇年	一,三〇二,〇〇〇

海扇貝單位貫大正元年

二〇年	一,九〇〇,〇〇〇
三〇年	一,九〇〇,〇〇〇
四〇年	一,九〇〇,〇〇〇
五〇年	一,九〇〇,〇〇〇
六〇年	一,九〇〇,〇〇〇
七〇年	一,九〇〇,〇〇〇
八〇年	一,九〇〇,〇〇〇
九〇年	一,九〇〇,〇〇〇

鮑 (單位貫)

大正元年	九六九,〇〇〇
一〇年	九六九,〇〇〇
二〇年	九六九,〇〇〇
三〇年	九六九,〇〇〇
四〇年	九六九,〇〇〇
五〇年	九六九,〇〇〇
六〇年	九六九,〇〇〇
七〇年	九六九,〇〇〇
八〇年	九六九,〇〇〇
九〇年	九六九,〇〇〇

大正元年	三〇〇,〇〇〇
一〇年	三〇〇,〇〇〇
二〇年	三〇〇,〇〇〇
三〇年	三〇〇,〇〇〇
四〇年	三〇〇,〇〇〇
五〇年	三〇〇,〇〇〇
六〇年	三〇〇,〇〇〇
七〇年	三〇〇,〇〇〇
八〇年	三〇〇,〇〇〇
九〇年	三〇〇,〇〇〇

大正元年	二〇〇,〇〇〇
一〇年	二〇〇,〇〇〇
二〇年	二〇〇,〇〇〇
三〇年	二〇〇,〇〇〇
四〇年	二〇〇,〇〇〇
五〇年	二〇〇,〇〇〇
六〇年	二〇〇,〇〇〇
七〇年	二〇〇,〇〇〇
八〇年	二〇〇,〇〇〇
九〇年	二〇〇,〇〇〇

鹽鱈(單位貫) 大正元年

二年 一、五二〇
三年 三、八三三
四年 一、八二七
五年 二、三〇〇
六年 五、三五四
七年 六、四二七
八年 三、〇八一
九年 九、〇〇〇

鹽鮭(單位貫) 大正元年

五年 五元、四七
大正元年 八、五二七
一〇年 一、五〇、二七九
一五年 一、二五、〇七九
二十年 一、〇四、三六九

鹽鱈(單位貫) 大正元年

一〇年 一、〇一、〇一
一五年 一、〇一、〇一
二十年 一、〇一、〇一

筋子(單位貫) 大正元年

一〇年 一、〇一、〇一
一五年 一、〇一、〇一
二十年 一、〇一、〇一

大正元年

一〇年 一、〇一、〇一
一五年 一、〇一、〇一
二十年 一、〇一、〇一

棒鱈(單位貫) 大正元年

一〇年 一、〇一、〇一
一五年 一、〇一、〇一
二十年 一、〇一、〇一

開鱈(單位貫) 大正元年

一〇年 一、〇一、〇一
一五年 一、〇一、〇一
二十年 一、〇一、〇一

鱈の子(單位貫) 大正元年

一〇年 一、〇一、〇一
一五年 一、〇一、〇一
二十年 一、〇一、〇一

乾鰯(單位貫) 大正元年

一〇年 一、〇一、〇一
一五年 一、〇一、〇一
二十年 一、〇一、〇一

大正元年

一〇年 一、〇一、〇一
一五年 一、〇一、〇一
二十年 一、〇一、〇一

品名	大正元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年
鱈油(單位貫)	二六、五〇	二〇、七九	二〇、五〇	七、九三	九、九五	一四、九七	一四、九七	七〇、九八	二七、二五	一〇三、〇四	二六、五〇	二〇、七九
鮫油(單位貫)	一九、七五	二〇、〇四	三三、七四	三三、七四	三六、二八	六六、一五	六六、一五	六六、一五	六六、一五	六六、一五	六六、一五	六六、一五
大正元年	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九	三三、〇九
昭和元年	七、四六	三、一六	一九、七三	三〇、六八	三〇、六八	三〇、六八	三〇、六八	三〇、六八	三〇、六八	三〇、六八	三〇、六八	三〇、六八
二年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
三年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
四年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
五年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
六年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
七年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
八年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
九年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
十年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
十一年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三
十二年	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三	三三、七三

重要水產物輸出數量

品名	昭和元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年
昆布	三〇、七九	三〇、五九	一六、三三	一八、〇七	三〇、三三	二八、七五	一八、四〇	一八、四〇	四二、六五	四八、八九	三六、八九	四六、〇九
乾鰯	三三、五三	二〇、四六	一一、五八	三二、八四	一一、九八	三、〇七	四、三三	一六、四〇	三〇、三三	一六、三〇	一一、七六	六、五八
乾鱈	二七、〇九	三三、二四	七、四七	一八、九五	一五、八二	一〇、一三	一四、八六	一六、五八	四、一三	三六、一〇	二七、四三	二八、五五
鹽鱈	二、九五	一、三三	六、五七	四、四八	二七、六三	七、八	三、七	一、五九	二、五八	七、三〇	二、二六	一八、五五
鹽鱈	一七、五三	一八、四四	八、五九	三〇、〇六	一〇、八四	一、九二	一、六二	五、〇〇	一〇、六七	一〇、七三	一七、七三	二〇、九八
鹽鱈	一七、八四	二四、五三	一六、四六	九、四九	一三、八九	七、五	一、八九	—	—	—	—	—
乾鮑	四〇	三二	三九	四四	二四	一五	一	一	一	一	一	一
貝柱	八、三三	五、七五	一、九七	五、〇七	二、九六	七、六	八、四	一、九	五、八	五、六	五、二	四、三
鮫鱈	一、五八	一、三〇	六、六	一、〇九	一、三五	六、五	二、八	四、九	八、〇	九、七	八、五	八、五
海參	二、一七	一、四三	一、三三	一、八七	八、一	五、九	五、六	一、八	二、五	三、九	六、九	四、八
蟹鱈	八、四六	七、七四	三、六九	四、七〇	五、四〇	一四、九七	九、〇	四、八	九、三	五、〇	九、七	三、〇
鮭鱈	二、九六	一、三六	五、九	一、七	三、九	一、〇	三、三	三、三	一、八	三、〇	三、八	三、九
鱈鱈	一、五八	一、四一	一、四一	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七	一、七
鱈鱈	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

重要水產物移出數量

品名	昭和元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年
昆布	七、〇九	六、五三	四、八	五、八	八、八	六、八	五、八	六、八	七、八	八、八	九、八	一〇、八
乾鰯	三、九	三、九	三、九	三、九	三、九	三、九	三、九	三、九	三、九	三、九	三、九	三、九
乾鱈	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
鹽鱈	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹽鱈	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾鮑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
貝柱	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鮫鱈	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
海參	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
魚油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鱈油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

仙魚肥	四〇九、二八	五三三、二七	五五五、九〇	五七五、五五	三五五、六〇	五八〇、五五	七三〇、八六	六三九、九八	六五三、二七	四九八、一八
蟹鱈詰	三二九、四三	三、六五、五七	三、五、八五	五、九〇	五、八五、八五	四、三、五、八五	七〇四、九五	一〇二、五二	六、一、五、九	七、七、七、六
鮭鱈詰	一、四〇、九三	三、五二、九八	三、九三、九四	四、七七、一〇〇	四、八〇	？	？	六、九、二、五	三、九六、一〇	二、八七、七四
鱈鱈詰	？	？	？	？	？	？	？	五、七、四、〇	二、八、四、〇	一、五、五、七
鯊鱈詰	？	？	？	？	？	？	？	五、六、八、二	五、七、六、四	二、八、四、〇
魚鱈詰	？	？	？	？	？	？	？	四、一、五、九	七、五、五、〇	四、二、五、五
	？	？	？	？	？	？	？	四、二、五、五	二、二、五、〇	三〇

各年度別市場概況 (小樽市場)

【大正四年度】

魚肥

米價の低落と漁期接近で手持品の賣退きとなり更に新物の出廻りに壓迫されて七月中旬迄下落の一途を辿る、八月以降は環境の好轉と秋肥需要を見越す思惑筋の擡頭となり更に現物に對する内地筋の買氣旺盛と相俟つて十二月には最高値を現はしたが一月以降は米價の下落と豆粕安で軟調を持續す。

貿易品

日支外交問題の風雲急を傳へられて對支貿易は悲境に陥り成行賣り物も出て四月以來落調を続け五月上旬外交問題の圓滿解決に依つて小康を得たが再び日貨排斥問題から賣行杜絶し殊に貝柱の如きは新

乾魚製品其他

物の出廻り接近等で落調を早めた、十月以降は在荷減退に依る思惑筋の買物が入り横濱筋の追従を見て立直り相場となつたが一月支那に帝制反對の革命動亂起るに及んで買警戒となり幾分各商品に反落を來した程度で大きな變化も無く弱保合裡に終る。

【大正五年度】

魚肥

在荷減少と鯨漁に對する悲觀説で完全な端境相場を現はし四月には各品とも高値を示現す、五月以降は新鯨筋の出廻り多あり、且つ米價生糸相場の下落等で大勢下値墓ひとなり六月には夫々低値を付けた、七月以降は閑散期にも拘らず安値賣り惜みとなると共に思惑買ひ擡頭となり相場もデリ高十二月には最高値を現はしたが此の間

賴取り賣買旺盛、一月以降は漸く警戒氣分濃厚となるに伴つて反動時代に入り更に關係材料の軟勢も織込まれて崩れたが再び端境相場を現はし上向歩調に轉ず。

貿易品

支那の動亂は袁總統の隱退説が傳へられて鎮定を豫想され稍市場も立直り氣味に見えたが動亂は依然終息せず爲めに相場は又しても落調に轉じ五月には安値に陥つた、併し値頃からすれば相當安値にある爲めと端境相場を見越して對支輸出に不安を感じ乍らも弗々思惑的買氣擡頭し、七月から八月にかけての帆立漁況不振から本格的騰勢に轉じた、九月に入つて貝柱の本年度の産額が前年度の半數に満たない事が判然するに及んで横濱、神戸兩市場の追従する所となり騰勢の一路を辿つた。

身欠鯨

古品の一掃からいきなり新物商談開始され石油箱入れ地製は九圓八十銭に折合出廻り漸増に崩れ足となつて八月には安値に陥込んだが下旬頃からは内地方面の買氣漸く見直し手持筋の賣り惜みと共に上向き歩調に轉じ九月中には六千俵餘りの大荷動きがあつた斯くして在荷減退と共に相場は益々好調を續けて高値を更新したが十二月の閑散期に入つて漸く落調に轉ず。

鯨魚

五月に入つて弗々商談開始したが産額に對する見透難で本腰入らず

六月に到つて漸く思惑的買物現る、七月から八月にかけては形勢觀望の態度にあつたが此の間相場はデリ高歩調にあつた爲め需要期の接近に伴つて愈々本格的商戦に入り思惑買ひに騰勢漸く急、十月から十一月にかけての對内地商戦には最高値を現はし安値の倍價に達したが需要一段落すると共に漸く反動過程に入つた、併し殘荷幾許も無く深押を見ずして終局。

棒鯨

在荷薄で比較的手堅い成行を示して居たが輸出筋の見送りと内地需要の不振に崩れ足となり又五月には安値を付けた、六月に入つて稍買氣見直し内地筋の買進みと相俟つてデリ高、八月から九月の閑散期に稍反動相場を見せたが再び輸出筋の買進みとなり、十一月に天井、十二月に入つてからは新物の出廻りに下げ足に向ひデリ安商状となつた。

昆布

八月に於ける天候は申分無く、且つ増収見越に買方警戒したが賣方又安値見送り態度をとる、併し出廻りは存外遅々として居る爲め漸く見越買ひとなり、十月迄寸退尺進の歩調を續けたが、十一月に入ると共に漸く頭打となり年末から一月にかけては高値から約一千圓安を示し押目買ひに再び反騰した。

魚油

内外共に比較的買氣を示して居たが五月に入つて海外安と運賃高の

影響を受け且つ出廻り増加に反落す、六月に入つて弗々引合あり、鯨油の製産減産等も好感して轉換相場となり小巾に採み合ひ乍ら高、十一月には高値を現はし鯨油の如き猛然買進まれたが十二月には反動安となつた、併し押目には採算買ひもあつて手堅い成行を持續す。

【大正六年度】

魚肥

米高と鯨魚不振で強調を持續して來たが終漁迄には相當日數もあり百圓方の往來を繰り返す、然して相場を左右する鯨魚は第二期を終るも依然芳しからず結局終漁迄六十万石と云ふ大不漁となつた爲め猛然買進まれ夏肥の手當一段落を見る迄は採み合ひ乍ら高値を更新した、九月に入つて米價は豊穰謳歌に依り反落過程に入ると共に魚肥相場も漸く反動時代に入り更に豆粕安も繰返まれて下げ足を早め十二月には高値から三五百圓安となつた、中旬以降は豆粕の暴騰で一部に買氣湧出し再び上げ足に轉じて越年、一月には關係材料の昂騰を反映して積極買ひとなり前高値に額合せするに及んで愈々買氣を助長し更に豆粕米價の續騰に買進まれ各品とも新値追ひの市況となつたが反面利喰賣りもあり結局格月三百圓内外の騰落を演じて大波瀾場面を展開し乍らも結局強調を持續す。

身欠鯨

四月下旬から弗々商談開始となつたが五月に入るや函館筋の買氣猛

然強く、相場は俄然暴騰し直後反動安を示したが結局押目買ひに騰勢を續けた、六月下旬頃からは出廻漸く嵩み、且つ高値見送りとなつて崩れ七月から八月にかけては戻りらしい戻りも無く落調を續けた、九月に入るや安値賣り溢りと内地筋の買氣見直して幾分持直し思惑筋の出現で新高値を現はし強調裡に製品の殆どは年内に消化された。

鯨鯨

鯨の不漁見越しから製産減産構えとなり新物に對する交渉も積極的となり五月中旬には早くも二千圓高となつた、併し値頃には産地筋の賣り物多く千圓方の反落となつたが凶漁確定するに伴はれて再び買進まれ八月迄には閑散な割合に大中の動きを見せ高値更新を續けた八月中旬以降の商況は前半餘りにも騰勢を續けた爲め需要期に向ひ乍ら返つて下値添ひの形勢となり、十一月から十二月の最盛期には寧ろ落調低迷の珍現象を呈した。

貿易品

對支貿易の不振から買氣減殺されたが在荷僅少を楯に手持筋賣り惜み、此の傾向は端境期接近に伴れて益々濃厚となつて來た、六月に入るや無い物高を發揮して騰勢愈々急となつた、七月下旬には早くも新物の出廻りを見たが漁況極度の不振を傳へられ場面は成行買ひとなり八月には更に銀塊高を強材に相場は一高騰毎に昂騰し九月迄は騰勢の一路を辿る、九月下旬銀塊の崩落爲替の暴騰に場面は混沌たる情勢となつたが十月に入つて愈々悪化するに及び鯨鯨筋の賣物

嵩んで反落す、十二月初旬からは神戸、横濱等の輸出筋から弗々引合あり、稍立直り商況を呈した。

棒鱈

製産不足を楯に手持筋賣り惜み相場は騰勢を續け六月に入つて小緩みを見せたが自體には騰落ともに材料無く主として他の食料品相場の高低に伴れて動いた。

魚油

大勢先高人氣濃く且つ鯨油の製産不足見越しにデリ高八月迄は小巾採み合裡に高値を更新して來たが、輸出採算不引合となるに伴れて買氣杜絶し反動氣分も加はり九月には鯨氣筋の投物續出して落調を續けた十一月から十二月にかけては弗々引合を見せて一高一低の相場を持続、一月には輸出筋の買進みと在荷薄に思惑買も加はり再び高値を見せたが二月末から三月にかけては警戒氣分強く稍反動氣味を呈し買買も不振を極めた。

【大正七年度】

魚肥

米價の昂騰豆粕其の他一般關係材料の強調を反映すると共に實需筋の買進みもあり正に天非知らずの觀を呈したが、鯨魚は結局前年度と大差無く新粕の出廻を見るに到つて漸く下向き七月には各品とも三百圓乃至四百圓安を示した、七月下旬から八月にかけては財界の

好調を入れて米價は暴騰し遂に立合停止を演ずる等で、先高人氣濃厚となり來客筋の買觀も思惑筋の出動で場面は強調の大波瀾となり乍らも逐次高値を更新した、十一月には歐洲大戰も停戦問題等が傳へられる主要關係材料は亂高下を示した爲め氣迷状態に陥つたが手持筋の強硬に深押も無く寧ろ年末にかけて再び思惑筋の出動となり、一月には米價豆粕高に刺戟されて一段と買氣旺盛、二月には前代未聞の高値に躍進したが三月に入つて關係材料の反落と高値賣りに三百圓餘りの反動安を示した。

身欠鯨

鯨魚に對して稍悲觀的觀測が下されて新物に對する買氣良好、五月上旬迄は良く消化されて十九圓臺の好値を現はしたが製産増を傳へられて遂に崩れ更に買見送りと相俟つて七月には十一圓臺に叩き込まれた、八月下旬の厄揚りから半思惑的な買も入り且つ兵、阪、筋の買進もあつて次第に見直し堅實な歩調は十一月迄續いたが買氣杜絶と共に軟走した、

鯨鯨

環境高を反映して概して強調人氣を持續したが、生産高も昨年度と大差無き觀測が下されると共に前年度の二の舞を懸念して一般に買手控えの態度をとつた、此れが爲六月から七月にかけては落調に轉じたが、他品に採算すれば割安となる爲め漸く買氣現はれ相場も見直したが積極的出動は無く前半は見るべき商談は無かつた、八月下旬から九月に入るや大手筋の動き漸く目立ち、マバラ筋の追従と内

地來客の物色買ひで相場は次第に引締り需要期接近に伴れて買氣愈々熾烈となる、十一月から十二月にかけては在荷拂底が賣り方の索制材料となり一万二千圓豪へ躍進を見たが、同事に内地商人も満腹となり且つ高値には消流難が傳へられたが大體在荷一掃の形にあつた爲め影響は少なかつた。

貿易品

財界の好調は更に買氣を助長し年度初めには前例に無い高値に噴き上げたが反面には實需添はず利喰賣りを呼んで軟走した、七月には新漁期を迎へたが海扇の漁況は餘り芳しからず旁々押目狙ひの買物が入つて再び騰勢に轉ず、八月に入るや銀塊爲替の好調は騰勢に拍車をかけて新高値を付け十月には稍反動來もあつたが、大體に於て減産確定した爲め押目は買はれ年末には各品とも最高相場を現はすに到つたが、高値は漸く警戒される所となり且つ探算不引合となつて一月早々崩れ足となつた、併し一般に高値掴みにある爲め投げ崩す程でもなく二月から三月にかけては閑散裡に軟走を續けた。

昆布

八月には走り一番荷が三千五百圓に折合つたが、其の後殆ど交渉無く一般形勢眺めに經過した、九月下旬から十月初旬には他品高と製産減から漸く買氣湧出し小口乍ら賣物は良く消化されて殆ど一本調子の上相場を示し高値維持の儘次年度へ持越す。

魚油

出廻り當初は新物好みで比較的好値に手合されたが出廻り増加に伴れて品質の粗悪物多く相場は次第に軟化するに到つた、殊に歐洲大戰終熄の結果諸工業界の衰微旁々不況の過程に入つた事、更に鯉の割安等が直接軟材となつて六月には四五圓安となり、九月以降は兩館市場の優勢に支配されて見直したが、鯉の續落に低落を餘儀無くし十一月以後は再び安値低迷を續け只極上物丈け品薄を楯に好値に取引された。

鯉 鱈

鯉の生産高は豊漁の割合に少く此れが爲め生産者は極力安値賣り惜みの態度を續けて來た、結局專業筋も索制を餘儀無くされ對産地商戦で一万五千圓豪迄躍進したが無理買ひの反動と内地筋の高値見送りと對内地戦には寧ろ軟調に傾き損逃れの戦法として極力賣り盡つた爲め需要一段落は投物續出して三月には高値から約七千圓餘りの慘落を演ずるに至つた。

貿易品

貝柱は昨年來高値を持続し加ふるに漁況不振で一段と先高を豫想されたが、唯一の需要地たる南清方面の日貨排斥激烈を極めた爲め多大の影響を受け遂に相場は漸落の一途を餘儀無くされ銀塊高爲替安等何等好材とならず八、九月の出盛期には前年同期に比して七八十圓安を示した、十月から十一月にかけては多少上海方面と引合あり引締りを見せたが一時的現象に止つて再び買氣杜絶した、二三月には財界變動の厄難に遭遇して市況益々不味且つ銀行業者の貸出警戒

昨年以來引續き賣行良く殊に環境高を反映して硬化油筋の買進みには悔り難いものがあつた、六月から七月にかけては鯉油の出廻りあり聊か軟調を示したが月を追つて消化力旺盛十月には各品とも品拂底を告げるに至り爲めに新高値を示現したが、結局商材無く其の後には當用筋の小口物が弗々折合つたに過ぎない。

【大正八年度】

魚肥

魚肥相場のペロメーターとも見るべき本年度の春鯉漁は稀に見る大漁となつた爲め當初軟化の姿勢にあり、五月には急落を見たが何分經濟界の過度期とも稱すべき時代にある爲め製産費も相當に掛り旁々米價生糸高等の好村に刺戟されて生産者は先高を豫想して賣り應ぜざる爲め遂に必需筋は索制を餘儀無くされて相場日に奔騰更に産地思惑筋の大口買付等あつて七月には出廻り最盛期にも拘らず一段と高運び、加ふるに米價豆粕の續騰で市場は益々白熱化し專業筋の大活躍に利喰轉賣頻々とは行はれ連續的に狂騰を送ふして十一月には夫々五千圓豪を突發するの盛況を呈した、十二月には銀行筋の貸出し警戒等で稍沈靜化した之餘勢侮り難く一月に入るや又復奔騰して空前の高値を示現するに至つた、一月中旬頃からは經濟界の梗塞に遭遇して騰勢は漸く挫けると共に風動過程を辿り三月末には高値から何れも五七百圓安となつた。

身欠鯉

と相俟つて整理的投物も出現したが前途を警戒して買手を染めず無商内裡に相場崩る。海參、乾鮑、乾鰾、棒鱈等も相場の動きは殆ど貝柱に追従した形であるが海參、乾鰾等は産額減で比較的好調を持續す。

魚油

輸出筋の見越買ひと硬化油筋の好調に相場は次第に硬化し八月最高値に躍進したが十月頃より輸出も漸く杜絶状態に陥つて軟走した。二月には再び大手筋の買出動で昂騰したが財界の不況に遭遇して低落す。

その他

昆布の製産高は平年の約半額を豫想されると共に思惑筋の出動となり好値を現はしたが高値は消流難で買氣一服併し手持筋も生産減を楯に賣り惜み結局強保合裡に終る。

【大正九年度】

魚肥

稀有の豊漁と財界の動搖は甚大な影響を及ぼし漸落を餘儀無くしたのが五月下旬からの連日降雨に出廻り遅れ剩へ十有五万石の赤乾品を腐敗せしむるの止む無きに至つた爲め俄然暴騰を演じたが結局此れも一時的現象に止り生糸並に期米の崩落に形勢一變して六月には高値から千圓餘りの崩落となつた、七月に入るや突込み賣りも漸く警

戒され關係材料の反騰に盛り返した、九月には米の豊作豫想に期米は暴落した爲め弱筋に投物呼び十月から十一月にかけて落調を辿つた、米價は十二月に入つて農家筋の不賣宣傳に見直し同様に魚肥相場も次第に立直つたが警戒氣分強く市況漸く弱保合となつた。

身欠鯨

御祝儀取引は例年に比較すれば寧ろ好調を思はせるものあつたが漁況の順調を眺めて生産者の賣り急ぎとなり、七月から八月迄は殆ど一本調子に下げた、併し安値には漸く買氣湧出すると共に以外な製産減を傳へられて俄然買氣擡頭し大量の消化を見たが此れが一段落と共に再び反動過程に入り、十月以降は商材薄の儘小口物が軟調裡に取引され見るべき商談無く閑散の商況を續けた。

鯨 鯨

前年度の好調に刺戟されて一般に出足早く初商談としては稀に見る高値手合せとなつたが、結局豊漁人氣と財界不振に崩れ足となつた七月に入つてからの製産高調査は以外の減少を傳へられた爲め專業筋の買進みとなり十月から十一月の需要期には高値へ躍進したが高値見送りと手持處分賣りに十二月には反落したが大體に順調な足を辿つた。

貿易品

貝柱は一般財界の不況と對支貿易の杜絶更に品痛み時期の到來から

【大正十年度】

魚 肥

前年度に引續き軟走の空氣にあつたが鯨漁は四月上旬迄二十二、三万と前年度の三分ノ一と云ふ凶漁現象を出現した爲め漸次上向歩調に轉じ六月以降は豆粕高や其の他一般關係材料の昂騰に刺戟されて九月迄騰勢の一路を辿る、十月に入るや米價は農商務省の増收豫想發表で俄然三百圓餘り崩れ豆粕も漸く軟走の形傾を示した結果次第安となり、秋肥需要の掛聲も存外響かず、結局手持筋の嫌氣賣り物を呼んで一月には安値に陥つた、併し安値には必需筋に買はれ端境相場を見越す思惑筋の買物も出て稍反撥情勢となつたが後援續かず小旋りに推移した。

胴 鯨

主産地たる中場所方面の漁比較的良く産額増加を豫想され主力粕の昂騰にも拘らず上げ足は鈍かつた、斯くて各品との値階次第に擴大するに及んで漸く値頃思ひの買物散見し内地筋の買進旁々思惑筋の出動を誘ひ十月から十一月には三千圓臺へ噴き上げた、併し此の頃から主力粕も軟調に轉じた爲め漸く下向き需要地の買見送りと相俟つて崩れ二月に豆粕高を反映して見直したが戻り賣りに結局弱保合を續けるに至つた。

身欠鯨

鯨肉漁を繰込まれて出廻り當初は高値に良く消化されたが次第に中

買見送られ六月迄は漸落を辿る、七月に入つて早出廻り物は稍好調に商談開始され、香港並に臺灣筋に買はれ、同筋の買氣は銀塊高と共に侮り難く見えた爲め遂に思惑筋の出動となつて百圓臺に乗せたが値頃は採算不引合となつて交渉杜絶し反動場面を展開し更に神戸横濱輸出筋の見送りに次第に悪化し十二月には遂に新安値に陥つた新年を迎へるに當り在荷減退と南支方面の買進みあり突込過ぎの反動等もあつて一般に買氣復活したが舊正手當の一段落と共に漸く落付模様となつた、其の他海參、乾鮑、鰻、棒鱈等も各自特種事情に依る多少の變動はあつたが大勢的には貝柱と同様の動きを示した。

昆 布

財界の不況と豐作氣構えに買氣全く無く昨年來の好値も遂に慘落を餘儀無くされた、従つて新物の出廻りとなつても容易に買氣揚らず年末に至つて多少内地筋に買はれたが見直し迄に至らなかつた。

魚 油

前年度末の好調で比較的好値賣行を期待されたが内地筋の手持品は以外に多く、且つ財界の不況を反映して買氣不振を示した爲め軟走を餘儀無くされた、而も鯨漁は順る順調を傳へられて愈々場面不味海外との不引合と相俟つて遂に慘落し殆ど底抜け相場を展開して十二月には鯨油は一回四、五十錢、鱈油が二圓二、三十錢、鯨油も二圓兩み迄落ちた、一月に入るに及び漸く反動氣味となり一回四、五十錢高となつたが買氣續かず再び軟走するに到つた。

場所方面の好漁を見るに及んで生産増を豫想され且つ兩館並に内地各市場の軟走を入れて賣人氣となつた、結局六月から七月にかけては出廻り増加と前厄關係で買見送られ相場も安値に叩き込まれたが八月以降は安値賣り溢りと需要地の買氣擡頭に上向き此の形傾は十一月迄續き大半消化された。

鯨 鯨

前年度の業績良好を反映して對産地商戦は凶漁と相俟つて積極買となり出廻り期にも拘らず七月には一万圓臺へ乗せた、而も内地大手筋の出動等もあつて氣配益々昂騰、十月から十一月の需要期に入るや内地筋猛烈に買進み一万八千圓臺へ躍進したが手當一巡と共に反動相場を展開十二月には急反落となつた一月には舊正目當の買物が相當あり且つ在荷減退もあつて反騰したが高値警戒に堅保合を持續す

貝 柱

在荷減退から端境相場の出現を豫想して一般に買氣優勢五月から六月にかけて中粒は百二十圓臺へ躍進するに到つたが七月新漁期を迎へ漁況又順調を報ぜられるに及んで反動情勢を示し八月には輸出筋の買見送りと共に七十圓臺へ落ちた、併し安値は産地筋の賣り溢りとなると共に兩館筋の買進みあり輸出筋の見越買ひも出て十一月には九十圓臺へ乗せたが銀塊安に對支向け振はず再び軟走す、二月下旬頃から横濱、神戸の中織市場より亦々交渉あり、香港向け輸出の旺盛と共に急騰再び百圓臺へ乗せた。

昆布

本年度の生産高は前年度の約三分の一を傳へられて次第に昂騰し十月から十一月は高値に保合ひ手堅い成行を見せ一時反動相場を見せたが結局生産不足が強材料となり再び騰勢に轉じ強調な足を進めた

魚油

歐洲戦後の影響を受けて輸出方面は甚だ振はず一昨年来見るべき活況も無く相場も終始小巾往來を繰り返した。

【大正十一年度】

魚肥

期待された端境相場も漁期を迎へると共に漸く氣力も抜け且つ高値見送りに軟調に傾き五月には漁況の順調を賣られて遂次安値に迫込まれたが其の後漁況芳しからず結局不漁の折紙さい付せられて下旬頃より思惑買ひ盛頭同時に伊勢灣、兵阪、關門方面よりの註文殺到して昂騰した、八月以降は閑散期に入ると共に期米の暴落があり、豆粕も軟調を進めた爲め嫌氣筋の投物目立ちデリア商狀を續けて十一月月上旬には約一千圓安となつたが安値には實需筋の買物を呼び兵阪伊勢灣筋の買視きもあつて再び反撥模様となり年末から春にかけては在荷減退を強材料に見込買ひ強く同時に利喰賣りも出て波瀾含みとなつた。

來たが深層入らず結果保合場面の續行となつた、新年早々輸出筋の買氣漸く積極化して俄然様變りとなり思惑買ひを含んで暴騰し騰勢の一路を進めた。

【大正十二年度】

魚肥

新春早々内地筋の當用買ひは消極的ながら侮り難いものがあり市況は在荷減退と共に所謂端境相場を展開三月上旬迄は各品とも騰勢の一路を進めた、四月に入つて鯨の本漁期を迎へるに及び漸く反動相場を出したが、其の後の漁況不順を傳へられて中旬頃より俄然反騰加ふるに時化續きて漁獲も思はしからず、漁期最中に於ける暴騰と云ふ珍現象を呈した、五月下旬から六月にかけての出廻り期には買見送られ、且つ走り過ぎの反動と豆粕安に下げ足を早め七、八月の閑散期は低迷時代となつた、九月初旬の關東大震災の影響は甚大なものあり、金融の梗塞其の他悲觀材料續出して下旬には安値に落ちたが十月秋肥需要期を迎へて漸く立直り十一月から十二月にかけて堅實な歩調を見せたが商内は其の割不活潑であつた、

身欠鯨

漁況不振を買はれて出廻り當初強調を續けたが第三期以後に於ける奥地漁に期待をかけて買見送りととなり、且つ出廻り増加もあつて相場はデリア安となつた、併し漁況は以外の不振を告げるに及んで漸く

身欠鯨

古品の持越數量も相當豊富であつたが漁況芳しからず存外賣行良好を示す新物は四月上旬十八圓揃みに生れたが出廻り最盛期を控えて早積み筋以外は見送りととなり相場もデリア安を進める六月下旬梅雨上りの好調期待に賣り惜みとなり必需筋索制されて上向に轉ず、七月には内地需要を喚び二十圓臺へ噴き上げたが、値頃には消流難が伴ひ買氣杜絶して再び軟走し遂に軟調を脱し得ずして新物の出廻り期を迎へるに至つた。

鯨鱈

漁況不振から生産減を買はれ騰勢を續けたが高値に賣り物嵩み六月下旬暴落す併し産額の減少は動かすべからざる強材料となり各專業筋並に内地來客筋に買捌はれて急反撥天井知らずの感を呈したが高値は流石に買躊躇の姿となり利喰轉賣物等も出て反落した、十月以降は多少内地必需筋との間に商談もあつたが大體手當濟みとなり且つ高値警戒と産地筋の賣り急ぎに漸落し一月には在荷減退と舊正需要に反撥したが見るべき取組み無く市場は頗る閑散に推移す。

貿易品

續騰歩調も四月下旬頃より漸く警戒人氣強まり神戸、横濱筋の買見送りを動機に反動氣構えとなつた、七月に入つて帆立漁況は目を追つて順調を報せられるに及び相場も次第安となり八月には安値に落込んだ、十月中旬神戸市場在荷の一掃を見るに及び稍買氣擁頭して

買進みとなり五月下旬から騰勢に轉じた、六月中旬梅雨期に入るや一齊買見送りととなり、相場の低落と相俟つて買氣愈々鈍く、七月中旬稍反撥状態となつたが、結局戻り待ちの賣物に壓迫されて再び崩れ足となり九月下旬迄落調は續けられた、十月に入つて値頃思ひの買物あり、且つ突込過ぎの反動で騰勢に轉じたが警戒人氣強く又しても崩れ足となつて終始不勢に終る。

鯨鱈

鯨漁は結局内漁に終り、生産不足は決定的となつた爲め專業筋の買進む所となり、出廻り最盛期にも拘らず相場は騰勢を續けた、七月には流石に買疲れとなり、稍反動氣味も見え九月下旬には利喰賣りも出て反落したが内地需要を呼ぶに及んで漸く反撥し十二月に入るや買氣殺到して急騰を演じた。

貿易品

新年早々積屋筋の買氣根強く深層入れの買進みもあつて續騰三月中旬には更に神戸筋の積極買ひに一段高となつたが、支那に於ける日貨排斥問題で頭打ちとなり遂に反落す、七月海扇の新漁期に入るや豊漁豫想に賣人氣優勢を示しデリア安となつた、九月關東震災の爲め神戸筋との通信杜絶し暗黒市況となつたが其の後神戸筋の猛然買ひを入れて俄然反騰し思惑筋の買物も出し新高値に躍進し強調の、越年しました。

【大正十三年度】

魚肥

春高人氣を發揮して一月から二月にかけては奔騰したが利喰賣りに一時反落し再び在荷薄を買はれて所謂端境相場を展開したが新粕の出廻りと共に急反落した、六月下旬夏肥に對する補充買ひに反撥し引續き秋肥需要の最盛期を迎へるに當り内地筋の猛烈な買進みあり十月に入つて反動相場を展開したが、結局押目買ひに強調場面を續けた。

貿易品

對支輸出の比較的順調から端境相場を見越して弗々買はれ堅調な足どりを見せたが、海參は六月末に新物が出廻りデリア、貝柱も七月末には漁況順調から崩れ足となつた、八月中旬には函館高があり、對支向け採算關係も見直して入注も漸く活潑となるに伴れて相場も騰勢に轉じたが、結局深腰入らず強調裡に越年した。

鯨 鯨

五月下旬新物交渉は一万二千圓見當であつたが、漁況順調から生産増を豫想されて買氣無く、結局下げ足となつた、七月中旬漸く産額の見通しが付くと共に思惑筋の買氣弗々擡頭八月から九月にかけては來客筋の物色買ひがあり更に十月から十一月には内地筋の買進みとなつて騰勢の一路を辿り終始好調を續けた。

【大正十四年度】

魚肥

前年末以來端境相場に對して四圍の事情から相當期待される所あつたが、一月中旬以降米崩落に遭ひ、且つ清算取引の不振と相俟つて崩れ足となつたが、鯨漁は例年に比較して非常に遅れた爲め反撥状態となつた其の後奥地の豊漁を傳へられるに及んで反落したが六月中旬からは期米が立直り續いて豆粕の奔騰等に思惑筋の買氣を喚起して騰勢を續け九月には安値より五百圓餘りの昂騰相場となつたが餘りにも高走つた爲め秋肥需要期には寧ろ軟調を示し手當一巡と共に不勢を續けた。

身欠鯨

四月下旬からの早出廻物は御祝儀的意味を含んで比較的好値に賣れたが、五月から六月にかけては出廻増加に壓迫されデリアを辿つた七月上旬には關西方面の猛然買ひとなつて昂騰此れに地場思惑筋が加はつて續騰したが高値には利喰賣りを喚んで再び崩る、九月には殘荷薄勞々農繁期に依る實需筋の買進みあり在荷も一掃の形となつて強調を辿る。

貿易品

輸出筋の買ひ進みて相場も堅調を持續したが神戸筋の買氣も二月上旬頃より稍控え氣味となり根室産四ツ割の投げ物等が出て漸く下向

の反動で十七圓増み迄暴騰した、併し高値は警戒人氣強く且つ手當一段落と共に再び急落し年末には投げ物等も現はれて八圓臺へ慘落するに至つた。

貿易品

廣東方面に於ける日貨ポイコットは尠からず影響し且つ香港向け輸出も杜絶するに及んで氣配益々惡化の一路を辿る。七月海扇の新漁期を迎へるや更に深刻味を加へるに至つたが安値は産地商人の思惑買となり、市場專業家が此れに追從して七月下旬から漸く立直り始めた、加ふるに期待された海扇漁は以外の業績不振を示すと共に神戸筋の買進みがあつた爲め八月下旬から九月にかけて奔騰したが對支貿易の不活潑と年末金融關係に依る投げ物で又崩れ足となる。

【昭和二年度】

魚肥

一般財界の動搖から前途の不安を豫期し乍らも所謂端境相場に多少の期待が掛けられ初市以來デリ／＼引締めて來たが鯨漁期に入り各地情報は頗る順調であつた爲め四月下旬には各品とも遂に安値に追込まれた、五月上旬から夏肥假需要に稍見直し六月中旬迄強調を續けたが此の間の取組高は單なる必需手口のみで數量は微々たるものであつた、九月下旬の小樽在荷ば鯨粕のみで十九万俵の多きに達した爲め前途に對する悲觀人氣益々濃厚となり次第に軟調を辿る。

【大正十五年度】

魚肥

初市に於ける三千七百圓出來は春高豫想を裏切つたが更に米安を入れて盛り返し得ず、鯨漁期に入るや岩、宇、積丹、余市方面の大漁に遂に三千圓の大關門を割つた、併し漁況は其の後不振を續け第一期漁は二十万石内外の不漁となつた爲め、漸く押目買ひとなる、第二期漁は約六十六万石を報ぜられて昨年と大差無かつたが、第三期に入つて奥地豊漁に崩れ夏肥需要に小戻したが需要一段落と期米安で二千七百圓臺へ落込んだ、秋肥需要は相當期待されたが、米安に禍されて伸び得ず平凡な成行を終始す。

身欠鯨

敦賀及び青森地方は朝鮮或は浦鹽鯨を移入して相當製造された模様あり此れが爲め出廻り當初から氣配面白からず四月中旬の十七圓兩を高値にデリア安歩調となる、五月から六月の出廻期には一層深刻味を加へ十圓臺へ落ちたが値頃には實需方面の買氣を呼び突込み過ぎ

身欠鯨

古品の持越数量存外多く相場も極端な安値に落ち込んだが割安な爲め良く消化された、新物は四月下旬十五圓臺に生れ出廻り増加に十一圓臺へ落ちたが値頃には相當買氣あり、五月から六月の最盛需要期には總生産高の約七割迄が消化された、斯くて場面は在荷減退に先高氣構えとなり思惑買も出て相場も急騰するに至つたが、財界の不況に買氣續かず鯨氣筋の投げ物等も現はれて崩れ足となり在荷薄の割合に末路は不振に終る。

鯨 鮪

鯨大漁に産額増を見越されて買氣進まず、四月下旬六千圓と割安に取引あつた、八月下旬迄は夫々人為的策動もあつて一千圓前後の往來を繰返したが九月上旬頃より内地筋の買進み漸く活潑となり積出し数量も日に増加するに及んで強氣筋も漸く本腰を入れ十一月から十二月の下旬にかけては一万二千圓臺へ噴き上げて良く總産額約二万俵を消化し得た。

貿易品

端境相場を見越して年頭以來好調を續けて来たが、結局反動安を示し海扇の新漁期を迎へるに及んで漸く落調急を示した、七月下旬から八月にかけては銀塊並に爲替關係等何れも不味、輸出悲觀で更に軟調を辿つたが、九月中旬以降は支那市場の好轉旁々輸出筋の見越買ひに上向き更に上海市場からの買進みもあつて一層騰勢に拍車を

鯨 鮪

鯨不漁から生産減を傳へられて産地筋の賣腰頗る強硬な爲め遂に索制され六月半上は一万圓の好値に生れた、七月から八月にかけては高値警戒に一般に買見送られたが産地の態度は依然として強く、爲めに需要期接近に伴れて結局買進まざるを餘儀無くされ約三千圓の昂騰となつた、十月末から十一月にかけてその對内地商戦は内地筋の高値見送りに二千圓方の急落したが十二月には反動氣分に小康を呈した。

貿易品

貝柱は在荷拂底と爲替相場の好轉を買はれて前年度來強調を持續し且つ神戸市場の買進み等で百七十圓近くの好値を示したが、二月下旬頃より買氣漸く衰へ、加ふるに日貨排斥問題で遂に暴落す七月海扇の新漁期を迎へ初出廻物は比較的好値に折合ひを見せたが出廻り増加に伴れて崩れ足となつた、八月下旬には多少思惑筋の買物現はれたが賣り物豊富に伸力無く頗る平凡な成行を示す、九月に入つて日支條約の改定、濟南事件の解決を見た爲め、前途に曙光を認められて人氣一變途中爲替關係で多少の騰落はあつたが概して好調を續けた。

【昭和四年度】

魚 肥

米價調節資金の樂觀説で米價は昂騰した爲め強調を續けたが反面に

かけ頗る順調を示した。

一三八

【昭和三年度】

魚 肥

期米、豆粕高に刺戟されて一部筋に思惑買ひが起り百圓方の昂騰を演じたが、三月鯨漁期を迎へて反落す四月上旬には關東及び信州路に於る桑害が傳へられて一層不味に陥つた、鯨鮪は第二期迄は以外の不漁である爲め猛烈買氣湧出して一氣に二百圓餘りの急騰を演じたが結局出廻り漸増と共に反落す、併し押目には思惑筋の買氣もあり七月に入るや漸く反撥し米高等を反映して騰勢を續けたが、十月農林省の第一回米收豫想發表が六千三百三十万石の大豊作となつた爲め期米に動搖を來し此れに禍されて急落を演じた十一月に入つて秋肥需要に多少反撥を見せたが妙味無く平凡に終る。

身欠鯨

四月に入つて第一回の御祝儀商内は三十八圓五十錢に成立したが先安氣構に買入無く旁々兩館の暴落を入れて十八圓漸み迄崩れた、此の安値には相當買物と呼んで一時二十一圓増み迄引返したが買物續かず再び崩る、九月に入つて厄揚りとなるや稍買氣差し安値から三圓餘り昂騰此の間取組高は至つて妙く結局相場にも差したる變化を見せずに終る。

は議會に於ける首相の問責決議問題等があつて前途に一抹の暗影があり伸力存外鈍かつた、四月に入り鯨鮪は頗る不順を示した爲め不漁見越しの思惑買ひとなり、二百圓餘の急騰となつたが、下旬樺太大漁報に俄然様變り釣瓶落しに崩れて六月上旬には高値から約六百圓の急落となつた、併し漁獲高は結局前代未聞の凶漁となり反動氣味も加はつて急反撥す、七月中旬頃には爲替の昂騰から遂に輸入肥料の値下げとなつた爲め買氣萎縮し同事に下げ足となつた、秋肥需要に差掛つて實需買が伴ふにつれて漸く見直したが、朝鮮鯨の豊漁等が傳へられて伸力鈍り軟走氣配に終つた。

身欠鯨

古品は殆ど出拂つて問題無く新物は四月下旬から交渉開始され産地物が二十二三圓に折合を見た、五月から六月にかけて出廻り増加するに伴れてザリ安、加ふるに厄時期に向つて益々不味十二圓臺へ落ちたが八月厄揚り待ちの買物あり反騰歩調となつた併し需要も大體一段落となるに伴れて相場も又崩れ足となり商内閑散裡に不味な商戦を辿る。

鯨 鮪

新物は五月中旬頃から商談開始となつたが、不漁見越に唱へ高く半改上物は一万圓以上の好値に取組まれ出廻り漸増と買氣見送りに反動安となつたが、結局鯨鮪が唯一の強材料となり、遂に索制されてザリ高歩調を辿つた、十月以降對内地商戦に入るや内地筋は高値見送りに容易に進まず、結局根氣負けの形となつて軟走を餘儀無くさ

れる爲めに相當の痛手を受けた。

貿易品

對支貿易は依然として不振であるが南洋或は南支方面へ臺灣を中繼する買物が弗々あり且つ在荷減退から端境相場を當込んで思惑筋の買視きあり騰勢を續けたが、結局高値には實需添はず五月中旬より反落過程に入つた、七月海扇の新漁期を迎へるや漁況存外順調な爲め次第安となり、貝柱の如き百圓臺割れを危ぶまれたが、八月中旬頃より漸く對支向けとして買進みあり俄然人氣昂騰した、併し此の騰勢も採算關係から永續性無く、九月下旬には早くも崩れ氣味となり年末にかけては無商内裡に不味な場面が続いた。

【昭和五年度】

魚肥

新春早々軟材料の山積となつたが殘荷僅少に其の割影響無く寧ろ下旬には伊勢灣筋の買進みに反撥狀勢となる、四月鯨漁期を迎へたが早場所方面皆無に續騰歩調となり侮り難い情勢となつた、其の後奥地から樺太大漁を傳へられて俄然暴落するに至つた、結局市場は新粕の出廻り逼迫におびえて總見送りとなり六月から七月にかけては殆ど交渉無く八月中旬割安思ひに依る思惑買ひ控頭を動機に稍見直して來た、併し反面には化學肥料豆粕鯨粕が割安にある爲め積極買ひは無く、加へて米收豫想増収に依る期米安に叩かれて次第安を餘儀無くされた。

身欠鯨

新物は出廻り漸増と厄時期に遭遇して漸落歩調となり八月には九圓臺へ落ち値頃思ひの買視きに稍反撥模樣となつたが賣行不振に再度落調を辿り終始不勢を辿る。

鯨 鮭

産額に對する見通難と前年度に於ける業績不振に鑑み積極的進出は全く手控えられた爲め出廻り當初は殆ど見るべき取引無く七月上旬頃より弗々思惑筋の物色買ひが始つた、八月下旬から九月にかけては來客筋の買進みもあつて本格的騰勢に轉じたかの様に見えたが環境安に人氣萎縮して再び軟調を辿る、十一月の需要期を迎へるや見送り姿にあつた内地筋が猛然買進んで來た爲め在荷薄と相俟つて遂に暴騰し十二月には愈々買氣優勢を示し高値の儘越年するの盛況であつた。

貿易品

前年度以來殆ど一進一退の商狀を續けて來たが、二月に入つて對支貿易は極度の不振に陥り、神戸筋の買氣全く杜絶した爲め相場は次第に下向きとなつた、七月以降は貝柱の新物出廻りに依る壓迫懸念があり、且つ對支貿易の前途に對しても見通難から厭氣筋の投物も現はれ場面一層不味に陥つた、併し製産者は採算關係から安値に絶對賣り應ぜず強硬態度に出た爲め下値淋しと見て思惑筋の買氣弗々表面化し同時に神戸筋の物色買も現はれて漸く騰勢に轉じたが高値新物の出廻り漸増に伴れて相場も次第安となつたが五月上旬には天候不良の爲め出廻り遅れ反騰に轉じた、併し戻り待ちの賣り物は相當多く再び崩れ相場となる六月から七月には内地方面の買氣良く相當買はれたが伸力無く大勢小巾往來に終始した。

身欠鯨

銀塊相場の崩落で對支輸出は全く絶望視されるに至つたが殘荷が豫想外の僅少にあつた爲め手持筋は極力賣り惜み爲めに相場は手堅く小口物は索制されて騰勢を續けた、八月貝柱の新物出廻りを見るに及び漸く崩れ足となり九月以降支那の對日感情益々悪化し十月には在住日本商人の引揚げを見る等遂に慘落し不勢に終つた。

貿易品

前年度末以來の消流順調と在荷減退から端境相場の出現を見込んで新春早々買進まれたが、二月中旬鯨粕の反落並に關係材料の軟調に高値見送りととなり、三月下旬は鯨漁期を迎へるに及んで一層買方自重し、五月下旬から六月上旬には新粕に壓迫されて崩落した、併し生産高は以外に動く爲めに安値揃ひとなり、夏肥の假需要等も起つて八月上旬からチリ高歩調となつて強調に越年した。

【昭和七年度】

魚肥

出廻り時期を迎へて生産高は一般に注目されて居たが樺太は別として本道は豫想外の減産見通しが付いた爲め一齊買進みとなり急騰したが、結局反動を招來して七月反落相場を出した此の空氣は結局九月下旬迄續き此の間一般は成行を重視して積極的出動は殆ど見られなかつた、十一月内地需要期を迎へては必需筋の買進みありチリ高歩調となつたが手當一巡と共に相場も軟調に傾いた。

は結局採不引合となつて買氣をそぐ爲め伸力無く小巾往來に終始した。

【昭和六年度】

魚肥

客年來の深刻なる不況に依り惡氣流は新年早々諸物價に及ぼし期米化學肥料鯨粕等々一般關係材料は一齊安の商狀を示した爲め殘荷薄に拘らず賣人氣優勢三月下旬迄は時に小反撥もあつたが大體に落調を續けた、四月本格的鯨漁期を迎へるに及び市場は更に漁況觀望となつて米高等存外響かず、反つて早場所方面久方振りの豊漁に下げ足を早めた、七、八月の夏枯期は閑散乍ら相場は一進一退を繰返し十月秋肥需要期に入つて稍見直しの形になつたが、年末接近に伴れて要金筋の賣物あり、不勢を思はせたが十二月初旬金の輸出再禁止或は政府買上米の發表更に豆粕高等強材前後して現はれた爲め押詰つて急騰を示した。

鯨 鮭

出廻り時期を迎へて生産高は一般に注目されて居たが樺太は別として本道は豫想外の減産見通しが付いた爲め一齊買進みとなり急騰したが、結局反動を招來して七月反落相場を出した此の空氣は結局九月下旬迄續き此の間一般は成行を重視して積極的出動は殆ど見られなかつた、十一月内地需要期を迎へては必需筋の買進みありチリ高歩調となつたが手當一巡と共に相場も軟調に傾いた。

鯧 鮪

鯧不漁から生産減は確実性を帯びると共に一般專業筋は五月中旬頃より漸く買出動したが、何れも警戒人氣強く對産地商戦は頗る不活潑裡にデリ高歩調で進んだ十月中旬から十一月にかけての對内地商戦は結局手持筋の減産賣り溢りから内地筋追従を餘儀無くされ十二月初旬迄は續騰を辿つたが手當一段落と共に反落するに至つた。

身欠鯧

サカシ場所の好漁から産地筋賣り急ぎ落調を辿つたが其の後天候不良と出廻り遅れに反撥した七月厄時期に遭遇して買氣一服となり厄揚り後は一段高を豫想されたが代用品安に買氣鈍く結局軟調に終る

貿易品

在荷豊富と對支輸出の不振で軟調を續けて来たが、春高人氣に吊られて新春の相場は上向きに轉じた、併し需要地は此れに追従せず採算關係は依然として不割であつた爲め利喚筋の賣り物等も出て五月下旬から六月上旬には一齊に低落歩調となつた七月海扇の新漁期を迎へて漁況は頗る順調を傳へた爲め貝柱はデリ安となり、他品も此れに従つたが海參丈けは割安觀と在荷不足に八月下旬から獨り高となり十月多少の反動安を示したが、再び買進まれて強調を續けた、干鮑其の他は殆ど貝柱の成行に追従し十一月中旬迄は小巾往來を持續し下旬よりは神戸筋の買進みもあり急反撥した。

【昭和八年度】

魚 肥

前年度末の奔騰相場は結局噴値賣りとなつて初市には早くも下り足となり、水産試験場の漁況豫想發表も織込まれて端境迄落調續く、鯧は各地とも好調を傳へられ鯧鮪等も相當突込んだ賣物もあつたが豊漁相場は既に織込み済みとなつて突込み賣り警戒となり寧ろ値惣買ひを誘ひ五月上旬頃より反撥過程に入つた、併し高値は内地山方面の買見送りとなり且つ出廻期に差掛つた爲め再び反落し秋肥需要に引締めたが結局伸力鈍く小巾往來に終始した。

鯧 鮪

近年に無い豊漁となつた爲め一般に買ひ警戒となり五月末に於ける新物商談も割安に成立を見たが安値は産地筋の賣り惜む所となり結局專業筋の追従買ひとなつたデリ高歩調を辿つた、併し生産増加は必然である爲め何れも深腰入らず相場は大保合となつた、九月下旬からは來客筋の物色買ひがあり内地筋からの註文もあつて場面は漸く活氣を見せたが在荷豊富に伸力無く十二月上旬手當一巡と共に投げ物を喚び遂に急反落するに至つた。

身欠鯧

早出廻り物は御祝儀的意味を含んで比較的好値に折合つたが其れでも例年の初商内から見ると豊漁人氣が織込まれて居る丈けに安かつ

た、五月から六月の出廻り期は賣り物に叩かれてデリ安を示したが愈々本建物となり八月厄揚りとなるや思惑筋の買物現はれ漸騰歩調を示し良く消化された。

貿易品

貝柱干鮑等は相當在荷も多く且つ輸出不振にあつたが反面には新物に對する減産豫想があり、殊に安値賣り溢りとなつて終始小巾往來を繰返し需要又鍋掛け的であつた、たゞ海參のみは極端な品不足と比較的買氣良好からデリ高を續け九月末以來殊に買氣旺盛となり相場も急騰した爲め貝柱干鮑も連騰したが結局反落し海參のみ強調を辿つた。

【昭和九年度】

魚 肥

期待された春高豫想は新春早々環境の不湧えて凡調となり、僅かに銘柄の強調に刺戟されて小締りを示したに過ぎない、四月鯧漁期を迎へたが早場所方面の漁況芳しからず、不漁見越に依る思惑筋の買視きあり、五月に入るや生産不足と出廻り遅延を買はれて暴騰した併し關係材料は期米の底落を始め一般に不勢を示して居た爲め深腰入れ警戒となり六月から七月の出廻り期には賣り物に壓迫されて低落了した、八月から九月閑散期には殆ど見るべき取引もなかつたが秋肥需要を期待する思惑筋の買物非々散見して小締り氣味となり、十月最盛需要期を迎へて漸く騰勢に向ひ途中銘柄の仕手關係に依る引

緩もあつたが大體強調場面を抜けた、以上の大局中にあつて鯧鮪のみはミールの對外輸出關係で多少逆行した相場を出現した場合もあつたが大勢は殆ど一般魚肥と歩調を共にした。

身欠鯧

生身欠の賣行頗る良く此れに依つて内地方面は一巡した爲め本建物に對する買氣は極度の不振に陥つた、殊に七月の厄時期と在荷二万俵餘りが傳へられて買氣全く萎縮し氣配もデリ安を辿る八月から十月にかけては秋需要を喚び反撥情勢に轉じたが、結局當用筋の買ひに過ぎず不勢に終る。

貿易品

一月中旬米國に於ける銀輸出禁止が傳へられて前途樂觀人氣濃厚となり稍買氣も擡頭しかけたが對支輸出採算關係は依然として不引合にあり結局時機待ちを餘儀無くされて騰勢も人氣丈けに止まる、七月上旬には支那關稅の引下げを見たが貝柱の新物出廻期を目前に控え且つ漁況の順調が傳へられ影響少なく反つて古品の投げ賣り等が出て崩れ足となつた、八月下旬には北見に出荷聯合會が組織され貝柱の統制販賣價格維持が策動された爲め漸く轉換氣構えとなり、加ふるに神戸輸出筋の買進みもあつて漸騰歩調となつた。

鯧 鮪

前年度末の大暴落にこりて一般專業筋は極度に警戒し六月に入るも勢々しい交渉無しと云ふ自重振りを示した、七月下旬頃からは各産

地に内地から直接買物が入り騰勢に轉じた爲め各專業筋も追従しチリ高となつたが深腰入らず、十一月内地需要の最盛期を迎へても手持品の賣り込みに狂奔して活況を呈するに至らず十二月手持品の一掃を見ると共に東京、大阪、名古屋等大消費市場からの買進みあり俄然暴騰を演じ前年度とは正反對の現象を示した。

【昭和十年度】

魚肥

一月上旬に於ける鯨粕在荷は本道樺太を合計して十四万俵より無く此れに關係材料の昂騰を反映して騰勢を示したが三月には鯨漁期接近と豆粕の反落で反動歩調となつた、而も漁は早場所を素通りして粕場所の漁となり相場に深刻味を思はせるものあつたが總魚獲の大激減が豫想されて強氣筋の買出動となつた、五月下旬からは上げ過ぎの反動と關係材料の軟調に反動安となり夏枯期に直面しては底迷時代が續く、九月下旬頃からは秋肥需要を見越して思惑筋の買視きあり一般關係肥料類の昂騰と農作物の奔騰を好感して銘柄は猛烈買はれた爲め現物此れに追従す、併し反面には警戒人氣強く比較的小廻り商狀の儘越年するに至つた。

身欠鯨

古品持數量は約四千俵餘りあつたが前年度の漁況より豫想すれば本年度漁も期待出來ず、手持筋の賣り盡りに保合續く、併し一般は新物待ちにある爲め結局漁期接近に伴れて次第安となつた、愈々漁期

粕安に落調となる、併し銘柄は漁況案じに買進まれ續騰歩調を辿つた爲め現物此れに追従す、而も鯨漁は結局本道大凶漁となつた爲更に買氣助長し遂に暴騰するに至つたが樺太豊漁と値惚れ賣りに崩れ夏柄期は底迷を續けた、九月秋肥需要期接近に伴れて關係材料も一齊昂騰した爲め再び買進まれ實需買ひ一服と共に上げ足も鈍つたが安値賣り盡りに強調場面續いた。

身欠鯨

鯨凶漁を織込まれて新物は豫想外の好値に消化されたが結局出廻り増加に伴ひ軟調に傾く、六月には内地不賣期に直面して人氣悪化したのが七月厄揚り後は弗々補充買あり、且つ一般食料品の昂騰を反映して騰勢に轉じた併し十月には鮭鱒の壓迫があり不勢に傾く。

鯨 鱒

極端な凶漁から生産減を豫想されて專業筋の出足頗る早く且つ産地筋の賣り盡りと相俟つて漸騰歩調となつた、十月には高値警戒旁々買氣一服となり反動安となつたが最盛期には再び買はれ騰勢に轉じ結局高値維持の儘越年した。

貿易品

對支關係の不味から輸出は殆ど無く、ひたすら時機待ちに保合場面を續けたが六月には支那西南派の紛争等で稍悲觀人氣に傾く、七月以降の帆立漁は芳しからず旁々内地筋の猛然買進みを入れて貝柱は昂騰他の商品も此れに追従した、十月には稍反動氣分も見えたが安

に入るや後志方面皆無となつた爲め買進まれ、結局出廻り漸増と共に崩れたが下げ足は漁況悲觀で鈍かつた、七月厄揚り物に對して相當思惑買ひがありマバラ筋も買進んだが、秋期需要は聊か期待外れとなつた爲め遂に軟調を餘儀無くされた。

貿易品

貝柱は銀塊高を好感して一齊に買進まれたが對支輸出は其の割で無く結局大手日水の需要地委託問題等があつて反落す三月には神戸筋の買進みあり續いて支那市場の買出動で躍進し六月には日支關係の不安で騰勢一服となつた、七月海扇の新漁期を迎へて反動安となつたが産地の統制賣りに下流る、九月には相當積出數量あり、且つ産地の索制賣りに強調場面を見せたが十月上海に於ける平價切下説撞頭等で形勢逆轉す。

鯨 鱒

生産高は昨年約三割六分減を豫想された爲め比較的買氣に出たが値頃位置が高過ぎた爲め當初自重態度續く、九月中旬頃よりは内地來客筋の物色買ひに始まり出足遅れの專業筋が出動マバラの追従で十月中旬には走り過ぎの反動あり、且つ需要期に入り乍ら高値見送りに内地の買氣無く結局投げ崩しを餘儀無くされた。

【昭和十一年度】

魚肥

在荷の激減と環境高に新春早々買氣猛烈となつたが、二月以降は豆

値賣り盡りに下げ支へ十一月には再び緩遠問題で低落を思はせるものあつたが、臺灣、朝鮮等場邊筋の大量買進みあり、引續き南洋方面の買出動もあつて比較的強調に推移した。

【昭和十二年度】

魚肥

諸物價の一齊騰貴に刺戟されて手持筋極力賣り惜みつゝ四月に入つたが鯨は又も大凶漁となり、銘柄清算は遂に爆發し四月二十四日には銘柄取引の立合停止と迄なつた、結局銘柄は任意解散成立後無條件立合となつたが、今後に樺太漁を控えて流石に飛付買ひ警戒となり落付模様となつたが樺太の薄漁に再び暴騰した、併し高値に實需添はず漸く利喰ひ急ぎとなつて一齊に釣瓶落しとなり鯨鱒等も新漁期を迎えて落調を續け、日支事變に依る株式の慘落諸商品の低落に一層不味に陥つた、十月秋肥需要で幾分立直りを見せ此れに噴火方面の鯨漁況不振等で堅調を辿り十二月には期米を始め關係商品の強調を移して騰勢の儘越年した。

貿易品

客月西安事件に依る買控えから相當荷隙模様となり此れが手當買ひで人氣騰勢に轉ず、七月北支事變勃發と共に暗雲低迷して相場標準さへ憶測困難となつたが下旬に至り宗谷産貝柱は札幌に於ける値建會にて百三十一圓と決定を見るに至り商狀漸く明となつた、併し事變擴大模様前途悲觀人氣濃く貝柱はチリ安となつたが海參丈けは

種端なる生産制度があつた爲め思惑的買氣優勢となり時勢に逆行する珍現象を呈した、十一月初旬には大連筋より弗々注文あり、一齊に堅調を續けたが同方面の買氣一服と共に漸く保合ふ。

身欠鯨

鯨肉漁から生産不足懸念濃厚となり好値に取引されたが出廻増加に伴ひデリ安となる、漁は第三期に入つても依然芳しからず、産地筋の賣流りから漸く見直したが六月下旬樺太物の大量入荷に壓迫されて再び崩れ足となつた、七月厄揚り後は生産不足に拮抗し賣り流りと半思惑筋の買進みあり強調を辿る。

鯨 鱈

未曾有の鯨肉漁から生産減を買はれて騰勢の一本調子を續けた、殊に最盛期に入るに及び思惑的な買物も出て殆ど天井知らずの觀を呈したが、流石に警戒氣分濃厚となり且つ實需筋の高値買見送りに反動安を示した、併し大體産額不足にある爲め安値には賣り物無く結局買進みを餘儀なくされて十二月中旬には遂に暴騰するに至つたが此の間の商取引は極く僅少なものであり而も産地取引が大半をしめた。

【昭和十三年度】

魚 肥

鯨粕の在荷減退、鯨冬期漁の不振、且つ鯨粕銘柄長期取引認可等強

材と好感材料の續出て先高人氣となり、新年早々強調場面を辿つた二月から三月には銘柄の反動安で多少の緩もあつたが押目買ひに強調を續け四月には鯨肉漁相場を出現したが反面には朝鮮鯨粕の壓迫があり、高値は一時的現象に終る五月鯨肉漁決定して鯨粕は中旬暴騰したが、鯨魚が順調であつた爲め結局高値警戒となり、軟調に傾く六月から七月所謂鯨の夏漁は比較的好調を續け銘柄等産地方面の賣り繼ぎがあり、波瀾を見せたが秋漁の不振に場面は押目買ひに傾く、八月から九月は銘柄の獨り舞臺で仕手は相當激しかつたが、十月愈々秋漁に不漁の折紙が付けられるに及んで不漁相場を現はし利乗せ買ひとなつて強調の儘越年した。

貿易品

日支專變以來對支貿易は極度の不振を續けて相場も亦不味を辿つたが北支方面の秩序回復關稅引下げ等が傳へられて前途に光明を見出すと共に大連方面よりの買進みあり、一齊に騰勢に向つたが、其の後黃河氾濫等て買氣杜絶し五月下旬より再び軟調に傾く、七月海扇の新漁期に入るや漁は極端に悪く、且つ産地の統制強化に依つて貝柱が騰勢に向ひ海參又給供不足で賣り屋の態度硬化し輸出不振に拘らずデリ高歩調となる、殊に貝柱は第一回の値建會は不調に終つたが産地筋頗る強硬、第二回には更に高く結局必需筋索制を餘儀無くされるに至つた、十一月には大連市場の昂騰を反映して更に急騰し第三回建値一段高を動機に愈々積極的思惑買ひを喚び遂に新高値へ躍進した。

身欠鯨

前代未開の大肉漁に遭遇して身欠の産額少く極端な高唱へとなり腰入れ買ひ警戒されたが、結局專業筋は或る程度迄の買ひ進みを餘儀無くされた、併しかゝる高値には消流難を來し且つ代用品に壓迫されてデリ安商狀となる。

鯨 鱈

極度の生産減を唯一の強材料に生産高は極力賣り惜み、出廻り當初より前代未開の高値を現はした爲め警戒して十月頃迄買見送り態度を持続した爲め需要期接近に伴れて中間業者は結局買進まされ五万圓臺の高相場を現はしたが結局消流難に陥り内地各市場の反落から十二月中旬以後は遂に急反落となつた。

主要商品各年月別相場

(小樽市場)

鯨 粕 (一等檢)		四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
高	自大正四年四月至大正五年三月	一、五七〇	一、五五〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
安	均	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇
平	均	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
安	均	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇
高	自大正五年四月至大正六年三月	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
安	均	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇
平	均	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
安	均	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇
高	自大正六年四月至大正七年三月	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
安	均	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇
平	均	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
安	均	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇	一、四八〇

昭和五年自一月
 上旬百石 一月
 中旬百石 二月
 下旬百石 三月
 四月
 五月
 六月
 七月
 八月
 九月
 十月
 十一月
 十二月

鯔
 粕
 (特等檢)

大正十三年自一月	大正十二年自一月	大正十一年自一月	大正十年自一月	大正九年自一月	大正八年自一月	大正七年自一月	大正六年自一月	昭和四年自一月
上旬百石	上旬百石	上旬百石	上旬百石	上旬百石	上旬百石	上旬百石	上旬百石	上旬百石
1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
中旬百石	中旬百石	中旬百石	中旬百石	中旬百石	中旬百石	中旬百石	中旬百石	中旬百石
1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
下旬百石	下旬百石	下旬百石	下旬百石	下旬百石	下旬百石	下旬百石	下旬百石	下旬百石
1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950

大正九年自一月	大正八年自一月	大正七年自一月	大正六年自一月	昭和五年自一月	昭和四年自一月
上旬百石	上旬百石	上旬百石	上旬百石	上旬百石	上旬百石
1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
中旬百石	中旬百石	中旬百石	中旬百石	中旬百石	中旬百石
1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
下旬百石	下旬百石	下旬百石	下旬百石	下旬百石	下旬百石
1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950

昭和六年 自一月至三月	昭和七年 自一月至三月	昭和八年 自一月至三月	昭和九年 自一月至三月	昭和十年 自一月至三月	昭和十一年 自一月至三月
上旬	1,020	1,010	1,000	1,010	1,020
中旬	1,010	1,000	990	1,000	1,010
下旬	1,000	990	980	990	1,000
上旬	1,010	1,000	990	1,000	1,010
中旬	1,000	990	980	990	1,000
下旬	990	980	970	980	990
上旬	1,000	990	980	990	1,000
中旬	990	980	970	980	990
下旬	980	970	960	970	980
上旬	1,000	990	980	990	1,000
中旬	990	980	970	980	990
下旬	980	970	960	970	980
上旬	1,000	990	980	990	1,000
中旬	990	980	970	980	990
下旬	980	970	960	970	980
上旬	1,000	990	980	990	1,000
中旬	990	980	970	980	990
下旬	980	970	960	970	980

昭和十二年 自一月至三月	昭和十三年 自一月至三月	高 自大正四年 至大正五年 三月	安 自大正五年 三月至六月	平 自大正六年 三月至六月	安 自大正七年 三月至六月	高 自大正七年 三月至六月	平 自大正七年 三月至六月	安 自大正七年 三月至六月	平 自大正七年 三月至六月	安 自大正七年 三月至六月	高 自大正七年 三月至六月
上旬	1,020	1,010	1,000	990	980	970	980	990	1,000	1,010	1,020
中旬	1,010	1,000	990	980	970	960	970	980	990	1,000	1,010
下旬	1,000	990	980	970	960	950	960	970	980	990	1,000
上旬	1,010	1,000	990	980	970	960	970	980	990	1,000	1,010
中旬	1,000	990	980	970	960	950	960	970	980	990	1,000
下旬	990	980	970	960	950	940	950	960	970	980	990
上旬	1,000	990	980	970	960	950	960	970	980	990	1,000
中旬	990	980	970	960	950	940	950	960	970	980	990
下旬	980	970	960	950	940	930	940	950	960	970	980
上旬	1,000	990	980	970	960	950	960	970	980	990	1,000
中旬	990	980	970	960	950	940	950	960	970	980	990
下旬	980	970	960	950	940	930	940	950	960	970	980
上旬	1,000	990	980	970	960	950	960	970	980	990	1,000
中旬	990	980	970	960	950	940	950	960	970	980	990
下旬	980	970	960	950	940	930	940	950	960	970	980
上旬	1,000	990	980	970	960	950	960	970	980	990	1,000
中旬	990	980	970	960	950	940	950	960	970	980	990
下旬	980	970	960	950	940	930	940	950	960	970	980
上旬	1,000	990	980	970	960	950	960	970	980	990	1,000
中旬	990	980	970	960	950	940	950	960	970	980	990
下旬	980	970	960	950	940	930	940	950	960	970	980

大正十三年自一月至五月	大正十四年自一月至五月	大正十五年自一月至五月	昭和二年自一月至五月	昭和三年自一月至五月	昭和四年自一月至五月
上旬 二,九七〇	上旬 二,九七〇	上旬 三,〇〇〇	上旬 二,九七〇	上旬 二,九七〇	上旬 二,九七〇
中旬 二,九七〇	中旬 二,九七〇	中旬 三,〇〇〇	中旬 二,九七〇	中旬 二,九七〇	中旬 二,九七〇
下旬 二,九七〇	下旬 二,九七〇	下旬 三,〇〇〇	下旬 二,九七〇	下旬 二,九七〇	下旬 二,九七〇
上旬 二,九七〇	上旬 二,九七〇	上旬 三,〇〇〇	上旬 二,九七〇	上旬 二,九七〇	上旬 二,九七〇
中旬 二,九七〇	中旬 二,九七〇	中旬 三,〇〇〇	中旬 二,九七〇	中旬 二,九七〇	中旬 二,九七〇
下旬 二,九七〇	下旬 二,九七〇	下旬 三,〇〇〇	下旬 二,九七〇	下旬 二,九七〇	下旬 二,九七〇

自大正七年四月至大正八年三月	自大正八年四月至大正九年三月	自大正九年四月至大正十年三月	自大正十年四月至大正十一年三月	自大正十一年四月至大正十二年三月	平 均	安 全	高 值
上旬 二,七〇〇	上旬 二,七〇〇	上旬 二,七〇〇	上旬 二,七〇〇	上旬 二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇
中旬 二,七〇〇	中旬 二,七〇〇	中旬 二,七〇〇	中旬 二,七〇〇	中旬 二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇
下旬 二,七〇〇	下旬 二,七〇〇	下旬 二,七〇〇	下旬 二,七〇〇	下旬 二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇
上旬 二,七〇〇	上旬 二,七〇〇	上旬 二,七〇〇	上旬 二,七〇〇	上旬 二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇
中旬 二,七〇〇	中旬 二,七〇〇	中旬 二,七〇〇	中旬 二,七〇〇	中旬 二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇
下旬 二,七〇〇	下旬 二,七〇〇	下旬 二,七〇〇	下旬 二,七〇〇	下旬 二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇	二,七〇〇

